

軍飛行隊ノ行動ノ状況ヲ得ル

軍飛行隊ハ早朝行動ヲ開始シ第二大隊ノ一部ヲ以テ第九師團、同主力ヲ以テ第十一師團ニ協力シ特ニ第十一師團方面ニ對スル敵兵移動ノ搜索並吳淞鎮附近ノ寫真撮影ニ從ヒ獨立飛行第三中隊ヲ以テ第十師團方面ノ敵ヲ威嚇セシカ午前十時稍々前一千名ヲ下ラサル敵兵眞茹鎮ヨリ曹家渡鎮附近ヲ經テ更ニ東進シ以上第二中隊(偵察步兵大尉池田中直、少尉入田實)ノ搜索ニ依ル又一部ノ敵兵羅店鎮大場鎮北西方十四軒及南翔鎮ヨリ嘉定南翔鎮西北方十軒中ニ集中ナルヲ發見シ以上第一中隊(偵察砲兵中尉吉井正義、少尉曹金親、一尉)ノ搜索ニ依ル軍司令官ニ報告セリ

附記 曹家渡鎮附近ハ英軍守備區域ニ近接シアルヲ以テ之ニ對スル爆撃ヲ斷念セリ

當時第十一師團トノ通信不能ニシテ狀況不明ナリシカ飛行第一中隊ノ一機偵察步兵中尉大楠正一、少尉衣川悅司ハ午前八時頃同師團ノ尙書涇營嘉定北方十八軒南方地區ニ在リテ瀏河鎮嘉定北方十三軒ニ對シ攻撃準備中ナルヲ搜索セリ

海軍飛行隊ノ協力

附記 第一中隊ノ一機(偵察航空兵大尉福澤丈夫、操縦軍曹野澤義雄)ハ午前七時三十分ヨリ約二時間ニ互リ高度二千米ニ於テ吳淞鎮、寶山(吳淞鎮北方四軒)間ノ雲直寫眞ヲ撮影シ次テ同十時三十分ヨリ約一時間同要領ニ依リ眞茹鎮西南側附近ヲ撮影セリ此頃海軍飛行機ハ遠ク崑山嘉定西方二十七軒西南方鐵橋及嘉定並羅店鎮附近ヲ爆撃シテ敵ノ背後ヲ脅威セリ

附記 海軍前進基地飛行隊ハ攻撃機ノ二編隊(大尉安延多計夫ヲ長トスル二機及同青木武ヲ長トスル三機)ヲ以テ午前七時三十分ヨリ同九時三十分ノ間崑山西南方鐵橋ニ對シ二百四十軒爆撃十發ヲ投下シテ一部ヲ破壊シ同九時頃ヨリ十時頃ニ至ル間其二編隊(大尉宮崎元八及同渡部秀雄ヲ長トスル各三機)ヲ以テ嘉定、羅店鎮及太倉(嘉定西北西方十五軒)附近ニ三十軒爆撃三十五發ヲ投下シ尙能登呂水上偵察機三機(大尉今川福雄、同河本廣中、同堀家義一ヲ各々長トス)ハ午前九時頃ヨリ羅店鎮附近ヲ爆撃セリ

軍司令官ノ狀況判斷ノ件ノ部署

軍司令官ハ概ネ以上ノ狀況ヲ知得シテ敵軍總退却ヲ開始セルモノト爲シ第九師團ヲシテ萬難ヲ排シテ敵ヲ追撃捕捉セシムルノ要ヲ認メ午前十時十分左ノ要旨ノ命令上軍作命甲第五號ヲ下達セリ

附記 第十一師團ヲ嘉定ニ進メタルハ其兵力ノ寡少ナルト地形ノ困難ナルトニ鑑ミ捷路軍主力ニ近ク前進セシムルノ要アリシニ依ル

上海派遣軍命令ノ要旨

- 一 軍ハ南翔鎮附近ノ地區ニ於テ敵ヲ捕捉セントス
- 二 第九師團ハ敵ヲ逸セサル如ク攻撃ヲ續行スヘシ
- 三 第十一師團ハ速ニ瀏河鎮ヲ攻略シ爾後主力ヲ以テ嘉定方向ニ前進スヘシ
- 四 軍飛行隊ハ海軍飛行機ト協同シテ兩師團ノ戰鬥ニ協力シ特ニ嘉定、南翔鎮附近ノ敵ヲ攻撃スヘシ

海軍爆撃機ハ大場鎮、嘉定、南翔鎮ノ敵兵ヲ爆撃スル筈

附記 飛行隊ニハ午前十時五十分、第九師團ニハ同十時五十五分傳達、第十一師團ニハ午後零時二十分無線電信ヲ以テ要旨ヲ下達セリ

敵軍退却ノ確證ノ軍司令官ノ處置及陸軍飛行隊ノ活動

軍司令官ハ正午頃第九師團ノ大場鎮ニ近接シ續イテ前進中ナルノ報告ヲ受領シ始メテ敵兵ノ退却ヲ確認セシカ第十一師團方面狀況ノ詳細ニ關シテハ依然知ルトコロナカリシヲ以テ午後一時五十分同師團ニ第九師團方面ノ狀況ヲ通報スルト共ニ「當面ノ狀況、爾後ノ企圖ヲ報告スヘキ」ヲ電報セリ

附記 當初第十一師團方面ニ對スル通信ハ主トシテ軍艦出雲ヨリ軍艦那珂ヲ中繼トスル無線電信(軍司令官、出雲間ハ有線電話)ニ依レリ而シテ午後二時四十五分以後軍司令部、七了口(實稱七了口)間ニ陸軍無線電信ノ連絡完了シタレトモ第十一師團ノ

前進ニ伴ヒ七了口、該司令部間ヲ連絡セル師團通信隊ノ無線電信機故障ノ爲通信意ノ如クナラザリキ
斯クテ敵兵ノ退却ヲ知ルヤ陸海軍ノ飛行機ハ熾ニ活躍シ隨所ニ之ヲ爆撃シテ相當ノ損害ヲ與ヘタリ

附記 飛行第二中隊ノ三機ヨリ成ル一編隊(偵察砲兵中尉志村周一)操縦中尉立花四郎、同軍曹武川一六(操縦少尉入田實)、同軍曹長嶋幸治(操縦軍曹佐々木政治)ハ午前十一時四十五分ヨリ午後零時三十分過ニ至ル間南翔鎮及嘉定附近ノ敵行軍隊ヲ、又第一中隊ノ二機(偵察航空兵中尉青木篤)操縦少尉伴德治、同砲兵中尉吉井正義(操縦少尉衣川悦司)ハ午後一時三十分頃ヨリ同三時頃ニ至ル間ニ於テ太倉附近ノ敵退却部隊ヲ爆撃シ獨立飛行第三中隊ノ各二機ヨリ成ル二編隊(操縦中尉古賀彰並曹長酒井勇及中尉谷村禮之助並軍曹高岩德輔)ハ午前十時三十分乃至午後零時三十分ノ間ニ於テ嘉定及南翔鎮附近ノ敵部隊ヲ攻撃セリ又海軍前進基地飛行隊ノ二編隊(大尉佐多直大、同小田原俊彦ヲ各、長トスル各三機)ハ午前十時三十分ヨリ同十一時三十分過ニ至ル間崑山西南方鐵橋ニ對シ二百四十所爆彈十二發ヲ以テ之カ一部ノ破壊ヲ行ヒ爾後日没ニ至ルマテ逐次攻撃機九編隊(長大尉小山茂、同安延多計夫、同宮崎元八、同青木武、同田中一、同佐多直大、同渡部秀雄、同山ノ上庄太郎、同小田原俊彦)合計二十六機ヲ出動セシメテ大場鎮、南翔鎮、羅店鎮、嘉定、太倉及關北附近ニ對シ多數ノ爆彈(二十所及三十所爆彈各五十三發、四十五所爆彈十八發、二百四十所爆彈十二發)ヲ投下シ敵ヲ潰走セシメタリ

軍司令官ハ午後零時十五分第九師團ニ飛行機三機ヲ配屬シテ依然敵ヲ追撃セシムルト共ニ同時頃マテノ狀況ヲ中央部ニ報告セリ

軍司令官ハ瀏河鎮及大場鎮附近戰鬪ノ大勢定リタルヲ以テ將來ノ顧慮上吳淞砲臺攻略ノ要ヲ認メ午後二時第九師團吳淞支隊步兵第二十四聯隊第四中隊(機關銃一小隊)及騎兵第九聯隊第一中隊ノ一小隊ヲ屬スヲ軍直轄ト爲シ吳淞「クリーク」ヲ越エテ威力搜索ヲ行ハシムルニ決シ同支隊長大尉柴田二郎ヲ招致ス會、第三艦隊司令長官ヨリ「吳淞鎮附近ノ敵兵著シ

吳淞砲臺
攻略ニ至
レルニ經緯
官ノ部署

ク減少セシカ如ク比較的小兵力ヲ以テスルモ攻略可能ナルヘク所要ニ應シ隨時陸軍ノ攻撃ニ協力スヘキ」意見ヲ提議シ來レリ
是ニ於テ軍司令官ハ第三艦隊、同第一水雷戰隊參謀等ノ來部ヲ求メ幕僚ト所要ノ協定ヲ遂ケシメタル後第三艦隊司令長官計畫ノ下ニ第一水雷戰隊司令官大佐有地十五郎ノ指揮ヲ以テ陸海協同シテ直接吳淞砲臺東南側ニ上陸ヲ強行シ爾後第十一師團後續梯團三日午後到着スヘキ 步兵第四十四聯隊ヲ以テ占領地ノ確保並戰果ノ擴張ニ當ラシムルニ決シ午後四時左ノ命令ヲ下達セリ第九師團配屬ノ重砲兵ヲ軍直轄トスル件 午後二時三十分頃其要旨ヲ命令セリ

上軍作命甲第八號

上海派遣軍命令三月二日午後四時 於上海軍司令部

- 一 海軍ハ明三日朝陸戰隊ヲ以テ吳淞砲臺東正面ニ上陸シ同砲臺ノ攻略ヲ企圖ス
- 二 軍ハ一部ヲ以テ其攻撃ヲ支援セントス
- 三 步兵第二十四聯隊第四中隊機關銃一小 隊ヲ屬スハ今日日没後現在地ノ守備ヲ騎兵小隊ト交代シ明三日午前五時マテニ吳淞鐵道棧橋ニ集合シテ吳淞註、吳淞砲臺攻略ニ任スル海軍陸戰隊長江島少佐註、實際ノ指揮官ハ夕張副長中佐山崎助
- 一ナノ指揮ニ入ルヘシ

四 野戰重砲兵第六聯隊第二大隊長山本少佐ハ部下大隊並攻城重砲兵第一聯隊第一中隊ヲ併セ指揮シ吳淞驛註、張華濱驛西北方地區ニ陣地ヲ占領シ明三日拂曉マテニ準備ヲ完了シテ吳淞註、吳淞砲臺攻撃部隊

ニ協力スヘシ

五 予ハ上海東北端公大紡績第一工場註、公大ニ在リ

軍司令官 白川 義 則

附記

- 一 吳淞砲臺攻略ニ方リ陸軍ニ關スル指導ノ爲軍參謀步兵中佐永見俊徳ヲシテ夕刻ヨリ軍艦夕張ニ乘艦セシメ兼任軍參謀海軍大佐羽仁六郎ヲシテ主トシテ陸海軍ノ連絡ニ任セシメタリ
 - 二 吳淞「クリーク」正面ヨリ其背後ニ迫ル如ク企圖セサリシハ渡河資材ナカリシト該方面ヨリノ進出ハ重疊セル水濠ニ依リ戰鬪進捗容易ナラサリシトノ爲ナリ
 - 三 吳淞砲臺直接攻撃ニ任スル兵力ハ第一水雷戰隊ノ陸戰隊(指揮官中佐山崎助一)ノ一大隊(長少佐江島久雄、二中隊及附屬隊總員約三百名)、上海陸戰隊(指揮官中佐樋口曠)ノ第七大隊(長少佐野野實、三中隊及附屬隊總員約四百名)及陸軍ノ吳淞支隊主力(約百名)ニシテ之ニ協力スル部隊ハ陸軍ノ騎兵一小隊、重砲(十五榴八門、十五臼四門)ノ外夕張並第二十二、第三十驅逐隊(九隻)、能登呂並第一航空戰隊(攻擊機)及上海陸戰隊第六大隊(長大尉志賀正成、四中隊、山砲十一門)ナリ
 - 四 吳淞砲臺攻撃部署ノ概要左ノ如シ
 - (イ) 早朝海軍飛行機ヲ以テ吳淞砲臺及吳淞鎮附近ヲ爆撃シ次テ夕張及第三十驅逐隊ヲ以テ同地點附近ヲ制壓ス
 - (ロ) 第一次上陸部隊(第一水雷戰隊ノ陸戰隊一大隊及陸軍歩兵一中隊)ハ午前六時夫々金稜丸並宜陽丸及安山丸ニ乘艦シ第二十二驅逐隊ノ誘導並掩護ニ依リ吳淞砲臺南側黃浦江河岸ニ上陸ス
- 此間各掩護艦艇並陸海軍ノ砲兵ハ河岸近ク掩護射撃ヲ行ヒ爾後上陸部隊ノ前進ニ伴ヒ逐次西方ヲ射撃シテ之ニ協力ス(之カ爲所要ノ記號ヲ定ム)

(ハ) 次テ第二次上陸部隊(上海陸戰隊一大隊)ハ直ニ上陸ス

(ニ) 爾後上陸部隊ハ寶山、吳淞鎮ノ線ヲ占領シ次テ其西方約三軒ノ水濠(北泗塘)ノ線ニ進出ス

若攻撃進捗セサル場合ニ於テモ上陸點ヲ確保シ増援隊ノ來著ヲ待ツ

右命令下達後軍司令官ハ第十一師團第二梯團ニ對シ軍參謀步兵少佐石野芳雄ヲ三笠丸吳淞口ニ於テ逐次夕張、朝霧、綾波ニ轉乘スニ乗船セシメテ揚子江口ニ派遣シ左ノ如ク指示セシメタリ

- 一 歩兵第二十二聯隊ノ殘部ハ吳淞鐵道棧橋ニ上陸シ所屬隊ニ合スヘシ
- 二 歩兵第二十二旅團司令部、歩兵第四十四聯隊、山砲兵一中隊、工兵一小隊ハ一部ヲ以テ吳淞鐵道棧橋ニ、主力ヲ以テ吳淞口沖ニ乗船ノ儘待命スヘシ
- 三 爾餘ノ第十一師團第二梯團ノ諸隊ハ瀏河鎮附近ノ河岸ニ到リ陸軍運輸部上海臨時派出所員ノ區處ヲ以テ上陸シ師團主力ニ追及スヘシ

野戰重砲兵第六聯隊ハ午後二時三十分江灣鎮出發、大場鎮ニ向ハントスルヤ突如軍直轄タルヘキ命令ヲ受ケタルヲ以テ直ニ前進ヲ中止シ同七時張華濱吳淞機關庫南方一軒ニ轉進シ同十時三十分同十一時三十分マテニ陣地ヲ占領シテ諸準備ヲ完了ス又攻城重砲兵第一聯隊第一中隊ハ午後三時命令ヲ受領シ同九時二十分江灣鎮出發、同十一時十分徐家宅吳淞機關庫西側到著、三日午前四時諸準備ヲ完了セリ

軍司令官ハ諸情報ヲ綜合シテ敵ノ蘇州方向ニ敗退セルヲ知ルト共ニ第九師團ヨリ概ネ順調ニ追撃ヲ續

午後軍司令官ノ知

第一節 三月二日ノ狀況

得タル
状況

行シ夕刻大場鎮西側及真茹驛北側ニ進出セル旨ノ報告ヲ受領セシカ第十一師團其後ノ狀況ニ關シテハ日没ニ至レトモ杳トシテ知ルトコロナシ

此日第十一師團ハ茜涇營南側地區ニ於テ諸準備ヲ整ヘ正午稍々前行動ヲ開始シテ午後四時三十分瀏河鎮ヲ占領シ引續キ嘉定ニ向ヒ追撃中ニシテ軍司令官ハ夜ニ入り飛行隊ノ活動ニ依リ此狀況ヲ承知セリ

附記 飛行第一中隊ノ飛行機(偵察砲兵中尉田中正雄、操縦軍曹宮本市平)ハ午後五時三十分瀏河鎮ニ到リ第十一師團司令部ヲ發見シ通信筒約取ニ依リ其報告ヲ齎シテ同六時七分歸來セリ

三日ノ爲
軍司令
官ノ部署

軍司令官ハ日没後ノ狀況ニ鑑ミ明三日一部ヲ以テ吳淞砲臺攻略ニ協力シ主力ヲ以テ嘉定、南翔鎮、真茹鎮ノ線ヲ占領シテ爾後ノ行動ヲ準備スルニ決シ午後八時二十分命令^{上軍作命}ヲ下シ概ネ左ノ如ク部署セリ

一 第九師團ヲシテ南翔鎮、真茹鎮ノ線ヲ占メ態勢ヲ整理シ敵情ヲ搜索シテ爾後ノ行動ヲ準備セシム

二 第十一師團ヲシテ嘉定ヲ攻略シテ爾後ノ行動ヲ準備スルト共ニ太倉、崑山方向ヲ搜索シテ軍ノ右側ヲ警戒セシム

三 軍飛行隊^{第九師團ニ配屬セ}ヲシテ各一部ヲ以テ兩師團ニ協力シ爾餘ヲ以テ敵ノ退却及其後ノ動靜ヲ搜索シ且有利ナル地上目標ニ對シ攻撃セシム

又別ニ一機^{軍參謀}ヲ以テ吳淞鎮附近彼我狀況ノ觀察ニ任セシム

夜ニ於ケ
ル一般ノ
狀況

此夜第九師團ハ概ネ進出線附近ニ停止シテ宿營シ第十一師團ハ夜間追撃ヲ續行シテ主力ヲ以テ婁塘鎮^{嘉定西北}附近ニ達シ敵ト衝突ヲ惹起セシカ敵主力ハ既ニ西方ニ退却セルモノノ如シ

第二款 第九師團方面ノ狀況^{附圖第二十八參照}

其一 第九師團長ノ指揮及軍飛行隊ノ協力並師團直轄部隊ノ行動

一日夜半敵ハ退却セルカ如ケレトモ確報ヲ得ス第一線ハ二日未明乃至天明後各一部ヲ前方諸部落ノ線ニ進メテ各々當面ノ敵情ヲ搜索ス

師團長ハ早朝副官^{步兵中佐}ヲ軍司令部ニ派遣シ^{午前七時}前日來ノ戰況ノ詳細ヲ報告^{第九二五}スルト共ニ飛行機^{猪鹿倉敵}ノ協力ヲ以テ野戰重砲兵^{十五}及獨立野戰重砲兵^加ヲシテ彭浦鎮附近ノ敵砲兵及大場鎮附近ノ敵陣

地ヲ射撃セシメタリ

附記

一 當時我カ第一線ノ前進ニ伴ヒ砲兵殊ニ重砲兵ノ推進就中彈藥ノ前送ハ地形上頗ル困難トナリシノミナラス適當ナル地上觀測所ナク而モ前日午後ノ狀況ニ依レハ敵砲兵ノ活潑漸ク多カラントスル顧慮アリシヲ以テ師團長ハ師團司令部附砲兵大佐菰田康一ノ意見具申ニ基キ特ニ飛行機ノ協力ニ依ル砲兵ノ射撃ヲ實施セシメタリ

二 砲兵隊長ハ午前八時獨立野戰重砲兵第四中隊ヲシテ大場鎮、野戰重砲兵第六聯隊第二大隊ヲシテ彭浦鎮ニ對シ夫々飛行機ノ協力ニ依リ擾亂射撃ヲ行ハシム乃チ獨立野戰重砲兵第八聯隊第四中隊ハ先ツ前日得タル諸元ヲ以テ午前八時並同八時五十七分

ノ南四ニ互リ大場鎮ニ向ヒ發射セシカ同十一時三十分頃飛行機ヨリ我カ第一線ノ大場鎮ニ近接セルノ通報アリシヲ以テ射撃ヲ中止セリ又野戰重砲兵第六聯隊第二大隊ハ飛行隊ニ彭浦鎮附近敵砲兵ノ探察ヲ要求セシカトモ送ニ判明セサリシヲ以テ射撃ヲ實施セス

以上ノ射撃間飛行第二中隊長ハ砲兵中尉志村周一ヲ砲兵隊本部ニ派遣シテ直接諸協定ヲ行ハシメタリ

午前九時頃知得セ

午前九時頃師團ニ協力スヘキ飛行第二中隊ノ二機偵察中尉立花四郎(操縦曹長牛谷美好)ハ同八時頃ニ於ケル概ネ左ノ如キ敵情ヲ齎セリ

- 一 大場鎮—羅店鎮(大場鎮北西方十四軒)道上ニハ數十名ヨリ成ル敵ノ數集團北進中、又羅店鎮—嘉定(南翔鎮西北方十軒)道上ニハ約五百名ノ敵西進中ニシテ嘉定ニハ約一千名ノ敵アリ
- 二 大場鎮—真茹鎮道上ニハ若干ノ敵南進中ナレトモ大場鎮—南翔鎮道上ニハ敵兵ノ移動ナシ
- 三 南翔鎮ニハ約二百名ノ敵アルカ如ク又同地ヨリ嘉定ニ向ヒ前進中ナル三、四百名ノ敵ヲ見ル

附記 同時飛行第二中隊長大尉山口植夫ヨリ參謀長宛「空中ヨリノ搜索ノ結果ヲ綜合スルニ敵ノ最前線ハ極メテ活氣ナク大場鎮ヨリ羅店鎮方面及真茹鎮ヨリ南方ニ移動部隊アレト同地ニ増加部隊ヲ見サルヲ以テ速ニ攻撃ヲ斷行シ此戰機ニ投スルヲ可トス」トノ意見ヲ通報シ來レリ

午後九時頃知得セ

同九時頃マテニ混成第二十四旅團ハ李家樓(南翔鎮西)附近、步兵第十八旅團(南翔鎮)附近ニ、步兵第六旅團(南翔鎮)附近ニ、北楊湖(南翔鎮)附近、曹家巷(南翔鎮)附近、小徐港(南翔鎮)附近ニ、又海軍

師團長ノ敵情搜索ノ部署

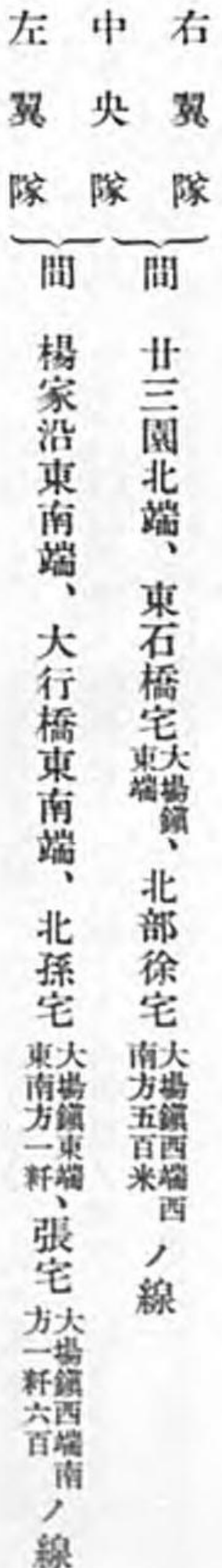
陸戰隊ハ日本人墓地(張三橋南)附近ニ進出シテ當面ノ敵ト相對ス
師團長ハ師團主力正面ノ敵兵著シク減少シタレトモ海軍陸戰隊正面ノ陣地(堅固ニ構)ニハ依然敵アルカ如キヲ以テ午前九時騎兵第一中隊ニ『即時現在地出發、新宅(張三橋東)附近ニ進出シテ當面ノ敵情ヲ搜索シ尙左翼隊、海軍陸戰隊間ヲ連絡スヘキ』ヲ命令シ(尙乘馬ヲ現在地ニ殘)且海軍裝甲自動車隊ヲシテ同隊ニ協力シテ張三橋南方地區ノ敵情ヲ搜索セシメタリ

附記 騎兵第一中隊(一小隊ト二分隊欠)ハ此命令ニ基キ午前十時三十分頃江灣競馬場出發、海軍裝甲自動車二輛ヲ伴ヒ同十一時十分頃新宅ニ到リ各一分隊ヨリ成ル二組ノ將校斥候ヲ出シテ海軍陸戰隊トノ連絡竝袁家宅(張三橋西南西方一軒半)方向ノ搜索ヲ行ヘリ

師團長ノ追撃部署

次テ師團長ハ第一線諸隊カ敵ノ大ナル抵抗ヲ受クルコトナク逐次西方ニ地歩ヲ獲得スルノ狀況ニ鑑ミ敵軍退却ト判斷シ直ニ追撃ニ決シ午前九時三十分ヨリ各別ノ要旨命令ヲ以テ左ノ如ク部署セリ

- 一 第一線諸隊ヲシテ各當面ノ敵ヲ追躡シ敵ト緊密ニ接觸ヲ保持シ當面ノ敵情ヲ搜索セシム
- 二 戰鬪地境ヲ左ノ如ク延伸ス(線上ハ右部隊ニ屬ス)



三 砲兵隊ヲシテ第一線ノ前進ニ伴ヒ逐次陣地ヲ推進シ之ニ協力シ得ル如ク準備セシム

四 各隊配屬ノ工兵ヲシテ江灣鎮西端ニ集結シテ江灣鎮—大場鎮道ノ補修ニ任セシム

附記 午前九時第一野戰高射砲隊長ノ意見其中ニ依リ同隊ヲシテ正午マテニ江灣鎮馬場附近ニ陣地ヲ變換セシメタリ

軍命令ニ
基テ師團
ノ追撃命
令

午前十一時「敵ヲ逸セサル如ク攻撃ヲ續行スヘキ」軍命令（上軍作命甲第五號 第九二七頁參照）ヲ受領スルヤ現下ノ狀況ニ鑑ミ西行大場鎮西、真茹鎮ノ線ニ敵ヲ追撃スヘク先ツ第一線部隊ニ要旨ヲ命令シ次テ同十一時四十分左ノ命令ヲ下達セリ

第九師團命令 三月二日午前十一時四十分 於江灣鎮師團司令部

- 一 師團當面ノ敵ハ戰意ヲ失ヒタルモノノ如ク南翔鎮、真茹鎮方向ニ後退中ナリ
- 二 軍ハ南翔鎮附近ノ地區ニ於テ敵ヲ捕捉ス之カ爲第十一師團ハ速ニ瀏河鎮 嘉定北方十三軒（註、附圖第二十二參照）ヲ攻略シタル後主力ヲ以テ嘉定方向ニ前進ス
- 三 師團ハ現在ノ態勢ヲ以テ西行、真茹鎮ヲ連ヌル線ニ敵ヲ追撃セントス
- 四 第一線諸隊ハ依然其戰鬪地域内ヲ前記ノ線ニ向ヒ追撃スヘシ
- 五 予ハ暫ク現在地ニ在リ後大場鎮ニ向ヒ前進ス

第九師團長 植田 謙吉

下達法

傳令ヲシテ筆記セルモノヲ送付ス

次テ戰鬪地境ヲ左ノ如ク延伸シ之ヲ各隊ニ指示セリ

混成第二十四旅團、右翼隊間 童江宅ヨリ西行大場鎮西ニ

右翼隊、中央隊間 徐宅ヨリ張家衛西行東南ニ

中央隊、左翼隊間 張宅ヨリ三七里真茹鎮西ニ

左翼隊、陸戰隊間 密上東八字橋北側ヨリ李家宅彭浦鎮、真茹驛ニ

正午前
飛行機
得タル
我ノ狀況

正午頃我カ飛行機偵察砲兵大尉大島武彦ハ「午前十一時二十分友軍歩兵一中隊大場鎮東方夏宅ヲ占領シ同時斥候ハ大場鎮ニ進入セル」ヲ報シ同時他ノ一機偵察砲兵中尉大沼清ハ「同十一時三十五分我カ混成第二十四旅團ノ第一線大場鎮北方陳宅大場鎮西端、馬橋宅陳宅南ノ線ニ達シタルヲ以テ砲兵ノ射向ニ注意ヲ要スル」旨ヲ通報ス（飛行機ヨリ直接無線電信ヲ以テ）又午後零時三十分別ノ飛行機偵察砲兵中尉志村周一ハ左ノ如ク正午頃ニ於ケル敵後方ノ狀況ヲ齎セリ

- 一 真茹驛南側ニハ約五百名ノ敵アリ
- 二 羅店鎮、嘉定、南翔鎮ニハ各々大部隊アリ一部ノ敵ハ南翔鎮ヨリ嘉定へ、又嘉定ヨリ羅店鎮方向ニ前進ス羅店鎮ニハ自動車二十輛アリ

附記 午後零時三十分飛行第二中隊ノ三機第九師團ニ配屬セラレシカ間モナク我カ第一線大場鎮附近ニ進出セル爲實行セラ

正午頃ニ於ケル各部隊ノ態勢

同時頃混成第二十四旅團長ヨリ「同旅團司令部ハ午前十一時五十分胡家灣ニ到着セル」旨ノ報告無線電並歩兵第六旅團長ヨリ「北孫宅大場鎮東端、東南方一軒、白皮橋北孫宅南ノ線ニハ敵兵存在セサルカ如ク正午第一線ヲ其線ニ進メントスル」旨ノ報告無線電アリ次テ同零時四十分歩兵第二十二聯隊長ヨリ大場鎮西南方北部徐宅ニ達セル旨ノ電話報告アリ

附記 師團司令部ト歩兵第二十二聯隊トノ電話連絡ハ師團通信隊ト聯隊通信班トノ協力ニ依リ完全ニ保持セラレタリ蓋シ此電話ハ此時期ニ於ケル師團司令部ト第一線トノ唯一ノモノニシテ師團長ハ之ニ依リテ始メテ第一線進出ノ狀況ヲ知ルヲ得タリ

南翔支隊ノ派遣

師團長ハ敵ノ主力既ニ西方ニ退却セルモノト爲シ主力ヲ以テ南鎮翔方向ニ追撃スルニ決シ午後一時歩兵第二十二聯隊長ニ左ノ要旨ノ命令ヲ下達電話シ尙補給ニ關シ主任參謀步兵少佐 安部孝一ヲシテ指示セシメタリ第九四七頁 附記參照

第九師團命令ノ要旨

- 一 師團ハ西行、真茹鎮ノ線ニ向ヒ敵ヲ追撃セントス
- 二 下元少將ハ部下旅團及歩兵第二十二聯隊ヲ併セ指揮シテ南翔支隊トナリ南翔鎮ニ向ヒ敵ヲ追撃スヘシ
- 三 歩兵第二十二聯隊主力ハ直ニ南翔鎮ニ向ヒ前進シ爾後下元少將ノ指揮ニ入ルヘシ

附記 此命令及戰場地境延伸ノ命令ハ混成第二十四旅團トノ電話不通ノ爲遂ニ同旅團ニ下達セラレス

步兵第二十二聯隊
騎兵第五中隊
騎兵第九中隊
騎兵第一中隊
騎兵第二中隊
騎兵第三中隊
騎兵第四中隊
騎兵第五中隊
騎兵第六中隊
騎兵第七中隊
騎兵第八中隊
騎兵第九中隊
騎兵第十中隊
騎兵第十一中隊
騎兵第十二中隊
騎兵第十三中隊
騎兵第十四中隊
騎兵第十五中隊
騎兵第十六中隊
騎兵第十七中隊
騎兵第十八中隊
騎兵第十九中隊
騎兵第二十中隊
騎兵第二十一中隊
騎兵第二十二中隊
騎兵第二十三中隊
騎兵第二十四中隊
騎兵第二十五中隊
騎兵第二十六中隊
騎兵第二十七中隊
騎兵第二十八中隊
騎兵第二十九中隊
騎兵第三十中隊
騎兵第三十一中隊
騎兵第三十二中隊
騎兵第三十三中隊
騎兵第三十四中隊
騎兵第三十五中隊
騎兵第三十六中隊
騎兵第三十七中隊
騎兵第三十八中隊
騎兵第三十九中隊
騎兵第四十中隊
騎兵第四十一中隊
騎兵第四十二中隊
騎兵第四十三中隊
騎兵第四十四中隊
騎兵第四十五中隊
騎兵第四十六中隊
騎兵第四十七中隊
騎兵第四十八中隊
騎兵第四十九中隊
騎兵第五十中隊
騎兵第五十一中隊
騎兵第五十二中隊
騎兵第五十三中隊
騎兵第五十四中隊
騎兵第五十五中隊
騎兵第五十六中隊
騎兵第五十七中隊
騎兵第五十八中隊
騎兵第五十九中隊
騎兵第六十中隊
騎兵第六十一中隊
騎兵第六十二中隊
騎兵第六十三中隊
騎兵第六十四中隊
騎兵第六十五中隊
騎兵第六十六中隊
騎兵第六十七中隊
騎兵第六十八中隊
騎兵第六十九中隊
騎兵第七十中隊
騎兵第七十一中隊
騎兵第七十二中隊
騎兵第七十三中隊
騎兵第七十四中隊
騎兵第七十五中隊
騎兵第七十六中隊
騎兵第七十七中隊
騎兵第七十八中隊
騎兵第七十九中隊
騎兵第八十中隊
騎兵第八十一中隊
騎兵第八十二中隊
騎兵第八十三中隊
騎兵第八十四中隊
騎兵第八十五中隊
騎兵第八十六中隊
騎兵第八十七中隊
騎兵第八十八中隊
騎兵第八十九中隊
騎兵第九十中隊
騎兵第九十一中隊
騎兵第九十二中隊
騎兵第九十三中隊
騎兵第九十四中隊
騎兵第九十五中隊
騎兵第九十六中隊
騎兵第九十七中隊
騎兵第九十八中隊
騎兵第九十九中隊
騎兵第一百中隊

次テ師團長ハ海軍陸戰隊正面ノ敵尙抵抗ヲ繼續シアルノ報ニ接シタルヲ以テ午後一時三十分豫備隊タル歩兵第二十二聯隊第五中隊長大尉 橋高香一ニ命スルニ「開北ニ到リ海軍陸戰隊正面虹口「クリーク」西岸ニ據リテ抵抗スル敵ノ左側背ヲ攻撃シ同隊ノ戰鬪ニ協カスヘキ」ヲ以テセリ是ヨリ先師團長ハ騎兵中隊ヲシテ南翔鎮及真茹鎮方向ノ敵情ヲ搜索セシムル爲海軍陸戰隊ヲ通シ速ニ馬繁場江灣鎮 馬場ニ集結スヘキ命令ヲ傳ヘ即時行動ヲ開始セシム

附記 騎兵第一中隊ハ午後二時新宅(張三橋東方三百米)ニ於テ前記師團命令ヲ受領シ同三十分兵力ノ集結完了ヲ待ツテ馬繁場ニ歸還シ直ニ行動ヲ開始シ(二分隊ヲ師團司令部護衛ノ爲殘置シ海軍裝甲自動車ヲ復旦大學ニ位置セシム)主力ヲ以テ眞茹鎮、一部ヲ以テ南翔鎮附近ニ進出スヘク兩方面ニ各、一組ノ將校斥候(各一分隊)ヲ派遣シ先ツ大場鎮西端ニ前進シ同四時五十分同地ニ到着ス又歩兵第二十二聯隊第五中隊ハ午後二時江灣鎮出發、魏村橋(江灣鎮西端)、宋家宅(江灣鎮西端南南西方二軒)ヲ經テ開北ニ向ヒ前進セリ

師團長ハ午後一時三十分頃砲兵隊ニ對シ重砲兵諸隊ヲ江灣鎮附近ニ殘置待命セシメ其他ヲ以テ大場鎮ニ向ヒ前進スヘキヲ命シ尙野戰高射砲隊ヲ現在地ニ待命セシム而シテ工兵第一中隊ヲ直轄トシ之ニ江灣鎮以西大場鎮ニ至ル間ノ道路ヲ自動車ノ通過シ得ル如ク改修ヲ命セリ

附記 砲兵隊長ハ右命令ニ依リ其指揮下ニ在ル山砲兵ヲシテ直ニ前進ニ移ラシメ獨立野戰重砲兵第四中隊及攻城重砲兵第一中隊ニ對シテハ唯其觀測所ヲ推進スヘキヲ命シ野戰重砲兵第二聯隊第一大隊及同第六聯隊第二大隊ニ對シテハ夫々韓家塘及江灣鎮

西南端附近ニ陣地ヲ變換スヘキヲ命令シ特ニ前者ニ對シテハ爲シ得ハ自ラ道路ヲ偵察補修シテ大場鎮ニ向ヒ前進スヘキヲ指示セリ

山砲兵第三大隊(第八中隊欠)ハ既ニ午前十一時二十分陣地ヲ撤シテ江灣鎮西側ニ集結シアリシカ右命令ニ基キ午後二時前進ヲ開始シ野戰重砲兵第二聯隊第一大隊(第一中隊欠)ハ直ニ兩中隊ヨリ所要ノ作業ヲ出サシメ大場鎮ニ到ル道路ノ補修ニ著手セリ

午後二時稍々前師團長ハ獨立野戰重砲兵第四中隊ニ眞茹驛附近ニ集結シアル敵飛行機報ヲ射撃スヘク命令スニ依ル

附記 同隊ハ飛行機(偵察砲兵中尉志村周一、操縦軍曹佐々木政治)ヲ協力ニ依リ諸準備ヲ整ヘシカ友軍該地ニ近接セルヲ以テ射撃ヲ實施セス

同二時頃師團長ハ軍命令ニ依リ野戰重砲兵第六聯隊第二大隊及攻城重砲兵第一聯隊第一中隊ヲ吳淞砲臺攻略ニ參加セシムル爲之ヲ軍直轄タラシメタリ第九三一頁參照

同時師團長ハ獨立戰車第二中隊ヲ海軍陸戰隊ニ配屬ス

附記 當時獨立戰車第二中隊ハ一小隊ヲ以テ左翼隊ト共ニ北孫宅(大場鎮東端東南方一軒)附近ニ追撃シ主力ヲ以テ西部江灣鎮(葉家宅北側)ニ於テ整備中ナリシカ右命令ニ依リ直ニ前記小隊ヲ招致スルト共ニ取敢ス整備終レル一部(八九式三輛)ヲ以テ午後二時過出發、東八字橋ニ轉進セリ

師團司令部ノ前進

師團長ハ午後三時江灣鎮師團司令部出發、幕僚ヲ隨ヘ乘馬ニテ豫備隊砲兵隊ノ掩護等ノ爲ニ步兵第三十五聯隊第二中隊(一小隊欠、約三十名)ヲ江灣鎮ニ殘ト共ニ大場鎮ニ向ヒ前進ス行、戰場ノ慘澹タル光景ヲ目撃シ我カ忠勇ナル死者ノ靈ニ默禱ヲ捧ケ

ツツ午後五時處々火災ニ罹レル大場鎮ニ到着セリ

當時各隊トノ連絡杜絶シ狀況一切不明ニシテ唯南方ニ當リテ激烈ナル銃聲ヲ聞クノミナリシヲ以テ師團長ハ無線電信ニ依リ各隊ノ位置ヲ搜索スルト共ニ副官步兵大尉柳橋真作ヲ混成第二十四旅團司令部ニ派遣シ之ニ南翔支隊タルヘキ午後一時發ノ師團命令第九三八頁參照ヲ傳達セシメ尙當時大場鎮西端ニ進出セル騎兵第一中隊ヲシテ步兵第六旅團ノ各步兵聯隊ト連絡セシム

日沒時ニ於ケル各隊ノ態勢

日沒後逐次各方面トノ連絡通シ之ニ依リ師團長ハ午前以來ノ各隊行動ノ概要ヲ知ルヲ得タリ即チ混成第二十四旅團ハ午前十時頃ヨリ追撃ニ移リ午後一時三十分過既ニ其最前線ヲ以テ大場鎮西端ニ達シ同三時頃主力ヲ同地西北方地區司令部ハ都宅ニ集結シ日沒後休止ノ態勢ニ在リ步兵第十八旅團第十九聯隊欠ハ午前十一時前後逐次行動ヲ起シ日沒頃陸家窰大場鎮西端西方四軒中附近ニ進出シタレトモ左右ノ連繫上夜ニ入り楊子涇大場鎮西方一軒中附近ニ後退集結ス又步兵第六旅團步兵第十九聯隊ヲ屬スハ其第一線ヲ以テ正午頃マテニ概ネ彭越浦大場鎮東方一軒中ノ線附近ニ進出シ午後二時頃更ニ同線出發、同四時頃以來一部ヲ以テ大張宅大場鎮中部南方二軒中及渡善橋大張宅西方一軒中附近ニ於テ敵ノ後衛ト交戦シ旅團司令部ハ日沒前孟巷場大場鎮西部南方二軒ニ到着シテ第一線ト連絡中ナリ

步兵第二十二聯隊主力ハ午後一時三十分頃大場鎮西南側北部徐宅出發、日沒前謝家宅大場鎮西端西方六軒中附近ニ於テ敵ト衝突シテ之ヲ撃退シ該地附近ニ停止セリ

騎兵第一中隊ハ同五時三十分三七里眞茹驛西南側ニ到リ步兵第三十五聯隊ト會シテ同地ニ停止シ逐次眞茹鎮、侯宅眞茹驛東北、東方二軒、常家角渡善橋南側方向ニ斥候ヲ出シテ步兵第七、第十九聯隊ト連絡ニ勉ム

附記 南翔鎮方向搜索ノ爲派遣セラレタル騎兵將校斥候(長中尉川村 寛)ハ日没頃謝家宅ニ於テ步兵第二十二聯隊ト連絡シ師團當時ノ態勢ヲ告知スルト共ニ其依頼ニ依リ傳騎ヲ以テ師團司令部ニ彈藥ノ補給ヲ要求シ爾後徒歩ニテ南翔鎮附近ノ搜索ヲ續行シツツ夜ヲ徹セリ

野戰重砲兵第二聯隊第一大隊第一中隊ハ孫家宅ニ於テ大隊主力ニ追及ス(第九五四頁附記參照)廣東墓地、嶺南橋廣東墓地南方一軒永久橋ヲ經自ラ進路ヲ開拓シ橋梁ヲ架スルコト六箇所、苦心ヲ重ネツツ同九時三十分全力ヲ以テ大場鎮東端香花橋宅附近ニ達シ師團長ノ手裡ニ入レリ掃蕩參照此夜師團長ハ大場鎮西南側獨立家屋ニ在リ

附記 偶、師團司令部ノ位置ハ敵第六十一師司令部ノ在リシ家屋ニシテ傍ニ我カ獨立野戰重砲兵第四中隊ノ發射セシ二箇ノ砲彈痕アリテ室内ノ光景等當時ノ倉皇タル退却ノ狀況ヲ偲ハシムルモノアリキ

諸情報ヲ綜合スルニ關北方面ノ敵ハ眞茹鎮以南ノ地區ニ退却中ナルカ如キヲ以テ師團長ハ午後七時步兵第六旅團長ニ命スルニ步兵第十九聯隊ヲ以テ直ニ眞茹鎮ヲ占領シテ敵ノ退路ヲ遮斷スヘキヲ以テセリ

補給 此日ノ追撃ニ於テ彈藥糧秣等ハ各隊行李、師團輜重等悉ク駄馬ヲ有セサル爲全部江灣鎮ヨリノ臂力搬送ニ依リシヲ以テ明三日以後ノ補給ニ關シ大ニ憂慮スヘキモノアリシカ大場鎮ニ於テ多量ノ米穀ヲ鹵

江灣鎮西方重砲兵大隊ノ追撃



(裏面説明參照)

日没頃野戰重砲兵第二聯隊第一大隊カ江精鎮
西方約三軒北孫宅北側ヲ追撃中ノ狀況ニシテ
自ラ懸念架橋ヲ行ヒ水濱ヲ通過スル光景ヲ示
ス面シテ前岸馬上ニ在リテ隊ノ通過ヲ監視セ
ルハ大隊長西園少佐ナリ

獲シ給養上ノ不安ハ之ヲ一掃スルヲ得タリ

附記 午後八時三十分頃歩兵第二十二聯隊ヨリ傳騎ヲ以テ彈藥ヲ請求シ來リシニ依リ直ニ豫備隊ヨリ携行彈藥ノ半數ヲ集メ其人
員ヲ以テ謝家宅ニ送付セリ同時混成第二十四旅團ノ占領セル馮家宅敵野戰倉庫(第九五三頁參照)監視ノ爲歩兵第三十五聯隊第一
中隊ノ一小隊(長代理軍曹前濱賢太郎)ヲ派遣セリ

三月三日
爲ノ師
團長ノ部

午後九時頃師團長ハ軍命令午後八時二十分發上軍作命
甲第十號(第九三二頁參照)ヲ受領シ明三日主力ヲ以テ南翔鎮ニ、一部ヲ以テ真茹
鎮ヲ占領シ爾後ノ行動ヲ準備スルニ決シ左ノ命令ヲ下達セリ

九師作命第二十九號

第九師團命令 三月二日午後十時十五分
於大場鎮師團司令部

- 一 敵ハ南翔鎮及真茹鎮方面ニ退却シ開北方面ノ敵モ亦退却セルモノノ如シ
- 第十一師團ハ本日午後瀏河鎮ヲ占領シ嘉定ニ向ヒ前進中ナリ
- 軍ハ明三日第十一師團ヲ以テ嘉定ヲ、第九師團ヲ以テ南翔鎮、真茹鎮ノ線ヲ占領セシメ敵情ヲ搜
索シ爾後ノ行動ヲ準備ス
- 吳淞支隊、野戰重砲兵第六聯隊第二大隊及攻城重砲兵第一中隊ハ爾後軍司令官ノ直轄トナリ明三
日吳淞砲臺ノ攻略ニ參加ス
- 二 師團ハ明三日南翔鎮及真茹鎮ヲ占領シ爾後ノ行動ヲ準備セントス
- 三 南翔支隊ハ南翔鎮ヲ占領シ崑山及嘉定方向ノ敵情ヲ搜索スヘシ

敵若南翔鎮附近ニ於テ眞面目ノ抵抗ヲ爲ス場合ニ於テハ師團主力ノ進出ヲ待ツヘシ

四 騎兵中隊二小隊ト一分隊欠ハ南翔鎮ニ進出シ崑山及嘉定方向ノ敵情ヲ搜索スヘシ

南翔鎮附近進出後ハ南翔支隊長ノ指揮ヲ受クヘシ

五 歩兵第六旅團第三十五聯隊第一大隊欠ハ明三日早朝現在地出發、鐵道線路及其以北ノ地區ヲ南翔鎮ニ向ヒ前

進スヘシ

山砲兵中隊ノ配屬故ノ如シ

六 歩兵第十八旅團第三十六聯隊ノ一大隊ト一小隊欠ハ眞茹鎮ヲ占領シ南方及關北方面ノ敵情ヲ搜索シ要スレハ陸戰隊

ニ協力シ關北方面ノ敵ヲ掃蕩スヘシ

歩兵第二十二聯隊第五中隊ヲ一時其指揮ニ屬ス

騎兵一分隊、山砲兵二中隊及野戰重砲兵十五一中隊ヲ屬ス

七 師團司令部、歩兵第三十五聯隊ノ一大隊一中隊欠、歩兵第三十六聯隊ノ一大隊一小隊欠、騎兵一小隊並砲

兵隊山砲兵一中隊、野戰重砲兵二中隊ハ山砲兵第九聯隊長ノ區處ヲ以テ午前八時出發、南翔鎮ニ向ヒ前進スヘシ

八 歩兵第三十五聯隊ノ一中隊註、第二中隊一小隊欠ハ依然江灣鎮ニ在リテ同地司令部及砲兵ノ掩護ニ任スヘシ

九 第一、第二野戰高射砲隊及獨立野戰重砲兵第四中隊ハ江灣鎮ニ待命スヘシ

十 工兵隊ハ江灣鎮—大場鎮—南翔鎮道ノ補修ニ任スヘシ

十一 衛生隊ハ傷者ノ處置終リタル後大場鎮ヲ經テ南翔鎮ニ向ヒ追及スヘシ

十二 爾餘ノ諸隊ハ前任務ヲ續行スヘシ

十三 彈藥及糧秣ノ補給ハ大場鎮西端ニ於テ行フ

十四 予ハ午前八時現在地出發、師團司令部ト共ニ前進ス

第九師團長 植田 謙吉

海軍陸戰隊方面ノ狀況

此日海軍陸戰隊ハ朝來緩徐ナル砲撃ヲ行ヒシカ敵ノ應答ナキニ依リ指揮官少將植松練磨ハ敵兵退却ノ

徵アルヲ察シ午後零時三十分頃各大隊ニ前進準備ヲ命シ東八字橋ニ進出スルヤ適、陸軍ノ連絡者第十

九聯隊第三大隊副官中尉松井榮喜知ヨリ當面ノ敵兵退却ノ狀況ヲ知リタルヲ以テ同二時攻撃前進ヲ命ス此頃關北一帶ハ敵ノ

放火ニ依リ到ル處火災ヲ生シ敵ノ敷設セル地雷處々ニ爆發シテ頗ル危險ナリシカトモ各隊ハ逐次殘敵

ヲ掃蕩シテ夕刻マテニ第七、第五大隊ヲ以テ共和路ノ線、第三、第一大隊ヲ以テ北停車場北側通關路女學校西

側道ノ線ニ進出シテ爾後ノ前進ヲ準備セリ

關北方面掃蕩ノ爲派遣セラレシ歩兵第二十二聯隊第五中隊ハ午後四時二十分匠泥巷東八字橋西一軒三百ニ到リ海

軍陸戰隊第七大隊ノ右翼ニ連繫シテ陣地ヲ占領シ海軍陸戰隊ニ配屬セラレシ獨立戰車第二中隊三輛ハ

午後三時東八字橋ニ到著シ第三、第一大隊ニ夫々一輛及二輛ヲ配屬スヘキ命ヲ受ケ各々商務印書館及

北停車場附近ニ到リテ掃蕩ニ協力シ同八時頃北部日本小學校ニ歸來シ同地ニ於テ中隊ノ全力ヲ集結セリ

附記 夜ニ入り第七大隊及第六大隊(砲隊)ノ主力吳淞砲臺攻略ノ爲該方面ニ轉用セララルルヤ步兵第二十二聯隊第五中隊長ハ當面

ニ敵兵ナキニ鑑ミ聯隊主力ニ合スヘク午後十時匠泥巷出發、夜十二時過大場鎮到着、直ニ在謝家宅聯隊主力ニ向ヒ追及セリ

工兵第一中隊ハ概ネ午後三時頃マテニ各隊配屬ノ部下ヲ掌握シ江灣鎮附近ノ橋梁及道路ヲ補修シ且大場鎮ニ至ル道路ヲ偵察シ夜ニ入り西部江灣鎮ニ宿營セリ

師團通信隊ハ師團司令部ノ前進ニ伴ヒ江灣鎮舊司令部ヨリ逐次電話線ヲ延長シテ軍司令部トノ連絡ヲ確保シ尙無線電信吳淞支隊配屬ノモノヲ轉用スヲ以テ軍司令部、混成第二十四旅團及步兵第六旅團兩司令部ト江灣鎮

舊師團司令部トヲ連絡シ午後四時大場鎮ニ無線電信所ヲ開設シテ直接前記各司令部トノ通信ニ任スルト共ニ該所ヨリ此等ノ間ニ新ニ電話網ヲ構成セリ

輻重兵第三中隊一小隊欠、道路補修班ノ編成ヲ解キ支那苦力百二十九名ヲ屬スハ天樂寺ヨリ江灣鎮ニ移リ夜ニ入り大場鎮ニ彈藥ヲ臂力搬送シ兵站自動車第五中隊ハ終日上海ヨリ糧食彈藥ヲ江灣鎮ニ前送シ夜ニ入り師團主力ニ追及スヘク準備

ニ著手ス

衛生隊ハ午前日來ノ傷者ノ收容ニ任シ百七十七名ヲ收容ス午後三時江灣鎮綑帶所ヲ撤收シ一部ヲ以テ殘務ヲ整理シ主力ヲ以テ同四時出發、同九時大場鎮ニ到着宿營シ第一、第四野戰病院ハ依然前任務ヲ續行セ

リ 收容傷者前者百二十五名、後者百十六名ニシテ此日前者ハ百十八名ヲ内地ニ還送セリ

此夜各隊ハ概ネ其進出線附近ニ於テ夜ヲ徹シ爾後ニ於ケル前進ヲ準備セリ

其二 步兵第二十二聯隊主力ノ追撃

中央隊タリシ步兵第二十二聯隊第三大隊及第五中隊欠ハ朝來其進出線ニ於テ爾後ノ前進ヲ準備中、聯隊長ハ午前十一時過電話ヲ以テ敵兵西方ニ潰走中ナル師團通報ト共ニ『大場鎮ニ向ヒ此敵ヲ追撃スヘキ』師團命令ヲ

受領シ直ニ現在ノ態勢ヲ以テ追撃スルニ決シ即時命令ヲ下シテ前進ニ移リ途中敵ノ抵抗ヲ受クルコトナク大場鎮南側ヲ經テ午後零時四十分第一大隊ヲ以テ侯家庫宅大場鎮西端西南西方一軒三百其他ヲ以テ北部徐宅大場鎮西端西南

南方五ニ達シ此旨電話ヲ以テ師團長ニ報告ス 同一時電話ニテ師團ノ追撃目標西行、眞竝『爾後南翔支隊ニ屬シ直ニ南翔鎮ニ向ヒ追撃スヘキ』要旨ノ師團命令第九三八頁參照ヲ受領ス

附記 同時師團參謀ヨリ混成第二十四旅團ノ前進多少遅ルヘケレトモ之ニ關セス前進スヘキコト、彈藥糧秣ノ補充ハ目下見込ナ

キヲ以テ糧秣ハ現地物資ニ依ルヘキコト並爾後電話連絡ハ打切トスル旨ヲ指示セラル當時聯隊ハ小銃彈各人約百發内外、携帶口糧一日分ヲ有セルニ過キス

是ニ於テ聯隊長ハ第二大隊第五中隊欠ヲ前衛、爾餘ヲ本隊トシ通信班、本部、步兵砲隊、第一大隊ノ序列ヲ以テ前衛ノ後方五百米ニ在リテ大場鎮―南翔鎮道ヲ南翔鎮ニ向ヒ急進ス當時左右ニ友軍ヲ認メス唯大

場鎮西端丘阜 大場鎮西端水濱北側附近 上ニ友軍ノ一小部隊 步兵第四十八聯隊第一 進出セルヲ見ルノミ
 午後四時三十分尖兵中隊 第六中隊、第二機關銃 ノ先頭盛家宅 西行西方 南端橋梁ニ達スルヤ前方四百米謝家宅
 東側ニ處々掩蓋ヲ有スル一連ノ散兵壕アリテ敵兵周章之ニ據リツツアルヲ發見ス

附記 當時敵ハ我ノ近接セルヲ知ラス住民タル一老婦ノ警告ニ依リ急遽陣地ニ就キタルモノニシテ適、連絡ノ爲突兵ニ追及中ナ
 リシ特務曹長熊井太郎之ヲ發見セリ

乃チ尖兵長 少尉 山中龍吉 ハ直ニ火線ヲ構成シ中隊長 大尉 木川 登 亦一小隊及機關銃中隊 長中尉吉岡英太郎、 ヲ尖兵ノ左
 ニ増加シテ射撃ヲ開始セリ

前衛司令官 少佐 土屋晴民 ハ盛家宅東方約二百米附近ニ於テ右ノ狀況ヲ知ルト共ニ尙敵ノ一部盛家宅ノ周壁ニ
 據リテ抗戰シアルヲ目撃シ先ツ第七中隊 一小隊 ニ「此敵ヲ擊破シテ其西端ニ於テ尖兵中隊ノ右ニ展開シ
 爾後右第一線トシテ續イテ謝家宅附近ノ敵ヲ攻撃スヘキ」ヲ命令シ機關銃一小隊ヲシテ第七中隊ノ戰
 鬪ニ協力セシメ次テ尖兵中隊ニ命スルニ「第七中隊ノ盛家宅西端進出ト共ニ左第一線トナリ本道ニ沿
 ヒ攻撃スヘキ」ヲ以テシ第七中隊ノ一小隊ヲ右翼後ノ豫備隊トセリ

此頃聯隊長ハ西行西南端附近ヲ行進中前衛ノ獨力攻撃スル狀況ヲ知り且西南方艾婁濠方向ヨリ激烈
 ナル射撃ヲ受ケタルヲ以テ逐次命令ヲ下シ先ツ前衛ニ曲射歩兵砲一小隊ヲ増加シテ本道以北ヨリ前面
 ノ敵ヲ攻撃セシメ第一中隊 長中尉 竹内主計 ヲ其左ニ増加シテ艾婁濠方向ヨリ當面ノ敵ノ右翼ヲ攻撃セシメ又步

兵砲隊 長中尉 中原寛治、ヲシテ西行南側堆土附近ヨリ第一中隊ノ戰鬪ニ協力セシメ次テ第一機關銃中隊
曲射一小隊 清水 圓 ヲモ同地附近ニ出シテ第一線ノ攻撃ヲ援助セシム 中隊ハ此命令ヲ受ケルニ先ダ單獨 而シテ爾餘ヲ西行
 北側附近ニ集結シテ豫備隊タラシメタリ

斯クテ第一線ハ午後四時五十分頃展開ヲ完了シ攻撃前進ニ移ルヤ敵兵遂ニ支フルヲ得スシテ同五時二
 十分退却ヲ始ム乃チ第一線ハ相前後シテ突撃ニ移リ殘兵ヲ擊破シテ謝家宅ヲ奪取シ續イテ追撃射撃ヲ
 行ヒ特ニ第七中隊 長中尉 大平秀雄、ハ張巷 謝家宅 附近ニ進出シテ退却スル敵ノ側背ヲ射撃シ相當ノ損害
 ヲ與ヘタリ時日沒ニシテ聯隊長ハ會々謝家宅北側ニ於テ騎兵將校斥候 長中尉 川村 寛 二依リ混成第二十四旅團
 ノ本夜大場鎮西北方地區ニ停止シ且附近ニ他ノ友軍部隊ナキヲ聽取シ夜間ノ混雜ヲ避クル爲爾後戰鬪
 ヲ中止シ第一線ヲシテ金家寺、張巷、謝家宅ヲ占領セシメ主力ヲ謝家宅北側ニ集結シ四周ニ對シ警戒
 ノ處置ヲ講シ夜ヲ徹セリ

附記 曩ニ師團直轄トシテ關北掃蕩ニ任セシ第五中隊ハ三日午前五時到着復歸シ又聯隊ノ配屬砲兵タル山砲兵第九聯隊第二大隊
(第五中隊欠) ハ二日午前七時廣東蕨地ニ前進ノ命ヲ受ケ同十時白楊村西方吳家宅出發、同十一時三十分所命ノ位置ニ到着スルヤ
 聯隊既ニ追撃ニ移リ、大隊ハ主力ニ追及スヘシトノ命ヲ受ケ直ニ大場鎮東端ニ前進シ集結ス此間歩兵第二十二聯隊長ヨリ砲兵ノ
 配屬ヲ解カレタル旨ノ通報アリ(蓋シ南翔支隊ニ關スル師團命令中ニ配屬ヲ明示シアラサリシカ爲ナリ)シカ夕刻師團長ヨリ依然
 歩兵第二十二聯隊ノ配屬砲兵トシテ同隊ニ追及スヘキ命令ヲ受ケ同隊通信班ノ一部ト同行シテ午後八時頃謝家宅北側ニ到着、陣
 地ヲ占領シテ夜ヲ徹セリ

三日午前五時過混成第二十四旅團到着シ爾後聯隊ハ同旅團長ノ指揮下ニ入ル

謝家宅附近ノ戦闘ニ於テ我ト交戦セシ敵ハ第六十一師ノ衛隊ニシテ歩兵少クトモ三百名、機關銃四挺ヲ有シ戦場ニ遺棄セシ屍體百ヲ下ラス

聯隊ノ損害ハ戦死一名、負傷三名ニシテ射耗彈藥小銃彈七千八百九十二發、輕機關銃彈七千八百八十一發、機關銃彈一萬九百九十四發、曲射歩兵砲彈六十八發、手榴彈五十一發、拳銃彈二百二十三發ナリ

其三 混成第二十四旅團ノ追撃

旅團右翼隊ハ午前六時中心巷西端ノ線出發、南部曹宅廟巷鎮西北ニ向ヒ前進ヲ開始シ同七時頃敵ヲ見ルコトナク一舉ニ同地ニ進出シテ兵力ヲ集結セリ

歩兵第二十四聯隊第一大隊第四中隊及機關銃一小隊欠ハ既ニ未明寶龍巷(寶龍巷)ニ達シ其第三中隊機關銃一小隊ヲ屬スハ拂曉マテニ周行附近ニ在リト豫想スル敵ノ背後ヲ遮斷スヘク北合寶龍巷西北方六百米附近ヲ占領ス然ルニ大隊長ハ天明

前楊煥橋ニ障礙物ヲ有スル堅固ナル陣地アルヲ知リタルヲ以テ午前六時頃ヨリ第二中隊ヲシテ之ヲ攻撃セシメ主力ヲ以テ同八時寶龍巷出發、北合ヲ經テ同九時三十分劉家橋北合西方二百米ニ到リ其西方張沿宅及

大劉宅ノ線ヲ占領シ第二中隊ノ敵ヲ見ルコトナク楊煥橋西北端ニ達シ歩兵第四十六聯隊第一大隊ノ一部ト連絡シタル後張沿橋ニ於テ主力ニ合ス各一小隊ヨリ成ル將校斥候ヲ朱家宅楊行鎮西端西及陳宅 大楊鎮西端西附近ニ派遣シテ敵情ヲ搜索スルト共ニ爾後ノ前進ヲ準備セリ

旅團長ハ拂曉後第一線ヲ巡視シ廟巷鎮ヲ經テ張家橋ニ到リ將兵ノ勞ヲ犒ヒテ歸來シ午前七時頃野戰重砲兵推進ノ爲旅團左翼隊配屬ノ工兵第二中隊ヲ旅團直轄ニ復シテ之カ陣地進入ヲ援助スヘキヲ命シ次

テ獨立山砲兵第二大隊ヲシテ陸家橋附近ニ前進セシムル如ク處置シタル後同八時頃麥家宅姚家宅北側出發、廟巷鎮ヲ經テ先ツ陸家橋ニ向ヒ前進セリ

附記 旅團長ハ爾後ノ前進ヲ顧慮シ集積軍需品ヲ廟巷鎮ニ推進セシム

當時旅團左翼隊ノ右第一線タル歩兵第四十六聯隊第一大隊ハ午前七時三十分頃第三中隊ノ一小隊長少尉馬場寬記ヲ李家樓ニ先遣シ同八時三十分其報告ニ依リ敵ナキヲ知ルヤ直ニ前進ヲ起シ同九時李家樓ニ到

リ同地及曹宅李家樓南側附近ニ陣地ヲ占領シテ敵情地形ヲ搜索シ爾後ノ前進ヲ準備セリ

旅團左翼隊左第一線タル歩兵第四十八聯隊第一大隊ハ午前六時三十分頃第三、第一中隊ノ各一小隊ヲ以テ夫々李庫廟巷鎮西端西及陳宅 南方一軒七百及其南方三百米附近ヲ占領シ次テ第四中隊ノ一小隊ヲ康家宅李庫西方五百米及北孟宅康家宅南側附近ニ派遣シテ當面ノ敵情地形ヲ搜索セシメ爾後ノ前進ヲ準備セリ

附記 午前八時旅團命令ニ依リ工兵第二中隊ヲ旅團直轄タラシメタリ

旅團左翼隊豫備隊ヲ命セラレタル歩兵第十四聯隊第二大隊主力本部、第六、第七中隊、機關銃中隊ノ主力ハ午前八時頃麥家宅(客家宅)ニ集結終リ次テ旅團命令ニ依リ孟家宅ニ後退シテ旅團豫備隊トナリ同十時頃マテニ第五、第八中隊ヲ其手裡ニ收メタリ

旅團左翼隊長ハ午前八時頃第一線兩大隊ノ一部夫々李家樓及李庫附近ニ進出セルヲ知リ先ツ李庫ニ前進スルニ決シ歩兵第四十八聯隊第一大隊ノ一中隊ヲ豫備隊トシテ同地ニ出スヘキヲ命シ豫備隊歩兵第四十六聯隊

第二中隊ヲ率キテ麥家宅(客宅家)出發、同八時四十分康家宅ニ進出シ直ニ步兵第四十六聯隊第一大隊ニ
 ノ一小隊ヲ率キテ麥家宅(客宅家)出發、同八時四十分康家宅ニ進出シ直ニ步兵第四十六聯隊第一大隊ニ
 一部ヲ以テ沈家巷李家樓西南方五百米ヲ占領セシムヘキヲ命令セリ此命令ハ步兵第四十六聯隊第一大隊ニ傳達セラレシ
 旅團左翼隊長ハ當面ノ敵兵既ニ退却セルヲ知リ獨斷大場鎮西端ニ追撃スルニ決シ午前九時四十五分左
 ノ要旨ノ命令ヲ下達セリ

混成第二十四旅團左翼隊命令ノ要旨

- 一 敵ハ西方ニ敗退セリ
 - 二 旅團左翼隊ハ敵ヲ急追シテ大場鎮西端ニ向ヒ前進セントス
 - 三 步兵第四十六聯隊第一大隊ハ沈家巷李家樓西南方五百米ヲ經テ錢宅大場鎮西端西方八百米ニ向ヒ追撃スヘシ
 - 四 步兵第四十八聯隊第一大隊ハ姚村塘大場鎮西部北方七百米ヲ經テ大場鎮西端ニ向ヒ追撃スヘシ
 - 一 中隊ヲ康家宅ニ出シ旅團左翼隊豫備隊タラシムヘシ
 - 五 南大隊戦闘及搜索地境ハ北孟宅廟巷鎮西、南方二軒、姚村塘、洛河橋宅大場鎮西側ヲ連スル線トシ線上ハ左大隊ニ屬ス
 - 六 予ハ第一線ノ前進ニ伴ヒ姚村塘ヲ經テ童江宅ニ到ル
- 步兵第四十六聯隊第一大隊二分隊(李家樓及孟家宅ニハ午前十時五分錢宅ニ追撃スヘキ旅團左翼隊命令ヲ受後方機關掩護ノ爲殘置)欠ハ午前十時五分錢宅ニ追撃スヘキ旅團左翼隊命令ヲ受ケ同十時三十分過李家樓出發、沈家巷李家樓西南方五百米、許巷沈家巷西方一軒、馮家宅許巷西方、胡宅馮家宅西南方五百米、錢宅胡宅西方

倉庫ノ占領

西南道ヲ前進シ同十一時五十分馮家宅當時許巷ニ於テ敵ノ野戰倉庫(彈藥、築城材料、糧秣等多數集積シアリ)ヲ占領ス

附記

- 一 此時第十九路軍總指揮部ノ旗ヲ掲ケル自動車一輛ヲ押收シ且其搭乗者(華僑救國義勇軍總指揮周顯甫ナリ)シコト戰後ニ判明ス
- 二 此頃我カ飛行機(偵察砲兵中尉大沼清、操縱曹長手塚小松)ハ大場鎮西側ノ退敵ヲ機上ヨリ射撃シ且敵兵退却ノ狀況ヲ通報セリ

步兵第四十八聯隊第一大隊長ハ旅團左翼隊本部ノ前進ニ伴ヒ午前八時五十五分第三中隊ノ一小隊及第四中隊ヲシテ夫々康家宅及北孟宅各西端ヲ占領セシメ第一中隊ヲ旅團左翼隊豫備隊トシテ李庫ニ到ラシメ爾餘ノ主力ヲ以テ準備完了ト共ニ速ニ北孟宅ニ進出スヘク準備中午前十時前記命令ニ接シ同十時二十分朱家宅出發、北孟宅廟巷鎮西、南方二軒、姚宅北孟宅西南側、王家衛北孟宅西方一軒、姚村塘王家衛西方七百米、大場鎮西端道ヲ前進シ

第三中隊ノ一小隊午後一時二十分大場鎮西端ニ達セリ

旅團左翼隊長ハ步兵第四十八聯隊第一中隊ト共ニ午後一時三十分塘坊橋大場鎮西側北側南側ニ達セリ

是ヨリ先旅團長ハ午前十時頃張家橋ニ於テ旅團左翼隊既ニ獨斷追撃ニ移リ步兵第二十四聯隊第一大隊亦李家樓東側水濠ノ線以西ニ進出シアルヲ知リ同大隊及步兵第二十二聯隊第三大隊並步兵第十四聯隊第二大隊ヲ胡家灣附近ニ於テ掌握シテ爾後ノ追撃ヲ準備スルニ決シ夫々部署スルトコロアリ次テ同十

旅團長ノ追撃部ヲ率キテ大場鎮西端ニ進出シ直ニ步兵第四十六聯隊第一大隊ニ

二聯隊
三大隊
砲兵隊
李家樓
近集結

一時旅團砲兵隊ニ命シテ其山砲兵一中隊ヲ直ニ步兵第四十六聯隊第一大隊ニ配屬シテ同大隊ニ追及セシメ爾餘ノ山砲ヲ本隊砲兵トシテ步兵第十四聯隊第二大隊ニ續行セシメ野戰重砲兵第一中隊ヲシテ麥家宅姚家宅北側、江灣鎮ヲ經テ大場鎮西端ニ迂回前進セシメタリ

附記 當時旅團砲兵隊ハ獨立山砲兵第二大隊ヲ以テ午前九時頃麥家宅姚家宅北側出發、白楊村、孟家宅ヲ經テ陸家橋ニ進出シ午前十時四十分到着野戰重砲兵第一中隊ヲ以テ依然現陣地ニ位置シ其觀測所ヲ廟巷鎮西端ニ推進午前十一時到着セシカ前記

旅團命令ニ依リ第五中隊ヲ配屬砲兵ト爲セリ乃チ第五中隊ハ午前十一時五十分陸家橋出發、胡家灣、李家樓、沈宅李家樓西南方一軒ヲ經、自ラ進路ヲ拓キテ午後二時三十分馮家宅ニ於テ步兵第四十六聯隊第一大隊ニ追及セリ

又野戰重砲兵第一中隊長ハ既ニ獨斷工兵第二中隊ノ援助ニ依リ金馮宅、廟巷鎮北側ヲ經、敵陣地ヲ橫斷シテ午後三時頃辛ウツテ陸家橋ニ達セシカ始メテ前記旅團命令ヲ受領シ再ヒ舊陣地ニ後退シ自ラ進路ヲ開拓シツツ日没前孫家宅江灣鎮中部北方一軒半ニ於テ所屬大隊ニ追及セリ第九四二頁參照

當時旅團長ハ爾後ノ追撃方向ニ關スル師團命令ヲ待望シ百方連絡ニ勉メタレトモ通セス午前十一時三十分ニ至リ始メテ左ノ要旨ノ師團命令電話ヲ受領スルヲ得タリ

第九師團命令ノ要旨

- 一 敵ハ西方ニ潰走中ナリ
- 二 師團ハ敵ヲ大場鎮、西行ノ線ニ向ヒ追撃セントス
- 三 各兵團ハ各其戰鬪地域ヲ前記ノ線ニ向ヒ追撃スヘシ

四 予ハ依然現在地ニ在リ

附記 右命令第二項師團ノ追撃目標ハ西行、眞茹鎮ノ線ナルヲ誤リ傳ヘラレタルモノニシテ當時旅團長ヲシテ疑惑ノ念ヲ起サシメタレトモ爾後通信杜絶シテ之ヲ確ムル能ハス又戰鬪地域延伸ニ關スル命令ハ遂ニ到達セザリキ

步兵第二十二聯隊第三大隊ハ正午頃楊煥橋ニ集結スヘキ旅團命令ヲ受領シ午後一時曹宅出發、同一時二十分所命ノ地點ニ到着シ步兵第二十四聯隊第一大隊ハ午後零時三十分姚宅ニ集結スヘキ旅團命令ニ接シ同一時三十分張沿宅出發、進路ノ關係上同一時四十分李家樓ニ到着ス又步兵第十四聯隊第二大隊ハ午前十一時廟巷鎮西端ニ進出スヘキ命令ニ依リ午後一時孟家宅出發、廟巷鎮、陸家橋ヲ經テ李家樓ニ進出シ前記各隊ト共ニ旅團長ノ手裡ニ入レリ

旅團長ノ
馮家宅ニ
出鏡知リ
得タル敵

旅團長ハ午後一時三十分頃李家樓出發、主力ヲ率キテ概ネ步兵第四十六聯隊第一大隊ノ進路ヲ追撃シ同二時過馮家宅ニ到着シ旅團ノ第一線ノ既ニ師團追撃目標タル大場鎮西端實際ハ師團ノ追撃目標ニアラスニ到達シ步兵第十八旅團ノ先頭亦幾クモナク同地ニ進出セルヲ知り之ヲ師團長ニ報告スヘク無線電信ヲ以テ連絡ニ勉ム時ニ飛行機偵察砲兵中尉志村周一ヨリ左ノ如キ通報アリ

- 一 敵ノ後尾ハ大場鎮、南翔鎮中間附近ヲ南翔鎮ニ向ヒ潰走中ナルカ如シ
- 二 南翔鎮ニ在ル敵ハ著シク減少シ敵ハ該地ニ於テ抵抗ノ企圖ナキカ如シ
- 三 眞茹鎮ノ敵ハ蘇州河ヲ渡リ租界ニ遁入中ナルカ如シ

旅團長ノ
狀況ノ
設之
旅團長
ノ
部隊
ノ
編成
ノ
各
部
ノ
解
除
ノ
勢
態

旅團長ハ暫ク同地ニ在リテ師團命令ヲ待チシカ爾後西進スヘキカ西南進スヘキカ明ナラサリシヲ以テ馬橋宅大場鎮西端、陳宅南方一軒、錢宅南方七軒附近ニ兵力ヲ集結シテ爾後ノ前進ヲ準備スル爲一時休止ノ態勢ヲ取ルニ決シ先ツ旅團左翼隊ノ編成ヲ解キ次テ同三時十分命令混二四旅作命第四十號ヲ下シテ概ネ左ノ如ク部署セリ

附記 旅團左翼隊長片村參謀ハ步兵第四十八聯隊第一中隊ヲ原所屬ニ復歸セシメ午後二時過馮家宅ニ歸還セリ

一 步兵第四十六聯隊第一大隊ヲシテ小池園馬橋宅西南方一軒半附近ニ位置シ蘇家宅小池園西北側、當時蘇家宅ト誤稱スヨリ陸家宅

小池園東南ニ互ル間ヲ西南方ニ對シ警戒セシム

二 步兵第四十八聯隊第一大隊ヲシテ東木橋大場鎮西端西北西方一軒三百附近ニ位置シ小石橋東木橋南側ヨリ洛河橋宅

大場鎮ニ互ル間ヲ南方ニ對シ警戒シ特ニ第九師團ノ右翼ト密接ニ連繫セシム

三 兩大隊ノ搜索警戒地境ヲ馮宅小池園東南方三百米南端ト新宅馮宅西南方二軒北端ヲ連スル線ト定ム

四 爾餘ノ諸隊ヲシテ左ノ如ク村落露營セシム

旅團司令部 郁宅

步兵第十四聯隊第二大隊馮家神樓宅及黃港ニ各一小隊、ヲ出シテ西北方ニ對シ警戒ス 旅團通信隊 陳宅、郁宅

步兵第二十四聯隊第一大隊馮家宅ニ一中隊ヲ出シ、テ東方ニ對シ警戒ス、獨立山砲兵第二大隊 北陳宅、錢宅

步兵第二十二聯隊第三大隊馬橋宅北方五百米本道上ニ約一、中隊ヲ出シテ北方ニ對シ警戒ス、工兵第二中隊 馬橋宅

五 衛生班ヲシテ馬橋宅ニ到ラシム

六 昨一日戦闘ノ爲臨時配屬セル部隊ヲシテ本日中ニ原所屬ニ復歸セシム

右命令ニ依リ各隊ハ各々所命ノ位置ニ就キ第一線ハ概ネ午後六時頃マテニ警戒ノ配備ヲ完了シ馮家宅敵野戰倉庫ノ糧秣ニ依リ給養セリ但工兵第二中隊ハ進路補修ノ爲時間ヲ費シ且携行材料多キ爲豫定ノ行動ヲ取ルヲ得ス午後十時康家宅廟巷鎮西南方二軒ニ集結宿營ス又衛生班ハ此日終日傷者ノ收容ニ從事シ夜ニ入り白楊村ニ宿營シ旅團輜重隊ハ麥家宅姚家宅北側ニ於ケル集積彈藥多クシテ之カ監視ヲ要スルノミナラス運搬具ナクシテ旅團ニ追隨スルヲ得サリシヲ以テ命令ニ依リ同地ニ停レリ

附記 旅團ノ追撃ニ際シ最モ困難セルハ地形ノ關係上軍需品ノ追隨意ノ如クナラサリシ點ニシテ義勇軍ノ努力ニ依リ辛ウシテ山砲彈一門約六十發ヲ携行シ得タレトモ尙爾後ノ補給ヲ顧慮シ麥家宅(姚家宅北側)ニ集積殘置セル軍需品ヲ大場鎮ニ轉送セラレタ

キ行師團長ニ要請スルトコロアリ

旅團長ハ午後五時三十分郁宅ニ到リ同八時稍々前師團副官大尉 櫻橋真作ヨリ「敵ハ遠ク潰走セシカ如シ混成第二十四旅團長ハ步兵第二十二聯隊主力日下南翔鎮ニ向ヒ追撃中ヲ併セ指揮シ南翔支隊トナリ速ニ南翔鎮ヲ占領シ敵若頑強ナル抵抗ヲ爲スヲ豫期セハ師團主力ノ進出ヲ待ツヘシ」トノ師團命令ヲ受領シ又同時頃大場鎮ニ於ケル師團司令部トノ電話開通シテ同様ノ命令ヲ受ケタルヲ以テ同八時命令混二四旅作命第四十一號ヲ下シ其

要旨ヲ傳ヘ且左ノ如ク部署セリ

旅團長ノ
南翔支隊
長トシテ
旅團ノ
進出ノ
家宅附近

一 歩兵第二十二聯隊第三大隊ヲ前衛ト爲シ午前二時小石橋出發、南翔鎮ニ向ヒ前進セシメ一小隊ヨリ成ル將校斥候ヲ直ニ南翔鎮方向ニ出シテ歩兵第二十二聯隊主力ト連絡セシム

二 爾餘ヲ本隊ト爲シ午前二時マテニ工兵第二中隊、旅團通信隊、旅團司令部、歩兵第二十四聯隊第一大隊、歩兵第十四聯隊第二大隊、獨立山砲兵第二大隊、歩兵第四十八聯隊第一大隊、歩兵第四十六聯隊第一大隊ノ順序ヲ以テ小石橋ヲ先頭トシテ路上ニ集合セシム但歩兵第四十六聯隊第一大隊ヲシテ行軍中其序列ニ入ラシム衛生班ヲシテ南翔鎮東端ニ追及セシム

斯クテ旅團ハ午前二時小石橋出發、歩兵第二十四聯隊第一大隊ヲ前衛トシテ歩兵第二十二聯隊第三大隊南翔鎮ニ向ヒ前進シ午前四時三十分謝家宅附近ニ於テ歩兵第二十二聯隊ノ主力ノ休止セルニ會シ暫ク停止シ燎火ヲ圍ンテ天明ニ至ル

附記 歩兵第二十二聯隊第三大隊ハ午前五時原所屬ニ復歸ス

其四 歩兵第十八旅團第十九聯隊欠ノ追撃

右翼隊長タリシ歩兵第十八旅團長ハ拂曉後諸斥候ノ報告ニ依リ顔宅大場鎮東端東北方一軒七百附近ノ陣地ニ敵ナキヲ知リ直ニ第一線ヲシテ前記ノ線ヲ占領セシムヘキヲ命令セリ

附記 旅團長ハ尙豫備隊ヲ以テ麥家宅(登家宅)、竹園墩(團墩)ノ線以東ノ地區、歩兵第三十六聯隊ヲ以テ右ノ線以西ノ地區ニ於ケル戰場掃除ヲ行ハシメタリ

顔宅、黃宅附近ノ古領近ノ兵第三十聯隊長ノ六聯隊長ノ頭進出ノ場

歩兵第三十六聯隊長ハ午前七時頃前記旅團命令ニ先タチ第二大隊ヲシテ顔宅、第三大隊ヲシテ周宅顔宅南方五百、第一大隊ヲシテ冬青園周宅東南側、現ヲ占領セシメ自ラ金家碼頭ニ進出シテ山砲兵第五中隊ヲ招致セリ

附記 第二大隊ハ直ニ先ツ第五中隊ノ一小隊(長少尉青木七兵衛)ヲ顔宅ニ先遣シ其掩護ノ下ニ主力ヲ以テ午前八時頃周家宅出發、同八時三十分頃顔宅ニ達シ陣地ヲ占領シ前哨ノ敵情ヲ搜索ス

第三大隊ハ同八時三十分頃四車頭出發、同九時過黃宅、吳宅、周宅(以上何レモ顔宅南側)附近ニ兵力ヲ集結シテ陣地ヲ占領シ大場鎮方向ノ敵情ヲ搜索ス

第一大隊ハ午前七時頃第三中隊ノ一小隊ヲ冬青園ニ派遣シテ搜索ニ任セシメ一部ヲ以テ前日戦闘セシ地域ノ掃除ヲ行ヒ主力ヲ以テ爾後ノ前進ヲ準備セリ

大場鎮附近進出ノ旅團長ノ部署

旅團長ハ午前九時四十分「敵ハ潰亂ノ微アリ、右翼隊ハ速ニ大場鎮西端ノ線ニ進出スヘシ」トノ師團命令電第九三七頁參照並中央隊トノ戦闘地境ヲ變更スル旨ノ命令ヲ受領セシヲ以テ同四十五分電話ヲ以テ左ノ如ク命令セリ

歩兵第十八旅團命令ノ要旨

- 一 敵ハ潰亂ノ微アリ
 - 二 右翼隊ハ先ツ大場鎮西端ノ線ニ向ヒ進出セントス
 - 三 第一線部隊ハ即時大場鎮南北ノ線ニ向ヒ追撃スヘシ
- 歩兵第三十六聯隊長ハ午前十時頃金家碼頭ニ於テ「旅團ハ大場鎮東端南北ノ線ニ向ヒ前進ス第一線ハ

旅團各隊
命令ノ行動

同線ニ向ヒ前進スヘシ前進目標及字句旅團司令部ノ記録ト相違ストノ旅團命令ヲ受領シ之ニ基キ同十時十分左ノ要旨ノ命令ヲ口達電シテ各大隊ヲシテ前進ニ移ラシメタリ

步兵第三十六聯隊命令ノ要旨

- 一 大場鎮附近ノ敵ハ潰亂ノ微アリ
- 二 聯隊ハ逐次前進シ先ツ大場鎮東端南北ノ線ニ向ヒ前進セントス
- 三 第一線各大隊ハ同線ニ向ヒ前進スルニ勉ムヘシ
- 四 各大隊ノ戦闘地境ヲ左ノ如ク改ム
 - 第二、第三大隊間 四車頭北端、徐宅顔宅西南方一軒各南端、塘坊橋大場鎮西北端北端ノ線
 - 第三、第一大隊間 竹園墩北端、周宅南端、東庫徐宅南方二百米南端、北石橋宅大場鎮東部北側南端ノ線
- 五 予ハ金家碼頭ニ在リ爾後周宅ニ向ヒ前進ス

附記 第二大隊ハ右命令ニ基キ午前十一時頃顔宅出發、途中一部ノ殘敵ヲ驅逐シテ正午頃マテニ徐宅顔宅西南方一軒ニ集

結シテ爾後ノ前進ヲ準備シ第三大隊ハ同十時三十分第十中隊ノ一小隊ヲ西庫ニ、第一大隊ハ同時頃第二中隊ノ一小隊ヲ東石橋宅ニ進メ何レモ敵情地形ヲ搜索シテ爾後ノ前進ヲ準備セリ

山砲兵第五中隊ノ前進

山砲兵第五中隊長代理中尉松前未曾雄ハ普西ヨリ陣地ヲ變換シ午前十一時二十分金家碼頭附近ニ進出シ彈藥ヲ補充シ前進準備ヲ整ヘタリ

旅團長ノ命令ノ進出

旅團長ハ正午普西出發、金家碼頭ニ前進シ午後零時五十分同所ニ於テ追撃ニ關スル師團命令午前十一時四十分發ヲ受領シ直ニ第一線ニ『速ニ敵ヲ追撃シ大場鎮北側地區ヲ經テ陸家窩大場鎮西端西方四軒半、洋馬衛陸家窩東側、張家衛洋馬衛東側ノ線ニ進出スヘキ』ヲ命令シ旅團長ハ大場鎮西端西南西方二軒半新宅ニ到ルヘキヲ示ス且第一線カ彈藥ノ補充、背囊ノ運搬等ノ爲未夕前進ヲ起スニ至ラサルヲ知り其前進ヲ督勵セリ

步兵第三十六聯隊ノ進出

聯隊長ハ午後一時過各大隊ニ右命令ノ要旨ヲ示シ『第二大隊ハ陸家窩、第三大隊ハ梅園洋馬衛南側、第一大隊ハ張家衛ニ向ヒ追撃スヘキ』ヲ命令聯隊長ハ張家衛北方七百米ニ到ルヘキヲ示スシタル後直ニ豫備隊ヲ率キテ前進ヲ起ス

各大隊ハ午後四時乃至五時ノ間概ネ所命ノ地點ニ達シ聯隊長ハ同四十五分宗宅張家衛北東方七百米ニ進出セリ

附記 第二大隊ハ此命令ニ基キ午後二時頃徐宅出發、行軍隊ヲ以テ大場鎮北方地區ヲ經テ同五時過陸家窩ニ達シ、第三大隊ハ

同時三十分頃黃宅出發、同様ノ隊形ヲ以テ大場鎮北側地區及楊子溼ヲ經テ同四時過洋馬衛ニ進出ス又第一大隊ハ午後一時過廣東墓地西側出發、疎開前進シ途中先遣セル兵力ヲ併セ大場鎮部落内ヲ經テ同二時其西端ニ進出シ左右ノ連絡ヲ取りタル後同四時頃張家衛ニ到着セリ

旅團各隊
命令ノ行動

旅團長ハ步兵第三十六聯隊本部ニ次テ金家碼頭出發、同四時過楊子溼ニ到着シ東南方孟巷場方向ニ當リ稍々激シキ銃砲聲ノ斷續スルヲ聞クト共ニ混成第二十四旅團ノ既ニ大場鎮西北方地區ニ進出シ本夜其附近ニ停止スル企圖ノ下ニ目下西面及西南面シテ陣地ヲ占領中ナルヲ知りタルヲ以テ左翼隊又ハ中央隊正面ノ敵未夕全ク後退セサルモノト爲シ狀況ニ依リテハ南面シテ此敵ヲ攻撃スル場合アルヘキヲ

歩兵第三十六聯隊
ノ子隊
附子隊
後退集結
第五中隊
及砲兵

顧慮シ尙左右ノ連繫上主力ヲ楊子涇南側地區ニ集結スルニ決シ部署スルトコロアリ
歩兵第三十六聯隊ノ各大隊ハ所命ノ線進出後左右相連繫シ夫々警戒ノ配備ニ著手スルヤ午後五時三十
分頃聯隊長ヨリ狀況ノ變化ニ依リ速ニ楊子涇南側地區ニ集結スヘキ旨ノ旅團命令ニ接シ同六時乃至七
時ニ互リ逐次後退ヲ始メ同九時四十分マテニ主力ヲ以テ楊子涇ニ集結ス
同夜聯隊ハ第三大隊ヲ以テ朱家梅園楊子涇西側附近ヲ占領シテ西南方ニ對シ警戒シ其他ヲ以テ楊子涇ニ露
營セリ

此日山砲兵第五中隊ハ午後二時頃金家碼頭出發、日沒頃東木橋楊子涇東北方ニ達シ其東南側ニ陣地ヲ占領シ
テ夜ヲ徹セリ

午後九時頃ニ至リ師團司令部及歩兵第六旅團トノ連絡成リ同十一時五十分旅團長ハ明三日ノ行動ニ關
スル師團命令午後十時十五分發九師作命第
二十九號(第九三頁參照)ヲ受領シ三日午前零時三十分左ノ要旨ノ命令ヲ下達セリ

三日ノ旅團命令
ノ師團命令
旅團命令
及砲兵

歩兵第十八旅團命令ノ要旨

- 一 敵ハ南翔鎮及眞茹鎮方向ニ退却シ關北方面ノ敵モ退却セルモノノ如シ但歩兵第六旅團ノ通報ニ
依レハ東漢港眞茹鎮北方、一軒二百、老宅東漢港東、南方一軒、浦家角老宅、南方一軒、小楊廟浦家角東南、方曹宅西側各東端ニハ一部ノ敵兵陣地ヲ
占領シアリ
- 同旅團ハ午前七時三十分陳宅東漢港東、方一軒、常家角陳宅南、方一軒ノ線ヨリ此敵ヲ攻撃シ南翔鎮方向ニ進出スル

筈

- 二 旅團歩兵第三十六聯隊第一大隊欠、騎兵一小隊、山砲兵第五、第八中隊、野戰重砲兵一中隊ヲ屬スハ本三日早朝現在地出發、眞茹鎮ヲ占領シ南方及關北
方面ノ敵情ヲ搜索シ要スレハ海軍陸戰隊ト協力シテ關北方面ノ敵ヲ掃蕩セントス

- 三 歩兵第三十六聯隊第一大隊ハ師團直轄トナリ三日午前八時マテニ東木橋楊子涇東北側ニ到リ山砲兵第
九聯隊長ノ區處ヲ受クヘシ

- 四 歩兵第三十六聯隊第三大隊一中隊欠ハ前衛トナリ本三日午前七時楊子涇南端出發、張王家宅楊子涇南
方一軒ヲ經テ先ツ九王廟張王家宅南方一軒ニ向ヒ前進スヘシ

- 五 歩兵第三十六聯隊主力及山砲兵第五中隊ハ歩兵第三十六聯隊長ノ區處ヲ以テ前衛ノ後方四百米
ヲ左ノ行軍序列ヲ以テ續行スヘシ但歩兵第三十六聯隊ヨリ野戰重砲兵中隊掩護ノ爲一小隊ヲ本三
日午前六時三十分マテニ大場鎮西端ニ出シ同中隊長ノ指揮ニ入ラシムヘシ

歩兵第三十六聯隊第三大隊ノ一中隊
旅團司令部

歩兵第三十六聯隊第一、第三大隊欠
山砲兵第五中隊

六 野戰重砲兵中隊ハ步兵小隊掩護ノ下ニ本三日午前七時大場鎮出發、大場鎮—大橋宅大場鎮南側—張宅大橋宅西—陳宅一軒中—常家角陳宅南方一軒—真茹驛道ヲ真茹驛ニ進出シ旅團主力ニ合スヘシ但真茹驛北側地區ニ於テ戰鬪ヲ惹起セル場合ハ適時其戰鬪ニ協力スヘシ

七 步兵第十九聯隊及山砲兵第八中隊ハ依然前任務ヲ續行スヘシ
速ニ真茹驛ニ於テ連絡スルヲ要ス
八 予ハ本隊ノ先頭ニ在リテ行進ス

步兵第三十六聯隊長ハ右ニ基キ午前三時五分命令ヲ下シ第三大隊第九中隊欠、少ヲ前衛、第七中隊ノ一小隊ヲ野戰重砲兵ノ掩護タラシメタリ

其五 步兵第六旅團步兵第十九聯隊ヲ屬スノ追擊

左翼隊長タリシ步兵第六旅團長ハ拂曉步兵第十九聯隊ノ楊家宅、王家驛、馬橋ヲ、次テ更ニ夏馬灣、西錢塘、張三橋附近ヲ占領セルノ報告ヲ受領スルト共ニ其他ノ正面ニ於テモ敵兵既ニ西方ニ退却セルヲ知リ先ツ北楊湖江灣鎮西端西方二軒ヨリ西曹涇巷北楊湖南ヲ經テ袁家宅西方一軒ニ互ル線ニ追擊スルニ決シ午前七時四十五分第一線諸隊ニ即時行動開始ヲ命シ獨立戰車第二中隊ヲシテ步兵第七聯隊ノ戰鬪地域内ヲ先ツ孟家巷ニ前進セシメ同九時豫備隊ヲ率キテ江灣鎮出發、同十時三十分楊家宅江灣鎮西端西南方一軒ニ到リ該地ニ於テ土人ヨリ敵主力ノ既ニ真茹鎮方向ニ退却セルヲ聞キ師團長ニ報告スルトコロアリ

附記 旅團司令部ノ出發後連絡ハ主トシテ無線電信ニ依ル

步兵第三十五聯隊
南側附近
楊湖附近
占領

是ヨリ先步兵第三十五聯隊ハ午前七時三十分頃マテニ既ニ第一線ヲ以テ北楊湖北側道路附近ヨリ南楊湖ニ互リ陣地ヲ占領シテ前面ノ敵情ヲ搜索シ主力ヲ孟家巷ニ集結セシカ同八時頃北孫宅、南孫宅東側ノ線ニハ障礙物ヲ有スル堅固ナル陣地アレトモ守兵ナキヲ知リタルヲ以テ聯隊長ハ第一線ヲシテ續イテ大場鎮方向ヲ搜索セシメ之ヲ旅團長ニ報告ス而シテ聯隊配屬ノ山砲兵第一中隊午前八時ヨリ午後一時ニ至ル間前進援助ノ爲工兵一小隊ヲ配屬スハ午前七時江灣鎮ノ陣地ヲ撤シ麥王宅ニ到リ彈藥ヲ補充シテ爾後ノ前進ヲ準備セリ

步兵第七聯隊
曹嚴附近
家巷附近
占領

步兵第七聯隊長代理少佐時澤直義ハ午前七時全將校ヲ嶺南橋廣東地南方一軒永久橋東南側墓地ニ集メ一場ノ訓示ヲ與ヘ且聯隊長遺留ノ水筒ヲ傾ケテ全員ト俱ニ之ヲ飲ミ其死ヲ悼ム時ニ前記旅團命令アリシヲ以テ聯隊長代理ハ同八時十分命令ヲ下シ第一大隊步兵砲中ヲ右、第二大隊ヲ左各第一線トシ第二大隊第七中隊及機關銃中隊欠、第六中隊ヲ復歸スヲシテ其右後方ニ續行セシメ第五中隊ノ一小隊及工兵小隊ヲシテ山砲兵第一大隊ヲ掩護セシム即時行動ヲ起シテ西曹涇巷ニ向ヒ前進セシメ同九時過第一大隊ヲ以テ嚴家濱西曹涇西側、其他ヲ以テ曹家巷及趙家村ニ進出シ數十名ノ敵兵南孫宅及兪宅附近ヨリ西走スルヲ目撃シ斥候ヲ出シテ石谷坎宅大場鎮東端南方一軒及周宅石谷坎附近ヲ搜索セシムルト共ニ彈藥ヲ補充シ爾後ノ前進ヲ準備ス又聯隊配屬ノ山砲兵第一大隊第一中隊ハ午前九時過陣地ヲ撤シ步兵第七聯隊ノ後方ヲ前進シ同十時過西曹涇巷ニ達シテ其北側ニ陣地ヲ占領セリ

步兵第九聯隊

步兵第十九聯隊長ハ午前七時四十五分魏村橋ニ於テ其戰鬪地域内ヲ袁家宅張三橋西南西方一軒方向ニ追擊スヘキ

第一節 三月二日ノ狀況

夏馬灣附近

旅團命令ヲ受ケ直ニ第二大隊ヲ曹家巷次テ夏馬灣ニ變更ス、山砲兵第八中隊ヲ夏馬灣附近ニ前進セシメ第三大隊ヲ西錢塘ニ集結セシメ第一大隊第三中隊ヲ彈藥補充ヲ爲スヲ率キテ夏馬灣ニ前進セリ

附記 尙聯隊長ハ前進ニ方リ全通信網ヲ撤去セシメ且配屬工兵小隊ヲシテ方濱一馬橋道ヲ補修セシメタリ

第二大隊(曲射歩兵砲一小隊ヲ屬ス)ハ聯隊命令ニ依リ楊家宅東南側ニ大隊ヲ集結シタル後先ツ曹家巷ニ向ヒ次テ同八時三十分頃夏馬灣西南側墓地附近ニ到リテ主力ノ來著ヲ待チ第三大隊ハ集合喇叭ニ依リ同八時頃各所ニ分散セル兵力ヲ小徐港附近ニ迅速ニ集結スルヲ得タリ

歩兵第十聯隊ノ司令部附近ノ戦場

聯隊長ハ午前九時頃左翼隊長ヨリ「大場鎮南側ニ向ヒ追撃スヘキ」命令此命令ニ示ス追撃目標ハ電ヲ受領シ主力ヲ以テ大場鎮ノ敵ヲ南方ヨリ包圍スル如ク追撃シ一部ヲ以テ海軍陸戰隊ト協力シテ閘北方面ノ敵ヲ壓迫スルニ決シ午前九時三十分命令ヲ下シ概ネ左ノ如ク部署セリ

一 第三大隊一中隊欠、曲射歩兵砲一小隊ヲ屬スヲシテ現在ノ線ヨリ彭浦鎮方向ニ追撃シ海軍陸戰隊ト協同シテ閘北ノ敵ヲ掃蕩セシム

二 第二大隊一中隊欠、曲射歩兵砲一小隊ヲ屬スヲ前衛ト爲シ徐港上—蘆花莊夏馬灣西南方一軒半—石谷坎宅大場鎮東南方一軒半—大橋宅大場鎮南側道ヲ大橋宅ニ向ヒ追撃セシム

三 爾餘ノ諸隊ヲシテ第二大隊ノ一中隊、山砲兵中隊、第一大隊、平射歩兵砲小隊、第三大隊ノ一中隊ノ順序ヲ以テ前衛ノ後方四百米ヲ前進セシム

四 配屬工兵小隊ヲシテ姚宅大場鎮南側ニ向ヒ主力ニ追及セシム

附記 第三中隊ハ午前十時魏村橋出發、聯隊ノ彈藥ヲ運搬シ同十一時唐家宅ニ於テ主力ニ追及セリ

聯隊主力ハ午前十時頃前衛第二大隊(第七中隊欠、曲射歩兵砲一小隊ヲ屬ス)ノ先頭ヲ以テ現在地出發、追撃前進ニ移リ同十一時頃尖兵第五中隊(機關銃一小隊ヲ屬ス)ノ將ニ唐家宅大場鎮東南方二軒半西方五百米水濠ニ達セントスルヤ突如西方大張宅ノ村端ヨリ數

十發ノ小銃火ヲ受ケタルヲ以テ尖兵中隊長代理少尉泉坂熊太郎ハ獨力之ヲ驅逐スヘク直ニ展開シ前衛司令官少佐能崎清次亦直ニ第六中隊一小隊欠ヲ尖兵ノ左ニ増加シテ攻撃ヲ開始シ曲射歩兵砲小隊ハ陸家宅西南側附近ニ陣地ヲ

占領シ敵ヲ制壓ス當時聯隊長ハ唐家宅東側ニ在リテ此狀況ヲ知り本隊ヨリ第七中隊ノ一小隊長特務曹長田中正次ヲ出シ南方嚴宅方向ヨリ敵ヲ包圍スル如ク前衛ニ協力セシム然ルニ敵ハ幾クモナク西南方ニ退却セシ

ヲ以テ前衛ハ直ニ夏家車、大張宅ニ進出第七中隊ノ一小隊モ南方ヨリ同地ニ到着シテ前面ノ敵情ヲ搜索シ聯隊主力ハ唐家宅ニ集結ス時ニ正午頃ナリ

敵ハ上海保衛團ノ一部約三、四十名ナルカ如シ

附記 前衛司令官ハ大張宅ニ於テ西方顧宅、陳宅ノ線ニ障碍物ヲ有スル一連ノ陣地ニ若干ノ守兵アルヲ見テ聯隊長ニ威力搜索ノ意見ヲ具申セシカ容レラレス

聯隊配屬ノ山砲兵第八中隊ハ午前十一時二十五分夏馬灣ニ到着シ單獨指定ノ道路ヲ行進シ午後一時五十分唐家宅ニ於テ聯隊ニ追及セリ

旅團長ノ
追撃部署

旅團長ハ午前十時頃敵ト緊密ニ接觸シ當面ノ敵情ヲ搜索スヘキ師團命令ヲ受領セシカ此頃第一線ハ概ネ所命ノ線ニ進出シ近ク前面ニ敵ヲ見サルヲ以テ各隊ニ「大場鎮附近ヲ搜索シ若敵ナクハ正午頃ヨリ北孫宅東側ヲ南北ニ通スル水濠ノ線ヲ越エテ其西側部落ノ線ニ進出スヘキ」ヲ命令シタル後楊家宅出發、午後一時過劉駱宅楊家宅西ニ達シ同一時三十分頃西行、真茹驛ノ線ニ向ヒ追撃スヘキ師團命令午前十一時四十分發(第九三六頁參照)本命令ハ傳令ニ依リ送達セラル

步兵第六旅團命令ノ要旨

- 一 敵ハ西方ニ退却セルモノノ如シ
 - 二 步兵第三十五聯隊ハ三七里真茹驛西ニ達シ同追撃シ爾後成ルヘク速ニ鐵道ノ線ニ進出シ真茹鎮方向ニ對シ警戒スヘシ
 - 三 步兵第七聯隊ハ楊家橋真茹驛西側ニ追撃シ爾後真茹鎮方向ニ對シ警戒スヘシ
 - 四 步兵第十九聯隊ハ真茹鎮ニ追撃スヘシ
 - 五 予ハ陳宅真茹驛北北東方一軒半ニ前進ス
- 尙戰車小隊及各隊配屬工兵ヲ師團直轄トシテ江灣鎮ニ到ラシム

附記 獨立戰車第二中隊ハ朝來主力ヲ以テ江灣鎮ニ於テ整備ヲ行ヒ一小隊(長少尉坂田俊雄、乙型三輛)ヲ以テ步兵第七聯隊ニ協力スル爲楊家宅、北楊湖ヲ經テ午前十時頃北孫宅東側ニ進出セシカ水濠ノ通過點ナク同地附近ニ停止ノ已ムナキニ至レリ

步兵第三十五聯隊
ノ追撃ノ
占領

步兵第三十五聯隊ハ正午頃北孫宅ニ進出シ午後零時三十分頃聯隊長ハ第七中隊ノ將校斥候長少尉栗原經忠ノ報告ニ依リ大場鎮附近ニハ敵ナク步兵第三十六聯隊ハ其東方地區ヲ追撃中ナルヲ知り獨斷先ツ東橫湮橋大場鎮西端ニ追撃スルニ決シ午後一時三十分第三大隊ヲ前衛トシテ前進ヲ開始スルヤ前記旅團命令ニ接シタルヲ以テ目標ヲ三七里ニ變更シ盛家宅大場鎮東端南方約一軒侯宅盛家宅西方一軒徐漢宅東橫湮橋西側吳家庫三七里東北三七里道ヲ追撃シ東南方近ク銃聲ヲ聞キツツ同三時三十分乃至四時ノ間ニ於テ三七里ニ到著シ同夜主力ヲ其南側東南醫院ニ集結シ同所ニ宿營スルニ決セリ

附記 山砲兵第一中隊ハ彈藥補充中ニシテ直ニ前進シ得サリシヲ以テ聯隊長ハ之ニ前日來聯隊預備隊タル第三中隊ノ一分隊ノ掩護ヲ附シ主力ニ追及セシム同中隊ハ先ツ一小隊ヲ以テ前進シ午後四時三十分三七里到著後直ニ所要ノ人馬ヲ以テ殘置小隊ヲ誘導シ同八時之ヲ掌握セリ

步兵第九聯隊
及步兵第七聯隊
戰橋附近ノ善

步兵第十九聯隊長ハ午後二時過追撃ニ關スル前記旅團命令ヲ受領スルヤ真茹鎮附近ニ前進スルニ決シ先ツ前衛ヲシテ朱宅真茹驛東北方一軒半ニ到リテ主力ノ來著ヲ待タシメ大張宅ニ第七中隊ノ一小隊ヲ殘置シ前衛ノ掩護ヲ兼護セシム主力ハ第七中隊一小ヲ尖兵トシテ同二時三十分唐家宅出發、陳宅唐家宅西南側陳尨頭陳宅西侯宅陳尨頭西南方七百米ニ向ヒ前進ヲ開始セリ

午後三時三十分頃尖兵中隊ノ先頭侯宅ニ達セシトキ西方渡善橋、常家角ノ線ニ在ル堅固ナル陣地ヨリ猛烈ナル射撃ヲ受ケタルヲ以テ中隊長大張助一郎ハ直ニ之ヲ攻撃スルニ決シ朱宅西端ニ全力ヲ展開スルニ聯隊長ハ侯宅東側ニ在リテ此狀況ヲ知ルヤ即時第一大隊ヲ尖兵中隊ノ右ニ増加シテ左翼ヲ包圍スル

如ク攻撃セシメ山砲兵第八中隊ヲシテ之ヲ支援セシメクリ

附記 第一大隊長(少佐井上二一)ハ先ツ機關銃一小隊ヲ朱宅西端ニ進メテ尖兵中隊ニ協力セシメ第一中隊ヲ朱宅北側ニ出シテ敵ノ左翼ニ向ハシメ次テ機關銃中隊ノ主力ヲ朱宅西端ニ増加シテ渡善橋ノ敵ヲ猛射セシム此間山砲兵第八中隊ハ侯宅南側ニ陣地ヲ占領シテ先ツ常家角附近ノ敵機關銃ニ對シ制壓ヲ開始セリ

斯クテ第一線ハ右ニ進出セル步兵第七聯隊第二大隊ト連繫次頁参照シテ攻撃前進ニ移リシカ敵ノ抵抗頑強ニシテ抜ク能ハス午後五時頃辛ウシテ敵前二、三百米ニ近接シテ日没トナリシヲ以テ聯隊長ハ夜ニ入り第一線ヲ侯宅附近ニ後退セシメ主力ヲ以テ該地附近ニ宿營セリ

但第二大隊ハ錯誤ノ爲京滬鐵道南側ニ進出シ薄暮陳宅侯宅南方一軒附近ニ集結セルヲ以テ夜半之ヲ侯宅附近ニ招致ス又第三大隊ハ此夜彭浦鎮ニ宿營セリ

附記 第二大隊(第七中隊)一小隊欠、曲射歩兵砲一小隊ヲ屬スハ大張宅ニ於テ依然前衛トシテ朱宅ヲ經テ眞茹驛ニ前進ス(ヘキ)命令ヲ受クルヤ第一線ヲ撤シ敵前距離ノ横行ヲ避ケ一旦滬大汽路ヲ南進シ王宅(大張宅東南方一軒)ヲ經テ同四時頃侯宅東側ニ達ス此頃西方ニ當リ銃聲頗ル熾ニシテ步兵第七聯隊ノ主力其附近ニ集結シアリシヲ以テ之ト連絡シ同隊前衛ノ目下聯隊中ナルヲ知り暫ク聯隊主力ノ來著ヲ待チシカ(此時聯隊主力ハ既ニ前方ニ進出シアリ)遂ニ其來著ナカリシカハ既ニ眞茹驛方向ニ前進セルモノト爲シ同四時三十分頃南進ヲ始メ難路ヲ目シ新橋(眞茹驛東南方一軒)附近ヨリノ射撃ヲ被リツツ觀術(侯宅南南東方一軒七百、當時新橋ト誤認セリ)ヲ經テ薄暮陳宅(侯宅南方一軒半)東側無名廟ニ達シ兵力ヲ集結シ敵情ヲ搜索スルト共ニ友軍ヲ索メテ夜ニ入ル

日没後第六中隊軍曹清水寅一郎ノ努力ニ依リ聯隊主力トノ連絡通シ午後九時三十分侯家角ニ歸還ス(ヘキ)命令ヲ受領シ同十時無

名廟出發、同十一時頃侯宅到着、聯隊長ノ手裡ニ入ル

又曩ニ彭浦鎮方面ニ追撃ヲ命セラレタル第三大隊(第十中隊欠、曲射歩兵砲一小隊ヲ屬ス)ハ午前十時小徐港出發、同十時三十分頃殘敵ヲ驅逐シテ彭浦鎮ヲ占領シ大隊長ハ直ニ副官中尉松井榮喜知ヲ海軍陸戰隊ニ派遣シテ之ト連絡セシメ(同官ハ午後一時三十分頃東八字橋ニ到リ適、同地ニ於テ督戰中ナル指揮官少將植松謙磨ニ會シ自隊ノ狀況ヲ通報ス)同三時頃更ニ第十一中隊ノ一小隊(長少尉藤森芳一)ヲシテ聯隊主力ト連絡セシム(午後六時歸還ス)此間大隊主力ハ該地ニ陣地ヲ占領シ海軍陸戰隊ノ進出ヲ待チツツ夜ヲ徹セリ

彭浦鎮ニハ敵ノ遺棄セル多量ノ彈藥集積シアリ又同地ニ於テ日本文ヲ以テ記載セル對軍隊赤化宣傳ノ印刷物多數ヲ發見セリ

一方步兵第七聯隊ハ午後一時四十分追撃ニ關スル旅團命令ヲ受クルヤ楊家橋眞茹驛西側ニ向フヘク同二時

三十分曹家巷出發、第二大隊第七中隊欠、第二機關銃中隊ヲ復歸シ步兵砲中隊ヲ屬スヲ前衛、第一中隊ノ一小隊ヲ右側衛トシテ唐家宅

ニ到リ爾後概ネ步兵第十九聯隊ニ續行シ同三時四十分尖兵中隊第五中隊ノ先頭ヲ以テ侯宅北側ニ達ス此時

前方ニ銃聲ヲ聞クト共ニ西方朱宅及渡善橋方向ヨリ猛烈ナル小銃、機關銃火ヲ受ケシカハ前衛司令官少佐ハ適、侯宅附近ニ進出セル步兵第十九聯隊ノ尖兵中隊長ト連絡シ其右翼ニ連リテ渡善橋方向ノ敵ヲ攻撃スルニ決シ部署スルトコロアリ

附記 前衛司令官ハ尖兵中隊及機關銃中隊ヲシテ先ツ渡善橋ヲ占領セシメ次テ第六中隊(一小隊欠)ヲシテ陳宅(渡善橋北側)方向

ヨリ東濱港ニ向ヒ攻撃セシメ歩兵砲ヲシテ渡善橋附近ヨリ老宅及其北側地區ノ敵機關銃ヲ制壓セシムル如ク部署セリ

聯隊長代理ハ當面ノ敵兵約二百名ニシテ其抵抗頑強ナルニ鑑ミ主力ヲ以テ大張宅ニ轉進シ該方向ヨリ順宅ニ向ヒ攻撃スルニ決シ前衛ヲシテ渡善橋附近ヲ確保シテ主力ノ轉進ヲ掩護セシメ配屬砲兵ヲシテ

大張宅附近ニ陣地ヲ占領セシメ主力ヲ率キテ侯家角東側敵既設陣地ニ沿ヒ敵ニ遮蔽スル如ク北進シ午後四時三十分頃大張宅ヲ占領シテ敵情ヲ搜索シ日没後第二大隊ノ主力ヲ招致セリ

附記 第二大隊ハ午後四時三十分頃朱宅(當時渡善橋ト誤解ス)西端ノ線ニ進出セシカ此時聯隊主力ノ前進ヲ擁護スヘキ命令アリシヲ以テ暫ク該線ニ於テ敵ヲ射撃ス日没後聯隊命令ニ依リ第五中隊ノ一小隊ヲ北部朱宅ニ殘シテ午後八時過侯宅東側附近ニ於テ兵力ヲ掌握シ侯家角ヲ經テ同九時過大張宅ニ到着セリ

此日右側衛タル第一中隊ノ一小隊(長少尉平田玄之吉)ハ第二大隊ノ正面内ニ入りテ戦闘ス聯隊主力ハ第一大隊ヲ以テ大張宅西端、第三大隊ヲ以テ其南側ヲ占領シ一部ヲ顧宅東側ニ出シテ敵情ヲ搜索シ山砲兵第一大隊(第一中隊欠)ハ大張宅北側歩兵ノ第一線附近ニ陣地ヲ占領シテ金家角、東濱港附近ヲ制壓セリ

旅團長ハ午後二時劉駱宅出發、豫備隊歩兵第七聯隊ト共ニ陳宅渡善橋北ニ向ヒシカ道路不良ニシテ同四時三十分南方ニ熾ナル銃聲ヲ聞キツツ辛ウシテ孟巷場ニ達ス時ニ其西方柏宅附近ノ既設陣地ニ殘敵アリテ射撃セシヲ以テ直ニ豫備隊ヲ以テ之ヲ擊攘シ爾後此位置ニ停リテ無線電信ニ依リ師團司令部及各隊トノ連絡ニ勉メタリ

午後七時歩兵第七聯隊ヨリ主力ヲ大張宅ニ集結セル旨ノ報告無線ニ次テ師團長ヨリ「關北方面ノ敵ヲ真茹鎮附近ニ於テ遮斷スヘキ」要旨ノ命令無線ニ接シタルヲ以テ旅團長ハ同八時歩兵第十九聯隊ニ「即時行動ヲ開始シ真茹鎮ヲ占領スヘキ」ヲ命令傳令送達セリ

附記 午後八時頃マテニ旅團司令部、歩兵第十九聯隊、同第三十五聯隊トノ間ニ無線連絡成リシカ殆ト全部ハ暗號ヲ用フルコト

旅團長ノ
孟巷場進
出無線
電信ニ依
ル連絡

夜ニ於ケ
ル一般ノ
狀況

三日ノ爲
ニ旅團命
令並之ニ
基テ各隊
ノ行動

ナク部隊ノ位置、指揮官ノ企圖等平文ニ依レルモノ頗ル多シ

前面ノ敵ハ夜ニ入り退却セルモノノ如ク爾後銃聲ヲ聞カス各隊ハ概ネ其到着地附近ニ兵力ヲ集結シ警戒配備ヲ完了シテ宿營シ彈藥、糧秣ノ補給ニ勉メタリ

夜十二時旅團長ハ傳令ノ齎セル三日ノ行動ニ關スル師團命令午後十時十五分發、九師作命第二十九號(第九四三頁參照)ヲ受領シ午前零時二十分左ノ要旨ノ命令ヲ下達傳令送達セリ

歩兵第六旅團命令ノ要旨

一 旅團第三十五聯隊第一大隊欠、山砲兵第一大隊及同第八中隊ヲ屬スハ本三日早朝現在地出發、鐵道線路及其以北ノ地區ヲ南翔鎮ニ向ヒ前進セントス

二 歩兵第三十五聯隊第一大隊欠、山砲兵第一大隊ヲ屬スハ午前八時三七里西北端水濠ノ線出發、廠頭三七里西北、西方二軒半、趙宅廠頭西北西、西方二軒半、汪家宅趙宅西方一軒三百ヲ經テ南翔鎮ニ向ヒ前進スヘシ

三 歩兵第七聯隊第三大隊欠、山砲兵第一大隊(第一中隊欠)ヲ屬スハ早朝前面ノ敵ヲ擊攘シ午前七時三十分マテニ朱宅三七里西方南方一軒附近ニ兵力ヲ集結シ同八時同地出發、鐵道線路ニ沿ヒ南翔鎮ニ向ヒ前進スヘシ

四 兩聯隊ハ塙門頭趙宅西方八百米、塙門頭南方一軒半及中歸塘塙門頭南方一軒半ニ於テ密接ニ連絡スヘシ

五 兩聯隊ノ搜索並戰鬥地境ハ三七里南端、南翔鎮中央十字路ヲ連ヌル線トス

六 歩兵第七聯隊第三大隊ハ午前六時マテニ渡善橋ニ集結シ旅團司令部ノ到着ヲ待ツテ歩兵第七聯

隊ノ後方ヲ南翔鎮ニ向ヒ前進スヘシ

七 子ハ午前五時孟巷場出發、渡善橋ニ到リ爾後步兵第七聯隊第三大隊ト共ニ鐵道線路ニ沿ヒ前進ス
右命令ニ依リ步兵第七聯隊ハ午前五時大張宅出發、途中敵ニ遭遇スルコトナク渡善橋ヲ經テ拂曉頃眞
茹驛西方楊家橋ニ進出セリ

午後九時四十分眞茹鎮占領ノ任務ヲ受ケタル步兵第十九聯隊第三大隊(第八中隊欠)ハ侯家角ニ兵力ヲ集結シ三日
午前二時三十分第二大隊第七中隊欠、曲射歩兵砲一小隊ヲ屬スヲ前衛トシテ同地出發、同五時三十分眞茹鎮東方一軒半徐家
橋北側ニ達シ一時兵力ヲ集結シテ敵情ヲ搜索中、斥候第一中隊曹長島居俊三及第六中隊少尉吉田重次郎ノ報告ニ依リ敵ナキヲ確メ
得タルヲ以テ直ニ眞茹鎮ヲ占領ス時ニ午前七時過ナリ

附記 聯隊長ハ即時眞茹驛ニ斥候ヲ出シテ旅團主力ト連絡セシメ一部(第十中隊ノ一小隊)ヲ潭子港(彭浦鎮西南方二軒)ニ出シテ

開北方向ニ對シテ警戒セシメタリ

旅團長ハ午前五時豫備隊ト共ニ孟巷場出發、拂曉頃眞茹驛ニ達シ南聯隊ヲ掌握シ步兵第七聯隊第三大隊ヲ新ニ旅團豫備隊タラシ
メタリ

第三款 第十一師團方面ノ狀況 附圖第二十九參照

其一 瀏河鎮占領マテノ概況

二日朝マテノ狀況
三月一日朝七了口實稱七了口附近ニ上陸セシ第十一師團司令部、步兵第二十二旅團(司令部及步兵第四十三聯隊)、步兵第
大隊第一中隊(一小隊二分隊欠)、師團通信隊(一小隊欠)、衛生隊(約半部欠)ハ同日午後西涇營及其南側地區ニ陣地ヲ占領セル敵中央軍官學校教導總
隊及第八十七師ノ各

一部ニ屬スルヲ擊破シテ同夜主力ヲ以テ同地西側及西南側ニ、一部ヲ以テ同地東側ニ集結シテ夜ヲ徹シ敵
情地形ヲ搜索ス上陸戰團並西涇營附近ノ戰團ノ
詳細ニ關シテハ第十七參照

師團長中將厚東篤太郎ハ一日夕マテニ海軍能登呂飛行機ノ搜索ニ依リ敵兵新ニ瀏河鎮西側ニ構築セル
陣地ニ逐次増加シ從來瀏河鎮ニハ約一千
名ノ敵アリトノ報アリ午後以來羅店鎮方向ヨリ兵員ヲ滿載セル自動車十數輛續々同地方
面ニ輸送セラレ羅店鎮、大場鎮間亦自動車ノ往復頻繁ナルヲ知ルト共ニ軍通報ニ依リ第九師團方面ノ
攻撃未タ奏功スルニ至ラサルノ狀況ヲ得タルヲ以テ速ニ諸準備ヲ完了シテ瀏河鎮附近ノ敵ヲ攻撃スル
ニ決シ二日朝來各隊ヲシテ銳意彈藥ノ補充、器材ノ運搬等ヲ行ハシメタリ

師團長ハ陸軍飛行機偵察砲兵中尉吉井正義、搜索ノ結果二日正午頃マテニ瀏河鎮ノ兵力約二、三百名ニシ
テ近ク後續部隊ナキモノノ如ク瀏河ハ橋梁ノ外徒涉ヲ許ササレトモ下流方面ハ備ナキヲ以テ同方面ヨ
リ渡河スルノ有利ナルヲ知リ瀏河鎮附近ノ敵ヲ攻撃シテ先ツ瀏河左岸ノ線ニ進出スル爲午後一時命令
ヲ下シテ概ネ左ノ如ク部署セリ

瀏河鎮占領ノ爲師團長ノ部署

- 一 右翼隊 長山田少將、步兵第二十二旅團(第四十三聯隊ノ第十中隊ノ一小隊、同第十一中隊(一小隊欠)第四十四聯隊欠)、山
砲兵第三大隊(第八中隊ノ一小隊欠)、步兵第十二聯隊第七中隊ノ一小隊及工兵一分隊ヲ屬ス)、工兵第一中隊(二小隊
欠)ヲシテ午後二時蒲家宅西涇營南端南方一軒二軒東西ノ線ヲ發シ當面ノ敵前進部隊ヲ擊退シ華宅西涇營南方三軒、
六里橋西南方一軒
- 二 左翼隊 六里橋南、吳宅(西部謝宅)ノ線ニ展開シ瀏河鎮北部附近ノ敵ニ對シ攻撃ヲ準備シ大隊長ノ
指揮スル一部隊ヲ迂回隊トシテ即時現在地西涇營南端西南方一軒六百東部王家宅出發、瀏河上流地區ヨリ同右岸地區ニ

進出シ敵ノ左側背ヲ脅威セシム

二 左翼隊 長中村少兵大佐、少兵第十二聯隊(本部、第一大隊、第七中隊)一小ヲシテ午後二時王家宅王家宅東方五百米東西ノ

線出發、當面ノ敵前進部隊ヲ驅逐シ東部謝宅 六里橋東、岳宅東部謝宅東南方一軒ノ線ニ展開シ瀏河鎮北側ノ敵

ノ右翼ヲ包圍スル如ク攻撃ヲ準備シ狀況ニ依リ隨時瀏河右岸地區ニ進出シ得ル如ク準備セシム

三 兩翼隊ノ戰鬪地境ヲ金家宅 萬涇營東南、方一軒二百 邵宅 六里橋東北、方五百米 高宅 瀏河鎮東北側 各西端及瀏河鎮東部橋梁ヲ連

スル線ト定ム

四 兩翼隊攻撃前進ノ時機ハ之ヲ別命ス

五 通信隊ヲシテ第一線ノ前進ニ伴ヒ顧家坟 六里橋東南側ヲ基點トシテ師團司令部ト軍司令部並兩翼隊間

ノ連絡ニ任セシム

六 豫備隊 步兵第十二聯隊第二大隊(第五中隊)及第七中隊欠ヲシテ萬涇營—瀏河鎮道ヲ六里橋ニ向ヒ前進セシム

七 衛生隊ヲシテ第一線ノ前進ニ伴ヒ六里橋ニ繃帶所開設ヲ準備セシム

八 衛生隊及豫備隊ヲシテ右翼隊長ノ區處ヲ以テ先ツ右翼隊配屬山砲兵ノ彈藥ヲ運搬セシム

九 師團司令部 步兵第四十三聯隊第十一中隊(衛兵)ヲ含ムヲシテ顧家坟ニ前進シ爾後高宅ニ到ラシム

附記 步兵第四十三聯隊第十中隊一小隊、同第十一中隊(一小隊欠)及工兵第一中隊一小隊ハ揚陸作業隊長歩兵大佐田尻昌次ノ指揮ニ入り七了口守備隊タリ(一時歩兵第四十三聯隊第九中隊ノ二小隊ヲ其指揮下ニ入ル)又歩兵第十二聯隊第五中隊ノ一

小隊ハ楊林口守備隊トシテ儀橋(楊林口西南方二軒)附近ニ位置シ水路七了口ヨリ同地ニ回送セル軍需品ノ監視ニ任セリ

是ヨリ先右翼隊長少將山田健三ハ王家 六里橋北北、方八百米 顧宅 王家東北、方三百米 周家宅 顧宅東北、方五百米ノ線ニ少數ノ敵兵アルヲ

知リ搜索據點占領ノ目的ヲ以テ午前十一時頃現在ノ線 概テ萬涇營南方五百米ヲ東西ニ通スル水濜ノ線ヨリ行動ヲ起シ此敵ヲ驅逐

シテ王家宅 王家西北方七百米東西ノ線ニ進出シ次テ師團長ノ部署ニ基キ午後二時同線ヲ發シ敵ノ大ナル抵抗ヲ受

クルコトナク同三時過華宅、西部謝宅ノ線ニ進出シ別ニ一部 步兵第四十三聯隊第二大隊(第七中隊)ヲ迂回隊トシテ瀏河上流ヨリ其右岸地區ニ進出シ敵ノ左側背ヲ脅威セシムヘク同三時過東部王家宅 萬涇營南端南方一軒六百

ヲ出發セシメタリ

又左翼隊ハ當面ノ敵少キヲ知リ午前十一時頃王家宅 萬涇營南端東方一軒八百出發、獨斷前進ヲ開始シ敵ノ小部隊ヲ

擊退シツツ午後一時岳宅 六里橋東方一軒ニ達シ同二時師團長ノ部署ノ如ク瀏河鎮ニ向ヒ前進ニ移ル

師團長ハ午後二時豫備隊ト共ニ萬涇營西北側張家宅ヲ出發シ顧家坟ニ向ヒ前進中同三時五里橋 六里橋北方五百米

ニ於テ我カ飛行機 偵察砲兵中尉松本、操縦軍曹内田源次郎ノ投下セル軍通報ニ依リ軍主力方面ノ敵兵退却中ナルヲ知リタル

ヲ以テ直ニ各隊ニ攻撃前進ヲ命セリ

兩翼隊ハ一部ノ敵ヲ驅逐シツツ午後四時頃相前後シテ瀏河鎮ニ進入シ同四時三十分頃完全ニ同地ヲ占

領シ同時師團長ハ瀏河鎮北端ニ到著シテ左ノ要旨ノ軍通報ヲ受領セリ

一 第九師團前面ノ敵ハ逐次西方及南方ニ退却中ニシテ同師團ハ概ネ正午頃大場鎮南北ノ線ヲ越ニ

瀏河鎮ノ占領

テ南翔鎮及真茹鎮方向ニ急追中ナリ

二 飛行機ノ搜索ニ依レハ正午頃南翔鎮ヨリ嘉定ニ、又嘉定ヨリ羅店鎮ニ向ヒ移動スル部隊アリテ
敵兵羅店鎮ニ集合中ナリ又別ニ一部ノ敵ハ嘉定ヨリ陸渡橋瀏河鎮、太方向ニ前進セリ

三 第十一師團ノ後續隊ハ三日午前ヨリ七了口ニ到着スル豫定ニシテ其以前ニ瀏河鎮ヲ占領セハ江
上ヨリ直ニ同地ニ揚陸セシムル筈ナリ

次テ飛行隊ヨリ第九師團ノ第一線ハ午後四時頃概ネ大場鎮、南翔鎮中間地區ニ達セルノ通報アリ

瀏河鎮附近ニ在リシ敵ハ俘虜及土民ノ言等ヲ綜合スルニ中央軍官學校教導總隊、第八十七師ノ各一部
及地方保衛團ナルモノノ如ク二日午後二時頃師團ノ攻撃ニ先タチ嘉定方向ニ退却セルモノト判断セラ
ル

其二 瀏河鎮ヨリ婁塘鎮及嘉定ニ向フ追撃

瀏河鎮ヲ占領セル師團ノ諸隊ハ隊伍ヲ整頓シ爾後ノ行動ヲ準備ス

師團長ハ軍及軍飛行隊ノ通報ニ基キ直ニ嘉定ニ向ヒ敵ヲ急追シ軍主力方面ノ敵ノ退路ヲ遮断スルニ決
シ午後四時三十分頃參謀步兵大尉 芳村正義ヲシテ兩翼隊ニ左ノ要旨ノ師團命令ヲ口達セシメタリ

第十一師團命令ノ要旨

一 師團前面ノ敵ハ西南方ニ退却セリ

追撃ニ關
スル師團
長ノ部署

二 師團ハ今ヨリ嘉定ニ向ヒ敵ヲ急追シ軍主力方面ノ敵ノ退路ヲ遮断セントス

三 舊右翼隊但步兵第四十三聯隊第二大隊(第七中隊欠)及山砲兵第三大隊(一小隊欠、配屬故ノ如シ)ヲ除クハ右追撃隊トナリ新涇河瀏河鎮、嘉定間ヲ西岸地區ヲ

嘉定ニ向ヒ敵ヲ急追スヘシ

四 舊左翼隊ハ左追撃隊トナリ新涇河東岸地區ヲ嘉定東北側澄橋鎮附近ニ向ヒ敵ヲ急追スヘシ

五 爾餘ノ諸隊ハ本隊トナリ別ニ示ス順序ヲ以テ右追撃隊ノ後方ヲ續行スヘシ

六 予ハ暫ク瀏河鎮南端ニ在リ後右追撃隊ノ後方ヲ前進シ嘉定西北側地區ニ到ル

附記

一 別ニ澄橋鎮附近ニ於テ兩追撃隊ヲ統制スル如ク指示セリ

二 步兵第四十三聯隊第七中隊ノ一小隊ヲ瀏河鎮守備隊トシテ無線通信所及後送患者ト共ニ瀏河鎮ニ殘置セリ

諸隊ハ午後五時乃至六時ノ間ニ隊伍ノ整頓ヲ終ヘ概ネ指揮官ノ手裡ニ入り但舊右翼隊ヨリ派遣セル迂回隊ノ所在明ナラス 次テ相

前後シテ追撃ニ移レリ

右追撃隊ハ步兵第四十三聯隊第三大隊長少佐吉岡壽、第十中隊ヲ前衛トシ爾餘ヲ本隊トシテ第七中隊一小隊、

聯隊本部、步兵砲隊不射一、分隊欠、第一大隊第三中、隊欠、右追撃隊司令部、第三中隊ノ順序ヲ以テ午後七時頃追撃

ノ途ニ就ク時ニ日暮レテ夜暗ク屢々道ヲ失ヒ地形明ナラサル水濠ノ間ヲ縫ウテ難行ヲ續ケ部隊ノ長徑

益々伸ヒテ遲滯更ニ進マス殊ニ機關銃中隊、步兵砲隊及砲兵隊ハ駄馬ナク專ラ臂力ヲ以テ彈藥器材ヲ

右追撃隊
瀏河鎮北
側ニ於ケ
ル夜間攻

連搬シ疲勞頗ル甚シキモノアリ

附記

- 一 最初前衛ノ行進遅レタル爲第七中隊ハ婁塘鎮北北東方四軒半楊家村マテ右追撃隊ノ誘導ニ任セリ此夜ノ師團ノ進路ニ沿ヒ比較的行進容易ナル捷路アリシト雖當時地圖不完全ナリシト暗夜ナリシトノ爲圖上距離ノ約二倍ニ相當スル行程ヲ經過セリ
- 二 師團ノ前進間一馬一車ノ利用スルモノナク師團長以下全部徒歩ニシテ司令部ハ印刷機、書類、金櫃其他ノ材料ヲ擔ヒ豫備隊、衛生隊等ハ彈藥、通信器材等ヲ運搬シ又機關銃、步兵砲、山砲ハ悉ク分解搬送ノ已ムナキ状態ニ陥リ辛酸ノ狀覺フルニ辭ナシ

斯クテ右追撃隊前衛ハ夜半唐家巷婁塘鎮北北東方四軒、現地ニ婁塘橋ノ標示アリテ部隊ハ之ヲ婁塘鎮ト誤解セリニ達シ次テ三日午前一時過其先頭ヲ以テ婁塘鎮北側ニ達ス會々先頭ニ在リシ第十中隊ハ突如敵ノ誰何ヲ受クルト共ニ圍壁實際ハ圍壁ナカリシカヨリ猛烈ナル銃火ノ掃射ヲ受ク乃チ前衛司令官ハ直ニ第十中隊長大尉藤田和孝、一小隊欠ヲ展開シテ敵ヲ射撃セシメ次テ第九中隊長大尉安岡波禎、一小隊欠ヲ其右ニ、又機關銃中隊長中尉清水高藏ヲ第十中隊ノ兩翼ニ展開シテ第九中隊ノ一小隊ヲ豫備隊トシ且第十中隊ヨリ斥候ヲ部署シテ敵機關銃ニ近接セシメ手榴彈ヲ以テ之カ破壊ヲ圖リシカトモ水濠ニ阻マレテ果サス敵ハ益々兵力ヲ増加シ自動火器ハ屢々其位置ヲ轉シテ頑強ニ抵抗シ其射撃愈々猛烈ナリシカハ機關銃中隊ハ敵ノ火光ヲ認メテ獨斷制壓射撃ヲ開始シ步兵砲隊平射一、分隊欠ハ聯隊長ニ意見ヲ具申シテ曲射一小隊ヲ婁塘鎮北方約八百米附近ニ陣地進入セシメ婁塘鎮ノ部落内ニ威嚇射撃ヲ行ヘリ

附記 步兵砲ノ射撃ハ最初將ニ第一線ニ危懼ヲ及サントセシカ爾後既ニ概キ正確ナル射撃ヲ行ヒ相當ノ效果ヲ收メタリ

當時第一線ハ城壁ニ向ヒ突撃スルノ不利ナルヲ認メ主トシテ擲彈筒ヲ以テ敵ヲ制壓セシカ我カ步兵砲ノ射撃開始セラルルヤ敵兵一旦喇叭ヲ吹奏シテ出撃ノ氣勢ヲ示シタレト間モナク退却ヲ開始セルカ如ク其射撃漸次衰フルヲ見ル是ニ於テ前衛司令官ハ第九中隊ノ一部ヲ以テ右方ヨリ突撃ヲ敢行セシメ主力ヲシテ夜間ノ混亂ヲ顧慮シテ婁塘鎮北側ニ停止セシメタリ時ニ午前三時過ナリ

聯隊長大佐 權作ハ此攻撃ニ際シ第七中隊一小隊欠ヲ第三大隊ノ右ニ出シテ婁塘鎮西北端附近ヲ占領セシメ同中隊ハ午後四時三十分頃婁塘鎮西北方約五百米陸家宅ヲ占領セリ 主力ヲ同地北側ニ集結ス右追撃隊長モ亦此處置ニ同意シ夜間部落ノ掃蕩ヲ避ケ天明ト共ニ攻撃ヲ決行スルニ決シ部隊ノ整頓ヲ行ヘリ

師團長ハ百家橋婁塘鎮北西側西側小學校ニ在リ第一線ヨリ嘉定占領ノ報告ヲ受領セシカ幕僚ヲ派遣シテ其誤ナルヲ確メタリ

附記 當時師團長ハ右追撃隊ノ戰鬥酣ナルニ及ヒ參謀步兵中佐平林盛人及砲兵少佐永野巖人ヲ派遣シテ其狀況ヲ觀察セシメシニ戰已ムヤ第一線ヨリ類ニ嘉定占領ノ報到ル師團長ハ獨リ斷乎トシテ其地ノ婁塘鎮ナルコトヲ主張セシカトモ殆ト全員嘉定ナルヲ信シテ疑ハス剩ヘ第一線ヨリ嘉定ナルコト確實ナリ、城壁アリテ嘉定ニ相違ナシトノ報告サヘ到達ス是ニ於テ參謀長步兵大佐三宅俊雄ハ自ら最前線ニ進出シ第一線部隊長ヲ帶同シテ婁塘鎮北端家屋ノ壁側ニ達シ遂ニ城壁ナク嘉定ニアラサルコトヲ確認セリ蓋シ此錯誤ハ地圖不完全、道路不良ニシテ實際距離カ圖上ノ其レヨリモ遙ニ長遠ナリシト既ニ通過セシ婁塘橋(唐家巷)ノ地名トニ依リ生シタルモノナルカ如シ

當時左追撃隊方面トノ通信杜絶シ其狀況不明ナリ

我ト交戦セシ敵ハ第八十七師及附近ノ保衛團ニ屬シ其兵力百名内外機關銃、輕機關銃數挺ヲ有セル正
ノノ如シ

本戦闘ニ於テ我ニ一名ノ傷損ナク敵ニ相當ノ損害ヲ與ヘタルカ如ク消費彈藥ハ小銃、輕機關銃彈約一
千發、機關銃彈一千發、曲射歩兵砲彈十二發、手榴彈主トシテ擲
彈筒ニ依ル約百發、山砲榴彈五十二發、同榴霰彈
六發ナリ

舊右翼隊ノ迂回隊タル歩兵第四十三聯隊第二大隊長少佐
大寺敏主力ハ范安橋瀏河鎮西北、
方三軒半石星橋范安橋西、
南方二軒張金

廟石星橋東南
方二軒半ヲ經テ午後七時頃瀏河鎮西南方三軒瀏河屈曲部北岸ニ達セシカ主力トノ連絡全ク絶エ敵情
亦一切不明ナリシヲ以テ瀏河、新涇河合流點以南ノ地區ヨリ豫想スル敵ノ側背ニ進入スヘク先ツ瀏河

ヲ渡河シテ同十時頃對岸ニ集結シ續イテ前進ニ移レリ

附記 當時配屬工兵分隊ハ對岸ニ舟ヲ發見シタレトモ河水寒冷ニシテ入ルヲ得ス時ニ機關銃中隊上等兵早瀬勇、同魁武夫ハ決死

裸體トナリテ五十米ノ濁流ヲ横キリテ二隻ノ船ヲ求メ來リ之ニ依リ大隊ヲ渡河セシメタリ

師團豫備隊タル歩兵第十二聯隊第二大隊第五中隊ノ一小
隊及第七中隊欠ハ山砲兵第三大隊一小隊欠、歩兵第十二聯隊第七中
隊ノ一小隊及工兵一分隊ヲ屬ス及

衛生隊ヲ掩護シ且砲彈ヲ運搬シツツ午後八時過瀏河鎮出發、同十一時過石家橋瀏河鎮南南
西方三軒附近ニ達セシ

トキ全ク道ヲ失ヒ搜索是勉ムレトモ現在地點不明ニシテ進路ヲ定ムルヲ得ス已ムナク會々北方ヨリ前

進シ來レル迂回隊タル歩兵第四十三聯隊第二大隊ト共ニ毛家宅石家橋西
南方一軒附近ニ集結シテ夜ヲ徹シ三日午

迂回隊及
師團直轄
部隊附近
家宅附近
停止

前五時三十分頃一部ヲ砲兵掩護ノ爲ニ殘置シ主力ヲ以テ百家橋ニ到リテ師團司令部ニ追及セリ

附記 石家橋、毛家宅等ノ地名ハ翌朝始メテ判明セルモノトス

左追撃隊タル歩兵第十二聯隊主力ハ午後六時過第一大隊第二中隊欠、歩兵砲
隊(半隊欠)ヲ屬スヲ前衛トシテ新涇河ニ沿ヒ先

ツ澄橋鎮ニ向ヒ追撃ス

附記 山砲兵第八中隊ノ一小隊第二、第七中隊ヨリ各一分隊ノ護衛ヲ附スハ兵力集結後追及スル管ナリシカ左追撃隊主力トノ

連絡ヲ失ヒ且道ヲ誤リ二日夜瀏河鎮南方二軒附近ニ休止シ三日未明出發、師團主力方面ニ前進スルニ至レリ

左追撃隊ハ右追撃隊ト略々同様ナル難行軍ヲ續ケ午前二時頃嘉定北北東方五軒灘石橋翌朝土民ニ訊シテ
始メテ判明セリニ

達セシトキ行進方向ニ疑惑ヲ生シタルヲ以テ左追撃隊長ハ其附近ノ部落宅顯ニ於テ天明ヲ待ツニ決シ大

休止ニ移ラシメタリ

第二節 三月三日ノ狀況

第一款 上海派遣軍司令官ノ部署附圖第二 十二參照

吳淞砲臺
ノ攻略

三日早朝我カ海軍飛行隊ハ吳淞砲臺沿岸ニ爆撃ヲ開始シ次テ第一水雷戰隊及陸海軍ノ砲兵諸隊ハ一齊

ニ射撃ヲ行ヒ吳淞砲臺、水産學校吳淞砲臺南側(附、
圖第二十八參照)砲臺灣附近ヲ破壊ス此間海軍ノ陸戰隊及歩兵第二

十四聯隊第四中隊ハ吳淞鐵道棧橋ヨリ乗船出發シ午前七時頃敵ノ抵抗ヲ排除シテ吳淞砲臺東南側黃浦

江河岸ニ上陸ヲ敢行シ同八時頃同砲臺ヲ占領セリ

左追撃隊
ノ砲臺附近
近停止

飛行第八大隊第一中隊
大隊第一中隊
大隊第一中隊
大隊第一中隊

附記 軍司令官ハ戰況觀察ノ爲參謀步兵大尉西村敏雄ヲシテ飛行第一中隊ノ飛行機(操縦軍曹金親總一郎)ニ搭乗セシメ午前七時
乃至八時ノ間吳淞砲臺上空ニ派遣セリ
滿洲方面ヨリ轉用セラレタル飛行第八大隊第一中隊長少佐 神津幸右衛門及獨立攻城重砲兵隊(十五榴二門)ハ午
前八時三十分滿鐵黃浦碼頭(大連碼頭)ニ到着シ同十時上陸ヲ開始シ同時軍命令ニ依リ前者ハ偵察飛行
第一中隊ト改稱セリ

附記

一 飛行第八大隊第一中隊ハ昭和六年十一月十六日滿洲派兵ノ命ヲ受ケ先ツ其八八式偵察機ノ主力ヲ以テ太刀洗ヨリ空中輸送ニ
依リ奉天ニ到着爾後逐次全力ヲ集結シ滿洲各地特ニ錦州、哈爾濱附近ヲ戰闘ニ參加セシカ昭和七年二月二十六日上海方面ニ轉
用ノ命ヲ受ケ二十九日鄭島丸ニ乗船、午後四時大連ヲ出港セリ
二 獨立攻城重砲兵隊ハ昭和七年二月二十四日旅順ニ於テ編成ヲ命セラレ同二月二十七日上海派遣ノ命令ニ依リ飛行第八大隊第
一中隊ト同行シテ上海ニ到着セリ

軍飛行第八大隊
其得タル
狀況及軍
司令官ノ
部署

此日軍飛行隊長ハ飛行第二大隊ヲ以テ第九、第十一師團ニ協力シ且羅店鎮、太倉、常熟崑山西北及蘇州
崑山西方方面ノ敵情ヲ搜索シ獨立飛行第三中隊ヲ以テ飛行第二大隊ト連繫シ適時兩師團當面ニ於ケル好
目標ヲ捉ヘテ之ヲ攻撃スル如ク部署セリ

附記

飛行第二大隊長ハ之ニ基キ第一、第二中隊ノ各一部ヲ以テ夫々第十一、第九師團ニ協力セシメ特ニ第一中隊ヲシテ大場鎮
西端、嘉定南端、昆城湖(常熟南方六軒)南端ヲ連ル線以北ニ於テ羅店鎮、太倉附近及常熟方面ノ敵情ヲ搜索セシメ第二中隊ヲ
シテ前記ノ線以南ニ於テ蘇州方面ニ於ケル敵情ヲ搜索セシメタリ

午前九時以後第十一師團トノ無線連絡斷絶シ爾後主トシテ飛行機ノ活動ニ依リテ連絡ヲ保持ス

軍司令官ハ午前九時マテニ飛行機ニ依リ概ネ左ノ如キ狀況ヲ知ル午前七時四十分ヨリ約
一時間ニ互ル狀況トス

一 第十一師團ノ歩兵約二大隊ハ婁塘鎮南方約一軒附近ニ於テ敵ノ一小部隊ト相對峙中ニシテ師團
司令部ハ婁塘鎮目下火
災中北側ニ在リ

約百五十名ノ敵ハ嘉定ヨリ北進中ニシテ瀏河鎮—嘉定道及羅店鎮方面ニハ敵ヲ見ス
太倉及崑山ニハ敵兵アリテ退却中ナリ以上第一中隊飛行機(偵察航空兵大尉福澤
丈夫、操縦軍曹野澤義雄)ノ報告ニ依ル

二 第九師團司令部ハ小南翔南翔鎮東北端(附
圖第二十八參照)東方約二軒ノ地點ニ、混成第二十四旅團及山砲兵隊ハ小
南翔及南翔鎮ニ在リ又歩兵第七聯隊ハ午前八時四十分陸宅南翔鎮東南
東方三軒ニ進入セリ以上第二中隊飛行機(偵
察砲兵中尉志村周一、操
縦軍曹佐々木政
治)ノ報告ニ依ル

軍司令官ハ以上ノ狀況ニ鑑ミ第十一師團ノ嘉定占領ヲ迅速ナラシムル爲午前十時三十分頃歩兵第二十
二聯隊ヲ南翔鎮ヨリ嘉定ニ進メ同地ノ敵ヲ挾撃セシムル如ク部署セリ

附記 午前十一時頃參謀次長ヨリ「少クトモ今日中ハ既定ノ作戰範圍内ニ於テ飽クマテ敵ヲ急迫シ徹底打撃ヲ與ヘラルルコト
ヲ期待スル」旨激勵ノ電報アリ

第九師團ハ早朝眞茹鎮ヲ、又午前十時頃南翔鎮ヲ占領シ海軍陸戰隊ハ同時頃マテニ閘北ヲ掃蕩シテ其西
端ニ進出シ第十一師團ハ婁塘鎮西南方地區ニ於テ朝來敵ト交戦シ逐次之ヲ壓迫中ニシテ軍司令官ハ同
十一時過概ネ此狀況ヲ承知シ爾後第十一師團方面ニ兵力ヲ増加スルノ要ナク寧ロ吳淞砲臺占領中ノ海

午後ニ於
ケル全般
ノ狀況
軍司令官
ノ部署

軍陸戦隊ヲ陸軍ノ兵力ヲ以テ交代セシムルノ要ヲ認メ正午過軍參謀少兵大尉ヲ揚子江口附近ニ於テ待機中ナル歩兵第四十四聯隊ノ輸送船ニ派遣シ海軍飛行艇ニ依リ急行セシム『吳淞鎮附近ニ上陸スヘキ』命令ヲ傳ヘシメタリ

午後三時頃マテノ諸情報ヲ綜合スルニ敵ノ主力ハ西方遠ク退却シ京滬鐵道方面ニ於テハ其後尾ヲ以テ黃渡驛南翔鎮西東端ニ在ルカ如ク太倉ハ目下火災中ナリ

我カ獨立飛行第三中隊ハ午後一時頃ヨリ同三時ニ互リ二回各一編隊長大尉原田潔及大尉齋藤正吉ヲ以テ嘉定、太倉、崑山上空ヲ行動シ敵ヲ威嚇スルト共ニ地上攻撃ヲ敢行セリ。

附記 此日午後始メテ九一式戰鬥機三機戰鬥ニ參加セリ

軍司令官ハ敵カ昨夜遠ク西北方、西方及西南方ニ退却シ其主力ハ既ニ我カ包圍圈ヲ脱セルカ如キヲ以テ更ニ追撃ヲ續行ストモ敵ヲ捕捉スル見込ナク強ヒテ之ヲ行ハントスレハ彈藥、糧秣ノ補給續カス而モ今ヤ我カ第一線ハ最初支那軍ニ要求セシ撤退線ヲ越エ概ネ所期ノ目的ヲ達成シタルノミナラス當初軍ノ與ヘラレタル指示勉メテ速ニ局部的ニ解決スルヲ以テ一般ノ方針トス尙戰場ヲ成ルヘク上海附近ニ鑑ミルモ瀏河鎮、嘉定、南翔鎮、真茹鎮ノ線ニ停止スルヲ以テ足レリト認メ該線ヲ占メテ態勢ヲ整理シ占領線内ノ守備ニ任スルニ決シ午後四時命令上軍作命甲第十一號ヲ下達シ概ネ左ノ如ク部署セリ

一 各隊ノ守備管區ヲ要圖註、次頁挿圖參照ノ如ク劃定ス

二 第十一師團歩兵第四十四聯隊、工兵ヲシテ一部ヲ嘉定附近ニ、主力ヲ瀏河鎮附近ニ集結シ守備管區内ノ殘敵ヲ掃蕩シテ守備ニ任セシメ且歩兵第三十五聯隊ノ一小隊ヲ四日、舊吳淞支隊ヲ守備交代後夫々原隊ニ復歸セシメ尙同師團ヲシテ當分ノ内吳淞守備隊ノ給養ヲ擔任セシム

三 第九師團混成第二十四旅團、第十一師團ノ野戰病院一箇及兵站自動車第五中隊ヲ屬ヲシテ一部ヲ真茹鎮ニ、主力ヲ南翔鎮附近ニ集結シ守備管區内ノ殘敵ヲ掃蕩シテ守備ニ任セシメ且歩兵第三十五聯隊ノ一小隊ヲ四日、舊吳淞支隊ヲ守備交代後夫々原隊ニ復歸セシメ尙同師團ヲシテ當分ノ内吳淞守備隊ノ給養ヲ擔任セシム

圖要區管備守軍遣派海上
日三月三年七和昭



四 吳淞守備隊長泰步兵大佐、步兵第四十四聯隊(一中隊欠)、野戰重砲兵第六攻城重砲兵(甲)第一聯隊第一中隊、獨立攻城重砲兵(丙)隊、工兵第十一大隊ノ一小隊ヲシテ歩兵一大隊一中、隊欠、獨立野戰重砲兵第八聯隊第四中隊、東端附近ニ、主力ヲ吳淞鎮及寶山附近ニ集結シ殘敵ノ排除、管内諸部隊及諸施設ノ警備ニ任セシ

ム

五 上海海軍陸戰隊ヲ自今軍司令官ノ直轄トシ依然前任務ヲ續行セシム但租界警備ニ關シテハ依然

第三艦隊司令長官ノ指揮下ニ在ラシム

六 軍飛行隊長江橋大佐、步兵第四十四聯隊ノ一中隊(一小隊欠)、飛行第二大隊、偵ヲシテ常熟、蘇州、嘉興上海西南

ヲ連スル線含以東ノ地區ニ於ケル敵情ヲ搜索シ特ニ第十一師團ノ右側及滬杭甬鐵道ニ沿フ地區ノ

敵情ニ注意セシム

附記

一 此部署ニ基ク命令ハ飛行機ヲシテ第十一師團ニ送付セシメタレト日没トナリ遂ニ傳達スルヲ得ス
二 海軍飛行機ハ常熟、蘇州、嘉興ノ線(含マス)以西ノ搜索ヲ擔任ス

歩兵第四十四聯隊ノ到着

歩兵第四十四聯隊長大佐藤雅尚、二月二十九日筑波丸及八雲丸ニ搭乗、ハ揚子江第二錨地ニ於テ午後二時過石野參謀ヨリ吳淞鐵道棧橋ニ待機スヘキ命令ヲ、次テ西村參謀ヨリ同棧橋ニ上陸シ爾後吳淞守備隊タルヘキ命令ヲ受領シ同四時同棧橋ニ到リ直ニ上陸ヲ開始セリ 第九中隊ヲ軍司令官ニ派遣ス

附記 輸送船八雲丸(第二大隊、第十一中隊、第三機關銃中隊、歩兵砲隊搭載)ハ一日未明關門海峽ニ於テ石炭船金龍丸ト衝突セシヲ以テ全員一旦上陸シ第二大隊ハ浦鹽丸ニ、其他ハ筑波丸ニ轉乘ス浦鹽丸ハ主力ニ遅レテ發航、四日吳淞鐵道棧橋ニ到着セリ

軍司令官

軍司令官ハ國際聯盟ノ情勢ニ鑑ミ總會開催以前ニ於テ自發的ニ停戦ヲ聲明スルヲ有利ト爲シ此日午後

ノ停戦ニ關スル聲明

二時一軍ハ支那軍ニシテ對敵行動ヲ取ラサル限リ暫ク軍ヲ現在地ニ停メ戰鬪行動ヲ中止スヘキ旨聲明ヲ發セリ 附錄第五 其二參照

附記

一 此聲明ハ支那軍ニ與ヘタルモノニシテ軍ニ對スル停戦ノ命令ニアラス從テ軍ハ行動ノ自由ヲ有シタリキ
二 第三艦隊司令長官ハ午後三時概ネ同趣旨ノ聲明ヲ發セリ

第二款 第九師團方面ノ狀況 附圖第二 十八參照

騎兵第一中隊及南翔支隊ノ行動

三日午前六時騎兵第一中隊一小隊トハ三七里出發、趙宅 西方四軒ヲ經、同七時三十分小南翔ニ達セシニ前夜來南翔鎮附近ヲ搜索中ナリシ川村將校斥候ニ依リ同地ニ大ナル敵ナキヲ知リタルヲ以テ直ニ南翔鎮西南端ニ進出ス時ニ午前八時頃ナリ

附記 中隊ハ南翔鎮ニ於テ敗殘兵十一名ヲ捕獲セリ

此日早朝謝家宅北側ニ於テ歩兵第二十二聯隊主力ヲ掌握セシ南翔支隊長混成第二十八旅團長ハ南翔鎮占領ノ目的ヲ以テ搜索ヲ行フニ決シ午前七時命令ヲ下シ歩兵第二十二聯隊山砲兵第九聯隊第二大ヲシテ小南翔西南端ヲ占領シテ敵情地形ヲ搜索セシメ旅團主力ヲ馬路灣謝家宅西、方六百米、張仙廟謝家宅南側、謝家宅、金家寺謝家宅西北、方五百米、艾濱頭謝家宅西、方一軒ノ地區ニ集結シ砲兵ヲシテ攻撃ノ目的ヲ以テ陣地ヲ偵察セシメタリ

附記

一 支隊長ハ土人ヲシテ南翔鎮市長宛勸降文(旅團司令部附步兵少佐松尾勇太郎起草)ヲ送付セシム

二 歩兵第二十二聯隊(配屬部隊故ノ如シ)ハ午前八時第二大隊(第五中隊欠)ヲ前衛、第五中隊ヲ左側衛トシテ謝家宅北側出發、
同八時三十分前衛及側衛ヲ以テ小南翔西南側及汪家宅ノ線ヲ占領セリ

支隊長ハ歩兵第二十二聯隊ノ斥候第六中隊少尉山中龍吉及第七中隊少尉眞矢綾市ニ依リ南翔鎮ニハ既ニ敵ナキヲ知リタルヲ以テ

支隊主力ヲ同地東南側附近ニ集結シテ爾後ノ行動ヲ準備スルニ決シ同九時歩兵第二十二聯隊步兵第二十

大隊及山砲兵第九聯隊第二步兵第二十ニ命スルニ南翔鎮西南側徐家宅ニ位置シテ嘉定及崑山方向ニ對シ警戒スヘキヲ以

テシ爾餘ノ諸隊ヲシテ歩兵第四十八聯隊第一大隊長ノ區處ヲ以テ南翔鎮東南側ニ到ラシム

歩兵第二十二聯隊ハ右命令ニ基キ同九時三十分頃再ヒ前進ヲ起シ一舉ニ南翔鎮ヲ占領ス時ニ午前十時

過ニシテ直ニ歩兵第二十四聯隊第一大隊、歩兵第二十二聯隊第一、第二大隊ヲ第一線トシテ同地西北

端ヨリ西南端ニ至ル間ヲ占領セシメ爾餘ヲ南翔驛附近ニ集結セリ

附記 南翔驛ノ住民ハ大部逃避シ敵ノ遺棄セル自動車、通信線、其他軍需品處々ニ散在シアリ土民ノ言ニ依レハ敵ハ昨二日崑

山方面ニ退却シ今曉マテ殘留セシ敵兵三、四百名ハ午前五時頃マテニ主力ヲ以テ嘉定、一部ヲ以テ西方ニ退却セルカ如シ

師團長ハ午前八時歩兵第三十五聯隊第一大隊第一中隊ノ一小、山砲兵第九聯隊(本部及第三大隊)ト共ニ大場鎮

西端出發途中楊子運ニ於テ歩兵第三、十六聯隊第一大隊ヲ合ス、同九時過小南翔西南方三百米獨立丘阜ニ達シ南翔支隊長ニ會シテ南翔

鎮附近ノ狀況ヲ聽取シ茲ニ南翔支隊ノ編成ヲ解キ師團主力ヲ以テ同地附近ニ兵力ヲ集結シテ爾後ノ行

動ヲ準備スルニ決シ同九時五十分命令ヲ下シ概ネ左ノ如ク部署セリ

一 騎兵第一中隊ヲシテ嘉定方向ニ前進シ同方面ノ敵情ヲ搜索スルト共ニ第十一師團ト連絡シ尙崑

南翔鎮附近ノ師團編成
近占領地ノ師團編成
長ノ師團編成
解除ノ師團編成

山方向ノ敵情ヲ搜索セシム

二 混成第二十四旅團ヲシテ右地區隊トシテ南翔鎮西北端ヨリ西端ニ互ル間ヲ占領シ嘉定及崑山方

向ノ敵情ヲ搜索セシム

三 歩兵第六旅團配屬部隊故ノ如シヲシテ左地區隊トシテ南翔鎮西端ヨリ西南方ニ互ル間ヲ占領シ崑山方向及

西南方ノ敵情ヲ搜索セシム、又一部ヲ以テ江橋鎮南翔鎮東方三軒ヲ占領シ蘇州河ノ線ノ敵情ヲ搜索セシ

ム

四 第一線兩地區隊ノ占領地境ヲ鐵道線路線上ハ左地區隊ニ屬スト定ム

五 歩兵第二十二聯隊ヲシテ馬陸鎮南翔鎮西方四軒ニ進出シ嘉定方向ノ敵情ヲ搜索シ所要ニ應シ第十一師團

ノ嘉定攻撃ニ協力セシム

六 砲兵隊ヲシテ南翔鎮東北端附近ニ集結セシム但野戰重砲兵第一大隊ヲシテ進路ノ狀況之ヲ許サ

スハ大場鎮ニ位置セシム

七 歩兵第三十五聯隊ノ一大隊及同第三十六聯隊ノ一大隊ヲ豫備隊トシテ南翔鎮東北端附近ニ位置

セシム

八 師團司令部ヲシテ南翔鎮東北端ニ位置セシム

次テ午前十一時三十分軍司令官ヨリ歩兵第二十二聯隊ヲ原所屬師團ニ復歸セシムヘキ命令アリシヲ以

テ直ニ其旨ヲ傳達セリ

騎兵第一中隊ノ嘉定附近

騎兵第一中隊ハ前記師團命令ニ基キ即刻出發、午後零時四十分馬陸鎮ヲ占領シ將校斥候長少尉 北川清ヲ嘉定ニ出シテ同地附近ヲ搜索セシメ且第十一師團トノ連絡ニ任セシメタリ

步兵第二十二聯隊ノ原所屬

步兵第二十二聯隊ハ正午頃前記師團命令ヲ受領シ混成第二十四旅團長ノ指揮ヲ離レ午後一時集結地出發、第三大隊ヲ前衛、爾餘ヲ本隊トシテ嘉定ニ向ヒ前進中聯隊長ハ同三時馬陸鎮南方一軒附近ニ於テ左ノ要旨ノ第九師團命令午前十一時五十分 南翔驛發ヲ受領セリ

第九師團命令ノ要旨

一 第十一師團主力ハ本朝八時三十分頃婁塘鎮附近ニ於テ約二大隊ノ敵ト相對戰シアリシカ其後ノ狀況明ナラサルモ敵ハ既ニ退却セルモノノ如シ

二 步兵第二十二聯隊ハ嘉定ニ向ヒ前進シ原所屬ニ復歸スヘシ
是ニ於テ聯隊ハ第九師團長ノ指揮ヲ脱シ依然北進ヲ續行セリ爾後ノ行動ニ關シテハ第一〇〇九頁參照

混成第二十四旅團ノ南翔驛附近

混成第二十四旅團長ハ前記師團長ノ部署ニ基キ同十時三十分命令ヲ下シ步兵第二十四聯隊第一大隊ヲ右第一線、步兵第四十八聯隊第一大隊ヲ左第一線トシテ南翔鎮西北端附近ヨリ同西端附近ニ互ル間ヲ占領シテ夫々馬陸鎮及北望南翔鎮西 方四軒方向ノ敵情ヲ搜索セシメ兩大隊ノ搜索、警戒地境ハ張家宅(南翔鎮東側)西端、二房村(南翔鎮西北方二軒)南端、杜家墳(二房村西北方二軒)西端ヲ爾餘ノ諸隊ヲ南翔鎮東部族團司令部ハ 天主堂附近ニ村落露營セシムル如ク部署シ旅團ノ主力ハ午前十一

步兵第六旅團ノ南翔驛附近

時頃ヨリ小南翔鎮東方集結地出發、正午過南翔鎮東側附近ニ到著集結シ此間第一線兩大隊ハ所命ノ如ク陣地ヲ占領シ午後三時頃配備終リ其他ノ主力ハ概ネ午後四時頃マテニ宿營ニ就ケリ

此日步兵第六旅團ハ午前八時步兵第三十五聯隊第一大 隊欠ヲ以テ三七里、旅團司令部及步兵第七聯隊ヲ以テ陳家角三七里南 方一軒半出發、殆ト敵ヲ見ルコトナク同十一時頃南翔驛東側ニ達シ集結ス同時旅團長ハ午前九時五十分發師團命令第九九〇 頁參照ヲ受領シ直ニ命令ヲ下シ步兵第三十五聯隊第一大 隊欠ヲ右第一線、同第七聯隊第九中 隊欠ヲ左第一線トシテ各、一部ヲ以テ南翔鎮西南端鐵道橋ヨリ沈家村南翔驛西、 南方一軒、徐家宅沈家村東 方五百米ヲ經テ黃

家宅南翔驛 東南側ノ線ヲ占領シ主力ヲ南翔驛附近ニ集結シテ夫々崑山及南方ノ敵情ヲ搜索セシメ兩聯隊ノ搜 索警戒地境

ハ南翔驛、沈家村、董家橋ノ 線線上ハ右聯隊ニ屬ストス、特ニ步兵第七聯隊ノ約一大隊第三大隊(第 九中隊欠)ヲ以テ江橋鎮附近ヲ占領シテ南方蘇州

河方向ニ對シ警戒セシメ山砲兵第一大隊ヲシテ南翔驛北側附近ニ集結セシムル如ク部署セリ族團長ハ豫 第七聯隊第九中隊ト共ニ南 翔驛西南側獨立家屋ニ位置ス

兩聯隊ハ右部署ニ基キ概ネ午後三時頃マテニ配備ヲ完了セリ

此日眞茹鎮占領ノ任務ヲ受ケタル步兵第十八旅團第十九聯隊及第三十六聯隊第一大隊ハ午前七時豫定ノ部署ヲ以テ楊子涇南端出發、途中我カ飛行機偵察砲兵中尉志村周一、 操縦 軍曹佐々木政治ヨリ南翔鎮及眞茹鎮附近ニ敵影ヲ見サル旨ノ通報ヲ受ケ南進ヲ續行シ南北方面ノ敵ニ備フル爲三七里ヨリ第九 中隊ヲ左側衛トシテ眞茹驛東側ニ出ス敵ニ遭遇スルコトナク同九時頃眞茹驛ニ達シ

野戰重砲兵第三中隊中隊ヲ左側衛トシテ眞茹驛東側ニ出ス暨南大學附近ニ集結シ警戒ノ處置ヲ講スルト共ニ附近ノ部落ヲ掃蕩シ斥候ヲ眞茹鎮ニ相次ニ同地ニ到著ス

步兵第十旅團ノ眞茹鎮附近

出シテ歩兵第十九聯隊ト連絡セシム間モナク旅團長ハ歩兵第十九聯隊ノ斥候ニ依リ同聯隊ノ早朝眞茹鎮ヲ占領セルヲ知り同九時五十分命令ヲ下シ概ネ左ノ如ク部署シ各隊ヲシテ夫々配備ニ就カシメタリ

- 一 歩兵第十九聯隊ヲシテ一部ヲ以テ眞茹鎮西端及南端ヲ占領シ主力ヲ眞茹鎮東側附近ニ集結シテ主トシテ南方及東南方ニ對シ警戒シ且敵情ヲ搜索シ特ニ關北方向ヨリ潰走スル敵ニ注意セシム
- 二 歩兵第三十六聯隊第一大隊及第七中隊欠ヲシテ現在地附近ニ集結シ一部ヲ以テ眞茹驛附近ヲ警戒シ特ニ關北方向ノ敵情ヲ搜索シ且海軍陸戰隊ト連絡セシム
- 三 山砲兵第五中隊及野戰重砲兵第三中隊ヲシテ野戰重砲兵第三中隊長ノ統一指揮ヲ以テ眞茹鎮及關北方向ニ對シ射撃ヲ準備セシム

附記

- 一 尙旅團長ハ特ニ關北方面ノ敵情搜索、海軍陸戰隊トノ連絡並彭浦鎮附近歩兵第二十二聯隊第五中隊トノ連絡ノ爲歩兵第三十六聯隊第七中隊(長代理中尉平井文)ヲ關北日本人墓地ニ派遣セリ(午前十時三十分出發、午後三時歸著)
- 二 歩兵第十九聯隊第三大隊ハ彭浦鎮ニ於テ前夜海軍陸戰隊トノ連絡成リシヲ以テ本三日午前八時彭浦鎮出發、新村路(暨南大學北側ニ通スル自動車道)ヲ西進シ同九時三十分楊家橋(眞茹驛西側)ニ到着シ聯隊主力ト連絡ノ後同十二時頃眞茹鎮ニ到リ所屬ニ復歸シ同時第十中隊(在潭子港ノ一小隊ハ午後一時頃)ヲ手裡ニ收メタリ

師團長ノ南翔鎮到

師團長ハ午後一時南翔鎮東端ニ達シ師團ハ既ニ南翔鎮及眞茹鎮ノ線ヲ占領シテ軍命令ニ基ク所期ノ目

著此夜間ノ爲ノ部

的ヲ達シタルヲ以テ現在ノ態勢ヲ以テ夜ヲ徹スルニ決シ午後二時四十五分南翔鎮東端ニ於テ命令ヲ下シ前任務ヲ續行セシムルト共ニ概ネ左ノ如ク行動セシム

- 一 騎兵第一中隊ヲシテ日没後南翔鎮東北端
南
- ニ 歸來宿營セシム
- 二 兩地區隊ヲシテ朱家灣南翔鎮、西北側、周家墳朱家灣西
南方五、鄧家村方五百米、楊家村鄧家村西、倪家村方六百米、楊柳橋倪家村東、李家村南方一軒ノ線ニ小部隊ヲ出シテ警戒セシメ主力ヲ以テ現在地附近ニ集結露營セシム
- 三 歩兵第十八旅團ヲシテ主力ヲ以テ眞茹鎮

ヲ占領シ一部ヲ以テ北新涇鎮附近蘇州河左岸ヲ占領シ南方ニ對シテ警戒シ且左地區隊ノ左翼江橋ト連絡セシム

鎮

翔

南



四 海軍陸戰隊ヲシテ東八字橋、潭子港（彭浦鎮南南西方二軒）ヲ連スル線以南開北一帶ヲ掃蕩セシム

五 師團司令部、砲兵隊、豫備隊ヲシテ現在地附近ニ露營セシム

六 衛生隊ヲシテ一部ヲ歩兵第十八旅團ニ配屬シ主力ヲ以テ南翔鎮ニ待命セシム

第一野戰病院ヲシテ大場鎮ニ位置セシム

師團長ハ午後三時三十分南翔鎮東南部ニ到リ司令部（前頁寫眞參照）ヲ開設シ午後六時軍紀風紀維持ニ關シ各隊

ニ注意ヲ促ストコロアリ午後八時頃軍命令（上軍作命甲第十一號第九八六頁參照）ヲ受領シ同九時守備ニ關スル所要ノ命令ヲ

下達セリ

附記 騎兵第一中隊ハ午後三時馬陸鎮ニ於テ歩兵第二十二聯隊ノ尖兵到着ト共ニ之ト交代シ眞聖塘橋（馬陸鎮東南方二軒徐家宅

南側橋梁）附近ニ到リテ馬糧ノ補給中同四時四十分南翔鎮ニ歸來スヘキ師團命令ニ接シ日没ト共ニ同地東北端ニ後退宿營ス

山砲兵第九聯隊（本部及第三大隊第八中隊欠）ハ正午頃第二大隊（第五中隊欠）ヲ復歸セシメラ午後一時頃南翔鎮東北端大德寺

附近ニ集結シ野戰重砲兵第二聯隊第一大隊第三中隊欠ハ午前八時大場鎮出發、前日ヨリ更ニ困難ナル行軍ヲ行ヒ架橋スルコト

九箇所、午後五時三十分乃至九時三十分ノ間ニ辛ウシテ南翔鎮東端ニ到着、何レモ其附近ニ露營セリ

獨立野戰重砲兵第八聯隊第四中隊ハ午前七時頃大場鎮ニ進出ス適、野戰高射砲隊ト共ニ開北ヲ經テ大場鎮ニ向ヒ前進スヘキ午六時

ニ進出スルヲ得ス（中隊長ハ午前八時頃大場鎮ニ進出ス）適、野戰高射砲隊ト共ニ開北ヲ經テ大場鎮ニ向ヒ前進スヘキ午六時

三十分發ノ師團命令アリシヲ以テ主力ハ先任者ノ指揮ヲ以テ同九時頃江灣渡馬場出發、西體育會路、東八字橋、彭浦鎮南側、滬

大汽路ヲ經テ午後一時四十分大場鎮ニ到着待命中同四時過軍直轄トナルヘキ命ヲ受ケ同地ニ宿營シ軍司令部其他ト連絡セリ

野戰高射砲隊ハ午前七時頃大場鎮ニ前進スヘキ命令ヲ受領シ前記ノ進路ニ依リ同十一時三十分同地到着、午後四時過軍直轄トナ

リ同八時公大第一診廠ニ到着宿營セリ

工兵第一中隊ハ主トシテ江灣鎮西側附近ノ道路及橋梁ヲ修理シ午後九時四十分大場鎮ニ到着宿營セリ

衛生隊ハ午前九時大場鎮出發、午後四時南翔鎮到着直ニ該地ニ開設シ第一野戰病院ハ前進ノ命ニ依リ第四野戰病院ニ引繼キ午後

三時出發夕刻大場鎮到着待命中上海歸還ノ命ヲ受ケ同九時原位置ニ歸還セリ

兵站自動車第五中隊（長大尉磯部義正）ハ師團主力ノ補給困難ナル狀況ニ鑑ミ速ニ之ニ追隨スル爲彈藥糧秣ヲ適宜混載シ全力ヲ以

テ三日午前一時江灣鎮出發、尙狀況不安ナル開北ヲ迂回シ敵敗殘兵ノ狙撃ヲ受ケツツ破壞阻絶多キ道路ヲ開拓シテ同八時大場鎮

ニ到着シ追擊間ノ補給ニ支障ナカラシメタリ又輜重兵第九大隊第三中隊（一小隊欠、支那苦力二百七十七名ヲ屬ス）ハ江灣鎮、大

場鎮間ヲ二輪送區ニ分子臂力ヲ以テ軍需品ノ輸送ニ任シ午後五時三十分大場鎮ニ集結シテ兵站自動車第五中隊ト共ニ該地ニ於テ

夜ヲ徹セリ

海軍陸戰隊ノ開北掃蕩

此日海軍陸戰隊（吳淞砲臺攻略ノ爲參加セル部隊欠）ハ天明ヨリ開北一帶ノ掃蕩ニ任シ第一大隊ヲ以テ京滬鐵道以南、第三大

隊ヲ以テ同鐵道以北、中山路（含）ニ至ル間、第五大隊ヲ以テ其以北ノ地區ノ敗殘兵ヲ一掃シ其他ヲ以テ

後方地區ノ警備ヲ擔任シ午前中ニ全ク開北一帶ノ掃蕩ヲ完了シ在豐田紡織ノ部隊（第一大隊ト連絡シ爾後

前記地域内ノ治安維持及諸整理ニ勉メタリ

第三款 第十一師團方面ノ狀況（附圖第二十九、第三十參照）

其一 婁塘鎮附近師團主力ノ戰鬪

婁塘鎮ノ掃蕩戰

三日拂曉右追擊隊ハ婁塘鎮北部ニ在リテ前進ヲ準備中部落内ニ潛入セル敵兵所在ノ家屋ノ屋上、窓及竹林内等ヨリ射撃ヲ開始シ銃聲四方ニ響キ飛彈往々司令部及各本部ヲ襲フニ至ル當時一般ニ敵情及軍

四 海軍陸戰隊ヲシテ東八字橋、潭子港（彭浦鎮南南西方二軒）ヲ連スル線以南開北一帶ヲ掃蕩セシム

五 師團司令部、砲兵隊、豫備隊ヲシテ現在地附近ニ露營セシム

六 衛生隊ヲシテ一部ヲ步兵第十八旅團ニ配屬シ主力ヲ以テ南翔鎮ニ待命セシム

第一野戰病院ヲシテ大場鎮ニ位置セシム

師團長ハ午後三時三十分南翔鎮東南部ニ到リ司令部（前頁寫眞參照）ヲ開設シ午後六時軍紀風紀維持ニ關シ各隊

ニ注意ヲ促ストコロアリ午後八時頃軍命令（上軍作命甲第十一號第九八六頁參照）ヲ受領シ同九時守備ニ關スル所要ノ命令ヲ

下達セリ

附記 騎兵第一中隊ハ午後三時馬陸鎮ニ於テ步兵第二十二聯隊ノ尖兵到着ト共ニ之ト交代シ眞聖塘橋（馬陸鎮東南方二軒徐家宅南側橋梁）附近ニ到リテ馬糧ノ補給中同四時四十分南翔鎮ニ歸來スヘキ師團命令ニ接シ日没ト共ニ同地東北端ニ後退宿營ス

山砲兵第九聯隊（本部及第三大隊第八中隊欠）ハ正午頃第二大隊（第五中隊欠）ヲ復歸セシメラレ午後一時頃南翔鎮東北端大德寺

附近ニ集結シ野戰重砲兵第二聯隊第一大隊（第三中隊欠）ハ午前八時大場鎮出發、前日ヨリ更ニ困難ナル行軍ヲ行ヒ架橋スルコト

九箇所、午後五時三十分乃至九時三十分ノ間ニ辛ウシテ南翔鎮東端ニ到着、何レモ其附近ニ露營セリ

獨立野戰重砲兵第八聯隊第四中隊ハ午前七時頃一部ヲ以テ江灣鎮西端ヲ經テ大場鎮ニ向ヒ出發セシカ道路不良ニシテ江灣鎮以西

ニ進出スルヲ得ス（中隊長ハ午前八時頃大場鎮ニ進出ス）適、野戰高射砲隊ト共ニ開北ヲ經テ大場鎮ニ向ヒ前進スヘキ午六時

三十分發ノ師團命令アリシヲ以テ主力ハ先任者ノ指揮ヲ以テ同九時頃江灣鎮馬場出發、西體育會路、東八字橋、彭浦鎮南側、滬

大汽車路ヲ經テ午後一時四十分大場鎮ニ到着待命中同四時過軍直轄トナルヘキ命ヲ受ケ同地ニ宿營シ軍司令部其他ト連絡セリ

野戰高射砲隊ハ午前七時頃大場鎮ニ前進スヘキ命令ヲ受領シ前記ノ進路ニ依リ同十一時三十分同地到着、午後四時過軍直轄トナ

リ同八時公大第一診療廠ニ到着宿營セリ

工兵第一中隊ハ主トシテ江灣鎮西側附近ノ道路及橋梁ヲ修理シ午後九時四十分大場鎮ニ到着宿營セリ

衛生隊ハ午前九時大場鎮出發、午後四時南翔鎮到着直ニ該地ニ開設シ第一野戰病院ハ前進ノ命ニ依リ第四野戰病院ニ引繼キ午後

三時出發夕刻大場鎮到着待命中上海歸還ノ命ヲ受ケ同九時原位置ニ歸還セリ

兵站自動車第五中隊（長大尉磯部義正）ハ師團主力ノ補給困難ナル狀況ニ鑑ミ速ニ之ニ追隨スル爲彈藥糧秣ヲ適宜混載シ全力ヲ以

テ三日午前一時江灣鎮出發、尙狀況不安ナル開北ヲ迂回シ敵敗殘兵ノ狙撃ヲ受ケツツ破壞阻絶多キ道路ヲ開拓シテ同八時大場鎮

ニ到着シ追擊間ノ補給ニ支障ナカラシメタリ又輜重兵第九大隊第三中隊（一小隊欠、支那苦力二百七十七名ヲ屬ス）ハ江灣鎮、大

場鎮間ヲ二輪送區ニ分子臂力ヲ以テ軍需品ノ輸送ニ任シ午後五時三十分大場鎮ニ集結シテ兵站自動車第五中隊ト共ニ該地ニ於テ

夜ヲ徹セリ

海軍陸戰隊ノ開北掃蕩

此日海軍陸戰隊（吳淞砲臺攻略ノ爲）ハ天明ヨリ開北一帶ノ掃蕩ニ任シ第一大隊ヲ以テ京滬鐵道以南、第二大隊ヲ以テ同鐵道以北、中山路（含）ニ至ル間、第五大隊ヲ以テ其以北ノ地區ノ敗殘兵ヲ一掃シ其他ヲ以テ後方地區ノ警備ヲ擔任シ午前中ニ全ク開北一帶ノ掃蕩ヲ完了シ在豐田紡織ノ部隊（第一大隊ト連絡シ爾後前記地域内ノ治安維持及諸整理ニ勉メタリ）

第三款 第十一師團方面ノ狀況（附圖第二十九、第三十參照）

其一 婁塘鎮附近師團主力ノ戰鬪

三日拂曉右追擊隊ハ婁塘鎮北部ニ在リテ前進ヲ準備中部落内ニ潛入セル敵兵所在ノ家屋ノ屋上、窓及竹林内等ヨリ射撃ヲ開始シ銃聲四方ニ響キ飛彈往々司令部及各本部ヲ襲フニ至ル當時一般ニ敵情及軍

婁塘鎮ノ掃蕩戰

主力方面ノ狀況ニ關シ何等知ルトコロナシ

右追撃隊長少將 山田健三ハ依然嘉定ニ前進スルニ決シ婁塘鎮内ノ通過ヲ避ケ步兵第四十三聯隊主力ヲシテ其

北側地區ヨリ同地西側ニ進出セシメ同聯隊第三中隊ヲ豫備隊トシテ第一線ノ直後ヲ前進セリ

步兵第四十三聯隊長大佐 辻 惟作ハ第七中隊一小隊ヲ右第一線、第三大隊第十中隊ノ一小隊ヲ左第一線トシテ概ネ

西南面シテ展開セシメ第一大隊第三中隊及步兵砲隊分隊一ヲ豫備隊トシテ婁塘鎮西北側ニ位置セシメ午

前七時ヲ期シテ攻撃前進ヲ開始セシム然ルニ聯隊ノ前進ヲ起スヤ婁塘鎮部落内ノ敵兵益々猛烈ニ發砲

シ頗ル危険ナルヲ以テ聯隊長ハ第一線ヲシテ一部ヲ以テ直接危害ヲ及ス敵ヲ掃蕩セシメ主力ヲ以テ依

然前面ノ敵婁塘鎮西南側ニ陣地ヲ占領シ重大武器ヲ有スヲ擊攘セシムルト共ニ步兵砲隊ヲシテ婁塘鎮ノ掃蕩ニ協力セシム

第三大隊長少佐 吉岡 壽ハ第十中隊一小隊ヲシテ婁塘鎮北側附近ヲ掃蕩セシメ第九中隊及機關銃中隊一小隊ヲ第

一線ニ展開シ第十一中隊ノ輕機一分隊上陸前ヨリ直接警戒ノ爲常時大隊本部ニ位置シアリ及機關銃一小隊ヲ豫備隊トシテ西南方ニ攻

撃前進セシムルヤ突如敵ハ婁塘鎮西南側陣地ニ據リテ我カ第一線ノ左翼ヲ側射シ侯家宅方向ヨリノ正

面射竝婁塘鎮内部ヨリノ背射ト相俟ツテ三方ヨリ十字火ヲ注キ第一線ノ前進頗ル困難ニ陥ル是ニ於テ

大隊長ハ豫備隊ノ機關銃一小隊ヲ増加シテ婁塘鎮西南端附近ノ敵自動火器ヲ制壓セシムルト共ニ第九

中隊ヲシテ之ニ向ヒ攻撃セシム乃チ第九中隊ハ機關銃中隊協力ノ下ニ左ニ旋回シ中隊長大尉 安岡波路躬ラ先

頭ニ立チ敵ノ猛火ヲ冒シテ婁塘鎮西南側水濠北岸ノ陣地土地稍々隆起ツテ丘阜狀ヲ成スニ突入シ忽チニシテ之ヲ擊退ス

敵ハ屍體十數ヲ遺棄ス此間第十中隊長大尉 藤田和孝ハ敵ノ占據セル家屋ヲ燒却掃蕩シ逐次第九中隊ノ右後方ニ進出ス時ニ午

前八時頃ニシテ大隊ハ隊伍ヲ整頓シ西南方一帶ノ部落ニ陣地ヲ占領セル敵ニ對シ攻撃ヲ準備セリ

第一大隊長少佐 田北昇ハ拂曉ト共ニ露營地附近ヲ掃蕩シタル後第一中隊長大尉 橋詰利丸ヲ第一線、機關銃中隊

野田又雄及第二中隊長大尉 藤本直基ヲ第二線トシテ婁塘鎮北側ヨリ第三大隊ノ後方ヲ前進中婁塘鎮西南部附近ヨ

リ猛烈ナル側射ヲ受ケタルヲ以テ第一中隊及機關銃中隊ハ直ニ之ヲ制壓シ平射步兵砲分隊協力ノ下ニ

第一中隊ノ一部及第二中隊ヲ以テ家屋ニ火ヲ放チテ全ク之ヲ掃蕩シ午前八時頃隊伍ヲ整頓シテ第三大

隊ニ續行セリ

師團長ハ午前七時過百家橋西側小學校ヲ發シ前進約六百米ニ及ヒタレトモ第一線ノ狀況判明セス唯婁

塘鎮ノ掃蕩未タ完了セサルモノノ如ク流彈頻ニ附近ニ落達スルヲ見ルノミナリシヲ以テ師團幕僚ヲシ

テ交々敵彈ヲ冒シテ第一線ニ到ラシメ戰況視察竝指導ニ任セシメタリ

狀況以上ノ如クナルヲ以テ師團長ハ行進遲レタル山砲兵第三大隊ニ速ニ追及シテ戰鬪ニ加入スヘキヲ

命スルト共ニ婁塘鎮附近ノ掃蕩進捗ニ伴ヒ司令部衛兵ヲシテ同地ノ殘敵ヲ驅逐セシメツツ午前十時三

十分頃其西側婁塘鎮西南端西北ニ達ス此時第一線ハ婁塘鎮西南方地區ニ陣地ヲ占領セル敵ニ對シ攻撃中ニ

シテ同方面ノ部落ニ火災起リテ黒焰天ニ沖シ流彈師團司令部附近ニ飛來シテ頗ル危険ナリ

時恰モ山砲兵第三大隊ハ逐次戰線ニ到著シテ婁塘鎮西側ニ陣地ヲ占領シ射撃ヲ開始シ砲聲般々タリ

師團長ノ
側隊出立
三山砲兵
及大隊第
追及

附記

一 當初當面ノ敵情判明セス一部ノ殘敵輕易ナル抵抗ヲ爲スモノノ如クナリシカ運次戰闘ノ進捗ニ伴ヒ敵陣地ハ婁塘鎮西方、西南方及南方各、一、二軒ニ點在スル各部落ノ線端概ネ婁塘鎮ヲ中心トスル外周上ニ互リ構築セラレ且其警戒部隊及狙撃兵ハ婁塘鎮南側ニ地物ヲ利用シテ深遠廣ニ配置セラレアルコト明トナレリ此頃師團司令部衛兵ハ司令部附近步兵大尉小越信雄ノ指揮ノ下ニ附近ノ殘敵ヲ掃蕩中前記ノ敵情ヲ知り大尉ノ獨斷ヲ以テ婁塘鎮南側ニ接スル敵狙撃陣地ヲ攻撃掃蕩セリ

二 師團長ハ砲兵掩護ノ爲步兵第十二聯隊第五中隊ノ半小隊ヲ配屬セリ

師團長ハ第一線ノ戰闘酣トナルヤ速ニ當面ノ敵ヲ擊破シテ嘉定ニ進出シ軍方面ノ敵退路ヲ遮斷スル爲
 師團本隊タル步兵第十二聯隊第二大隊第五中隊ノ一小隊及第七中隊欠ヲシテ婁塘鎮南側ヨリ顧家宅婁塘鎮南方五百米及魏家顧家宅西南方五百米方面ノ敵ヲ攻撃セシメ參謀步兵中佐平林盛人ヲ右追撃隊長ノ許ニ派遣シテ一部ヲ以テ當面ノ敵ニ對セシメ主力ヲ以テ速ニ左旋回ヲ行ヒ嘉定ニ急進スル如ク指導セシメタリ

附記

當時戰場ノ地形平坦ニシテ遠望ヲ許ササリシ爲第一線ハ不知不識ノ間ニ方向ヲ誤リ婁塘鎮西南方地區ヲ西南面シテ攻撃ヲ續行セリ

是ヨリ先步兵第四十三聯隊長ハ婁塘鎮ノ掃蕩略々終ルヤ諸報告ニ依リ約三、四百名ノ敵兵倪家宅婁塘鎮西方附近ニ進出セシヲ以テ聯隊長ハ先ツ之ヲ右第一線ト爲シ第三大隊ノ右ニ連繫シテ敵ノ左翼ヲ包圍スル如ク攻撃スヘキヲ命シ次テ同大隊ニ第七中隊一小隊ヲ復歸セシメ且曲射步兵砲一小隊ヲ配屬セリ

第三大隊ハ第十中隊一小隊ヲ復歸セシメ且曲射步兵砲一小隊ヲ配屬セリ第九中隊ノ右ニ増加シ機關銃中隊ヲ概ネ兩中隊ノ中間ニ配置シ侯家宅ノ敵警戒陣地ヲ奪ヒ續イテ侯家宅、陸家宅附近ノ主陣地ニ對シ攻撃ヲ開始ス此時敵ハ陸家宅方向ニ兵力ヲ増加シ動モスレハ逆襲ノ氣勢ヲ示シ第九中隊方面ノ戰闘漸ク困難トナリシヲ以テ大隊長ハ機關銃及步兵砲火ノ重點ヲ同方面ニ指向スルト共ニ第十中隊方面ヨリ銳意戰況ノ發展ヲ圖ル此頃第七中隊長大尉柳武正、一小隊欠亦大隊ノ右ニ連繫シテ侯家宅方向ヨリ宗家街侯家宅南方三百米ニ向ヒ攻撃シ山砲兵第三大隊ノ主力ハ西村宗家街西側附近ヲ制壓シテ步兵ノ攻撃ヲ援助セリ當時第三大隊ノ右ニ進出セシ第二大隊ハ古塘橋附近ニ於テ第六中隊長大尉小泉浩司ヲ右、第五中隊長大尉宮永一、一小隊欠ヲ左、機關銃中隊長中尉魚谷愛一及平射步兵砲分隊ヲ概ネ兩中隊ノ中間ニ展開シ先ツ張卜濟橋婁塘鎮西北、方一軒半、石家宅張卜濟橋東方四百米ノ線ニ在ル敵警戒陣地ヲ攻略シ陳宅張卜濟橋西南側、王家村同附近ノ敵ヲ一掃シテ敵ノ左翼ヲ包圍スル如ク攻撃ヲ續行中ナリ

附記 第二大隊長ハ正午過電話開通ト共ニ第七中隊一小隊欠ヲ復歸シ曲射步兵砲一小隊ヲ配屬スヘキ聯隊命令ヲ受領セシヲ以テ之ヲ中央後ニ招致スル如ク處置セリ

斯クテ戰況漸ク有利ニ發展シ午後一時三十分頃黃古塘村張卜濟橋西、南方一軒半、顧涇村黃古塘、村南側、倪家宅顧涇村、西

婁塘鎮西方
 南方地區
 二軒ニ點在スル各部落
 右追撃部隊
 主力ノ戰

嘉定古鎮
 師團司令部
 衛兵

村、彭家宅（家宅東南ノ線一帯ノ敵主陣地ヲ攻略シ各部落縁端ニ據リテ歩々抵抗スル敵ヲ擊破シツツ同方八百米）ノ線一帯ノ敵主陣地ヲ攻略シ各部落縁端ニ據リテ歩々抵抗スル敵ヲ擊破シツツ同二時三十分頃第二大隊ヲ以テ公塘村（公塘村東南ニ達セリ）、第三大隊ヲ以テ孫家村（公塘村東南ニ達セリ）、此戰闘間第一大隊（第二中隊ノ一小隊（砲兵掩護）ハ聯隊ノ豫備隊トシテ第三大隊ニ續行シ一時機關銃中隊ヲ同及第三中隊（旅團豫備隊）欠）ハ聯隊ノ豫備隊トシテ第三大隊ニ續行シ一時機關銃中隊ヲ同大隊ノ右ニ出シテ其攻撃ヲ支援セシメ爾後第一線兩大隊ノ中間ヲ公塘村東側地區ニ前進セリ聯隊長ハ午後三時頃右追撃隊長ヨリ嘉定ニ轉進スヘキ命令ヲ受ケ主力ヲ孫家村南側ニ集結シ爾後ノ前進ヲ準備セシメタリ

是ヨリ先右追撃隊長ハ午後二時頃豫備隊（步兵第四十三聯隊第三中隊）ト共ニ彭家宅（朱家橋北側）ニ達シ師團參謀（步兵中佐ヨリ嘉定方向ニ轉進スヘキ師團命令ヲ受領シ第一線ニ之ヲ傳フルト共ニ自ラ捷路ニ依リ朱家橋鎮ヲ經テ嘉定方向ニ進出スルニ決ス）

附記 平林參謀ハ爾後右追撃隊司令部ト行動ヲ共ニシ師團司令部トノ連絡ニ任シツツ嘉定ニ前進セリ

右追撃隊豫備隊タル步兵第四十三聯隊第三中隊（長大尉久）ハ朱家橋鎮ニ斥候ヲ出シテ搜索セシムルト共ニ以下挿當時同地東北方二百米附近（水濠北岸堤防）ニ在リシ第九中隊ノ一小隊ト連絡シテ進路附近ニハ一部敗殘兵アルニ過キササルヲ知り右追撃隊司令部ヲ護衛シツツ朱家橋鎮ニ疎開前進中同部落及其東側方向ヨリ射撃ヲ受ケタルヲ以テ中隊長ハ直ニ先頭ノ一小隊ヲシテ同地東北側水濠後岸ノ堤防ヲ占領シテ掩護射撃ヲ行ハシメ次テ一小隊ヲシテ其右方ヨリ該部落ヲ通過シテ其前端ニ進出セシメ爾餘ヲ指揮シテ司令部

朱家橋鎮附近ノ豫備隊ノ不備期

ト共ニ右小隊ニ續行シ敵彈ヲ冒シテ同地ニ進入シ更ニ一部ヲ東南端ニ前進セシム然ルニ主力ノ北部朱家橋鎮中央道路ヲ行進中突如兩側家屋不明ノ位置ヨリ急射撃ヲ受ケ死傷續出シ狀況頗ル急ナルモノアリシカハ中隊長ハ先ツ司令部ヲ西端安全地域ニ移シテ敵ノ據レル家屋ヲ攻撃セシム此頃同部落東南端ニ進出セシ小隊ハ其前方約二百米劉家涇東西ノ線ニ陣地ヲ占領セル機關銃少クトモ三挺ヲ有スル敵ノ射撃ヲ受ケタルノミナラス後方部落階上及屋上ヨリ背射ヲ被リ而モ部落内通視ヲ許ササル爲狀況判明セス頗ル苦境ニ陥ル中隊長ハ此小隊長ノ報告ニ依リ以上ノ狀況ヲ知ルト共ニ主力ノ部落内通過ハ徒ラニ損害ヲ招クノ不利アルヲ認メ先ツ同地北側ヨリ渡河攻撃セントシタレトモ附近ノ水濠徒渉ヲ許サザリシ故已ムナク手榴彈及擲彈筒ヲ以テ逐次家屋ヲ掃蕩シ且隨所ニ火災ヲ發生セシム敵兵遂ニ支フル能ハス三々五々部落ヲ棄テテ東方ニ敗走シ其大半ハ同地北側ニ在リシ我カ小隊ノ逐次狙撃スルトコロトナリテ潰滅ス斯クテ中隊ハ全力ヲ水濠後岸堤防及部落東南端ニ展開シ敵ヲ制壓シテ前進ニ移リ日没頃



劉家潭附近ノ敵兵ヲ悉ク嘉定方向ニ擊退シ主力ヲ集結シテ傷者ノ處置ヲ講シタル後聯隊ニ追及セリ
此戰闘ニ於テ豫備隊ハ戰死三名、負傷十名ヲ出セリ

婁塘鎮南
地方區ニ
於ケル師
團本隊ノ
戰闘

師團本隊タル步兵第十二聯隊第二大隊第五中隊ノ一小隊及第七中隊ハ婁塘鎮西北側ニ集結中午後一時三十分過
同地南側ノ敵ヲ攻撃スヘキ師團命令ヲ受ケ直ニ行動ヲ開始シ先ツ第六中隊一小隊、機關銃一小隊ヲ屬スヲ先行セシメ
テ進路上ノ障礙ヲ除去シツツ嘉定方向ニ前進セシメ主力ハ師團司令部ヲ護衛シツツ其後方約六百米ニ
在リテ續行ス然ルニ午後二時頃第六中隊ノ先頭婁塘鎮西南端橋梁ヲ通過セントスルヤ俄然其南側竹林
及堆土附近ヨリ急射撃ヲ受ケタルヲ以テ中隊長大尉 福永勇吉ハ獨力此敵ヲ攻撃スルニ決ス時ニ大隊長少佐
増田六郎亦更ニ蔡家宅婁塘鎮西南、蔡家宅東南、東方五百米ノ線附近及其後方北部楊家村、高家街婁塘鎮南方一軒當
時蔡家街ト誤稱ス
ノ線附近ノ陣地ヨリ我ヲ猛射スルヲ見全力ヲ展開シテ之ヲ攻撃スヘク第五中隊一小隊ヲ第六中隊
一小隊、機關銃一小隊ヲ屬スノ左ニ展開シテ敵ノ右翼ヲ包圍スル如ク攻撃セシメ機關銃中隊一小隊ヲシテ同中隊ニ協力セ
シムル如ク部署シ攻撃ノ重點ヲ高家街ニ指向セリ
兩中隊及機關銃中隊ハ南庵婁塘鎮南側附近ニ展開シ次テ敵ノ猛射ヲ冒シテ前進スルヤ顧家宅南庵南南東、方四百米北側
附近ノ敵兵退却シ其後方高家街附近ヨリ更ニ激烈ナル銃火ヲ注ク
午後三時第一線ハ高家街北方三、四百米附近ニ進出シ特ニ第五中隊長大尉 胡忠國ハ胡宅高家街東北側ヲ包圍スル如
ク前進セシニ敵兵動搖シ次テ逐次退却ヲ開始セシカハ大隊長ハ直ニ突撃ヲ命令ス乃チ兩中隊ハ號音ト

共ニ猛然高家街ニ突入シ忽チニシテ其南側ニ

進出セリ然ルニ敵ハ其後方水濠南岸ノ第二線

陣地ニ據リ巧ニ編成セル火網ニ依リ我ヲ掃射

シ特ニ第六中隊正面ニ於テハ小隊長特務曹長

三木恒太郎戰死以下死傷相次キ而モ敵陣地直前

ノ水濠幅十二米、深サ二米通過ヲ許サス剩ヘ彈藥缺乏セリ

是ニ於テ各兵ハ掩體ヲ構築シツツ敵前約二十米

ニ於テ或ハ敵ヲ狙撃シ或ハ手榴彈ヲ投シテ奮

戰シ敵亦我カ劣勢ヲ侮リテ容易ニ屈セス戰闘

頗ル激烈ヲ極ム此頃山砲兵第三大隊長少佐 横尾 關

ハ第七中隊長大尉 大野南海男ヲ婁塘鎮南側附近ニ推進

シテ此敵ニ對シテ制壓射撃ヲ開始セリ

此間第五中隊主力ハ逐次北部陳家宅高家街東南側ヨ

婁塘鎮附近ニ於ケル第十一師團司令部
前列向テ右ヨリ參謀長宅步兵大尉、參謀長宅步兵大佐、參謀長宅步兵大佐



リ敵ノ右翼ヲ包圍スル如ク攻撃シ師團豫備隊タリシ第六中隊ノ一小隊長少尉 久本正士ハ獨斷吳家宅高家街西南方五百米北側ヨリ迫リテ敵ノ左翼ヲ包圍ス斯クテ交戦數刻敵ハ遂ニ火力ニ依ル兩翼包圍ニ堪ヘス午後四時過陣地ヲ棄テテ潰走シ我ハ有效ナル追撃射撃ヲ集中シテ敵ニ相當大ナル損害ヲ與ヘタリ

此戦開師團長ハ第一線近ク進出シ側近ノ者敵彈ニ斃ルルノ危地ニ暴露シテ親シク戦闘ヲ指導セ

リ前頁寫眞参照

附記 師團幕僚亦終始第一線ニ出入シテ將兵ノ志氣ヲ鼓舞激勵スルトコロアリ又小越大尉ノ指揮スル師團司令部衛兵(約二分隊)ハ陸家村(蔣家村)ヲ掃蕩シテ朱屋窪ニ進出シ師團通信隊長步兵大尉堀佐吉(景行)亦一部ヲ以テ邵家宅(婁塘鎮東南方一軒半)附近ノ敵ヲ攻撃シテ師團司令部左側ノ掩護ニ任セリ

戦闘ノ成績

婁塘鎮附近ニ於テ我ト交戦セシ敵ハ遺棄屍體全戰場ニ於テ約百ヲ算スノ點檢、俘虜ノ訊問等ニ徴スルニ第四十七師第二旅及第七十八師第五百十六旅ニ屬スル少クトモ七、八百名ナルモノノ如シ
本戦闘ニ於ケル我カ損害步兵第四十三聯隊戦死九名、負傷三十三名内將校一名、步兵第十二聯隊第二大隊主力戦死六名、負傷六名、山砲兵第三大隊負傷三名、其他負傷二名ヲ算セリ

其二 嘉定ニ向フ追撃及嘉定ノ占領

右追撃隊主力ハ午後三時過孫家村朱家橋鎮西方一軒附近ニ隊伍ノ整頓終リタルヲ以テ步兵第四十三聯隊長ハ第三大隊ヲ嘉定ニ先遣シテ主力ノ前進ヲ掩護セシメ主力ハ本部、第二大隊、步兵砲隊、第一大隊ノ順序ヲ以テ同三時三十分楊武橋村ヲ經テ第三大隊ノ後方ヲ續行ス當時右追撃隊長ハ朱家橋鎮附近ニ於テ交戦

右追撃隊ノ轉進ノ嘉定附近ノ成績

中ナル第三中隊ヲ殘置シ楊武橋村ヲ經テ主力ニ追及中ニシテ聯隊長ハ第一大隊第一中隊ノ一小隊、第三中隊及機關銃中隊欠武橋村東南側ニ殘置シテ右追撃隊司令部ノ護衛ニ任セシメ主力ヲ以テ依然嘉定ニ向ヒ前進シ午後五時頃板橋嘉定西方三軒附近ニ於テ敵百數十名ノ略々我ト平行シテ白墻板橋東北方五百米附近ヲ東南方ニ退却中ナルヲ發見シ機關銃ヲ以テ之ヲ射撃セシメ同七時頃許家村嘉定西方二軒二百、龔宅許家村東北側附近ニ達シテ集結シ夜半十二時頃師團司令部ト連絡ヲ通セリ又第一大隊主力ハ日沒頃右追撃隊長ノ來著ヲ待ツテ主力ニ追及シ午後十一時頃集結地ニ到著シ第三中隊ハ同十一時朱家橋鎮出發嘉定ニ向ヘリ

師團本隊ノ嘉定附近ノ成績

師團長ハ午後四時二十分頃我カ飛行機偵察步兵中尉大楠正一、操縦少尉衣川悅司ニ依リ步兵第二十二聯隊ノ嘉定方向ニ前進中ナルヲ知り師團主力ヲ以テ該地ニ向フニ決シ師團本隊ノ一部步兵第十二聯隊第一、五、七中隊(一小隊欠)ヲ高家街ニ留メテ師團本隊司令部、步兵第十二聯隊第二大隊(第一、五、七中隊欠)及山砲兵第三大隊ノ轉進掩護並衛生隊ノ護衛ニ任セシメ同五時主力ヲ以テ高家街附近出發、婁塘鎮—嘉定道ヲ嘉定ニ向ヒ前進シ同八時乃至十時頃山砲兵第八中隊ハ夜十二時頃龔家橋嘉定西方北側、吳家庄附近ニ達セリ

附記 步兵第十二聯隊第五中隊(一小隊欠)及衛生隊ハ翌四日日沒後嘉定北端ニ於テ主力ニ合セリ

當時嘉定北門外街ハ火災ニ罹リ外濠ノ橋梁燒失シテ入城スルヲ得サリシヲ以テ師團長ハ同地附近ニ位置シテ左右兩追撃隊トノ連絡ニ勉メ夜半マテニ右追撃隊及步兵第二十二聯隊ト連絡スルヲ得タリ

左追撃隊
ノ嘉定東
ノ澄橋鎮北
ノ澄橋鎮出
ノ澄橋鎮附
ノ澄橋鎮占
領

二日夜順宅^{澄橋鎮北}附近ニ於テ夜ヲ徹セシ左追撃隊主力ハ三日拂曉後上海方向ニ熾ナル砲聲ヲ聞クト共ニ婁塘鎮方向ニ當リ緩徐ナル銃聲ヲ耳ニス當時霧深クシテ通視十分ナラサリシヲ以テ左追撃隊長^{大佐}中村ハ師團主力方面ニ連絡者^{第二中隊ヲ一分隊}ヲ出シテ此狀況ヲ確メシメ午前十時頃第一大隊^{第二中隊欠、步兵}砲^{中隊欠}ヲ屬スヲ前衛、其他ヲ本隊^{本部、第二、第七中隊}トシテ澄橋鎮ヲ經テ嘉定ニ向ヒ前進ヲ開始セリ

午前十一時過前衛ノ先頭徐家行^{澄橋鎮北}方^{一分隊}ニ達セシトキ曩ニ嘉定附近ノ敵情搜索ノ爲派遣セシ將校斥^{第三中隊ノ一小隊}候^{長少尉江藤五郎}ヨリ嘉定ハ高サ約十米ノ城壁ヲ有シ東門附近ニハ機關銃ヲ有スル少クトモ五百名ノ敵アル旨ノ報告アリ依テ前衛司令官^{少佐}荒木正ニハ尖兵中隊ノ暴進ヲ戒メツツ依然前進ヲ續ケ同十一時四十分澄橋鎮北端ニ達シ第一中隊ノ一小隊ヲ同地南端ニ出シテ南方ニ對シテ警戒セシム此時既ニ尖兵中隊^{第三中隊 大尉 阿南三郎}ハ嘉定方向ニ激烈ナル小銃及機關銃聲ヲ耳ニシ同中隊江藤將校斥候ノ危急ヲ察シ

獨斷之カ救援ノ爲中隊ヲ提ケテ急進シ澄橋鎮西端ニ西面シテ展開シ折柄東門街東端附近ニ於テ近ク嘉定東方ノ敵ト交戦中ナル同斥候ノ右ニ進出セリ

左追撃隊長ハ前記ノ狀況ヲ知り直ニ前面ノ敵ヲ攻撃スルニ決シ前衛^{步兵砲ノ殘部ヲ増加ス}第一線、第二、第七中隊ヲ豫備隊トシテ午後二時頃ヨリ攻撃ヲ開始セシム

前衛司令官タリシ第一大隊長ハ地形上正面ヨリ攻撃スルノ不利ニシテ將來南方或ハ北方ヨリ迂回スル要ヲ認メ先ツ敵前近ク進出セル第三中隊ヲ離脱セシムル爲午後一時頃機關銃中隊及平射步兵砲一分隊ヲ澄橋鎮西方約三百米附近ノ堤防上ニ配置シテ掩護射撃ニ任セシメ第一中隊ヲ澄橋鎮西端ニ集結シ次テ曲射步兵砲一小隊ヲ第三中隊ノ後方近ク進メ東門内及圍壁上ノ敵ヲ制壓セリ^{爾後第三中隊ノ後退ヲ中止セシム}當時城内及東門街ハ火ヲ發シテ近接ヲ許サス

午後三時頃左追撃隊長ハ午前以來婁塘鎮方向ノ銃砲聲ニ依リ右追撃隊ノ未タ豫定ノ線ニ進出セサルヲ知リ暫ク現在地ニ於テ嘉定ノ敵ヲ監視シツツ右追撃隊及配屬砲兵ノ來著ヲ待ツニ決シ之ニ關スル所要ノ命令ヲ下達シ豫備隊ヲ澄橋鎮ニ集結セシカ夕刻ニ至レトモ右追撃隊及師團本隊ト連絡スル能ハス加之南門方向ニ派遣セシ斥候ノ搜索ニ依レハ城壁外側ニハ深サ少クトモ八米ノ水濠アリ東門ヨリ南門ニ至ル城壁上ニハ敵兵盛ニ工事中ニシテ城外ニモ散兵壕アリテ敵兵之ニ據リテ射撃中ナルカ如クナリシヲ以テ爾後ノ攻撃ヲ準備シツツ夜ヲ徹スルニ決シ同五時頃命令ヲ下シ第一大隊^{第二中隊(一小隊)}ヲシテ現在ノ線^{澄橋鎮西端ヨリ其東南方ニ互ル線}ヲ守備シ敵ノ出撃及便衣隊ノ活動ニ對シ嚴ニ警戒シ且敵情ヲ搜索セシメ爾餘ノ諸隊ヲ澄橋鎮西側ニ露營セシメタリ^{本日ノ戦闘ニ於ケル損害負傷一名トス}

第一大隊ハ午後七時頃配備ヲ完了シ^{第三中隊ヲ約二百米後退セシム}工事ヲ實施シ警戒ヲ嚴ニシテ夜ヲ徹セリ

午後三時頃嘉定南方馬陸鎮附近ニ於テ原所屬復歸ノ命ヲ受ケタル步兵第二十二聯隊ハ依然北進ヲ續行中聯隊長^{大佐 山脇正隆}ハ第九師團ノ騎兵斥候ヨリ前後二回ニ互リ「嘉定城壁上ニ敵ノ守備兵アリテ進入スルヲ得サル」旨ノ通報竝石岡門^{嘉定東南方三軒半(附圖第二十二參照)}附近ニ於テ午後四時頃「嘉定東西兩城門附近ニハ各々五

步兵第二
十二聯隊
ノ嘉定占
領

十名ノ敵兵アリ又約二百名ノ敵ハ西方ニ退却中ナル旨ノ通報ニ接ス此間前衛^{第三大隊}ハ石岡門附近ニ在リシ四、五十名ノ敵ヲ驅逐シテ同五時稍、過嘉定南門ニ達セシニ城門堅ク鎖シテ城内静肅ナルノミナラス斥候^{第十中隊ノ中隊}ノ報告ニ依レハ西門附近ノ敵亦退却セルカ如キヲ以テ前衛司令官^{少佐 奥島盛憲}ハ第九中隊ヲシテ西門ヲ占領セシムルト共ニ尖兵中隊^{第十一中隊}ニ南門ノ占領ヲ命ス乃チ同中隊ノ斥候^{軍曹 石橋真一、中嶋克夫}ハ率先城門ノ側壁ヲ攀チ前衛司令官亦傳令ト共ニ之ニ隨ヒテ城内ニ入り門ヲ開キテ之ヲ占領ス時ニ午後五時三十分ニシテ夕陽將ニ没セントシ城門高ク掲ケタル日章旗ニ反映セリ^{挿繪 参照}西門ニ前進セル第九中隊^{長 大崎 吉岡 頼勝}ハ同五時四十分同門ニ達シ退却中ナル騎兵七、八騎、歩兵十數名ト遭遇シ其大半ヲ撃滅シ一名ヲ捕ヘテ同門ヲ占領セリ

聯隊長ハ前衛ノ南門ヲ占領スルヤ主力ヲ率キテ同所ニ來リ諸隊ヲ部署シテ同地附近ニ集結シ警戒配備ヲ取ラシメ舊前衛タル第三大隊ノ一部ヲ以テ北門ヲ占領セシメタリ

第三大隊長ハ第十一中隊、第九中隊ヲ以テ夫々南門及西門ヲ確保セシメ自ラ第十中隊ヲ率キテ城内ヲ掃蕩シツツ知事公署^{城内中 央附近}ヲ占領シタル後日没頃北門ニ進出セシニ適、北門外ニ來リ會セル師團通信隊ノ一部^{第三小隊(長少 尉 天羽重吉)}ト連絡スルヲ得タルヲ以テ第十中隊ノ一分隊ヲ北門ニ殘シ該師團通信隊員ヲ誘導シテ主力ノ位置ニ歸還セリ

此頃城内南門西北方約六百米ノ畑地ニ敵野砲一門陣地進入中ナルノ報告アリシヲ以テ聯隊長ハ第二大

歩 兵 第 二 十 二 聯 隊 ノ 嘉 定 占 領



(英面説明参照)

午後五時過步兵第二十二聯隊ノ前衛ヲ指定シ
 二連ノ將ニ南門ヲ占領セシムルニ狀況ヲ示
 ス
 城壁ヲ攀登中ナルハ石橋・中島兩軍曹ノ斥候
 ニシテ先頭ヨリ七人日ハ前衛司令官奥島少佐
 ナリ而シテ城門壁上ニ揚クアルハ排口ノ奪取ト
 ス

隊ヲシテ之ヲ攻撃セシメ南門附近ニ在リシ第一機關銃隊及歩兵砲隊ヲシテ城壁上ヨリ之ヲ支援セシム
 是ニ於テ第二大隊長^{少佐}土屋晴民ハ第七、第五中隊ヲ第一線、第六中隊ヲ豫備隊トシ機關銃中隊ヲ城壁上ニ
 配置シ同六時三十分攻撃前進ニ移リ敵前約三百米ニ達スル頃四邊漸ク暗ク敵兵我カ近接ヲ知リテ周章
 砲ヲ棄テ闇ニ紛レテ逃走セシヲ以テ大隊ハ野砲二門、輓馬六頭ヲ鹵獲セリ
 斯クテ聯隊ハ城内南半部ヲ完全ニ掃蕩シ一部ヲ以テ各城門ヲ守備セシメ警戒ヲ嚴ニシ南門内ニ於テ夜
 ヲ徹セリ

午後八時頃聯隊本部附近ニ開設セル師團通信隊無線通信所ト師團司令部トノ連絡完了シ茲ニ聯隊ハ師
 團長ノ隸下ニ復歸セリ
 嘉定ニ在リシ敵ハ第六十一師ノ一部ニシテ午後三時頃マテ城内ニ在リシモノノ如ク 兵力一萬ト稱シ
 或ハ二萬ト號ス 城内
 平穩ニシテ殘留ノ住民我ニ敵意ヲ示サス

此日聯隊ノ死傷者ナシ

師團ノ後續隊主力ハ二十九日詔間港ニ於テ生駒丸、ふらんす丸、神降丸、昭久丸ニ分乘シテ正午乃至
 午後三時ノ間同港ヲ出帆シ三日午前十時頃ヨリ逐次七了口 實稱七
 Y口 沖ニ到着シ生駒丸ニ搭乘セル歩兵第
 十旅團司令部及歩兵第十二聯隊第三大隊ハ同日午後三時ヨリ上陸ヲ開始シ同八時完了、旅團長少將稻
 垣孝照ノ指揮ヲ以テ同十時三十分七了口出發 砲兵掩護ノ爲第十中
 隊ノ一小隊ヲ殘置ス 儀橋附近ニ於テ休止シ其他ノ部隊ハ概ネ

師團後續
 隊ノ七了
 口到着

七了口沖ニ於テ乗船ノ儘待命セリ

第三節 三月四日ノ狀況

第一款 上海派遣軍司令官ノ部署 附圖第二十二參照

軍飛行隊
第十一師團
方面ノ敵
狀況

前夜來第十一師團方面ノ狀況不明ナリシヲ以テ軍飛行隊長ハ三月四日午前七時特ニ飛行第二大隊ニ命シテ速ニ同師團ト連絡セシムルトコロアリ然ルニ是ヨリ先飛行第一中隊ノ一機偵察航空兵大尉福澤丈夫、ハ嘉定上空ニ到リ前夜ノ軍命令ヲ投下スルト共ニ同師團ノ報告ヲ釣取リテ同八時四十分頃歸來セリ
右報告ニ依リ軍司令官ハ第十一師團ハ昨三日婁塘鎮附近ニ於テ數百名ノ敵ト激戦ヲ交ヘ之ヲ擊退シタル後夜ニ入り嘉定北門外ニ達シ同地ニ集結シ次テ步兵第二十二聯隊嘉定入城ヲ掌握シ本四日早朝嘉定ヲ確實ニ占領セルヲ知ルヲ得タリ

此日軍飛行隊ハ前夜ノ軍命令ニ基キ依然搜索ヲ續行シ飛行第二大隊ヲ以テ常熟、蘇州、嘉興ヲ連スル線ハ以東ノ地域ニ於ケル敵情特ニ其動靜竝第十一師團ノ右側及滬杭甬鐵道ニ沿フ地區ノ敵情ヲ搜索シ獨立飛行第三中隊ヲ以テ前記地域内ニ於テ適時威嚇飛行ヲ實施セシカ敵ハ「フオンド」嘉定南西方圖第二十參照ヨリ黃渡鎮黃渡鎮西南方四ニ互リ陣地ヲ占領シ其一部約百ハ安亭鎮黃渡鎮西ニ集合シアルヲ發見シタルヲ以テ午前九時二十分ノヲ軍司令官ニ報告セリ

附記 此報告ハ主トシテ飛行第二中隊ノ一機(偵察航空兵中尉立花四郎、操縦軍曹長嶋幸治)ノ齎セルモノトス

黃渡鎮附近ノ敵情
軍司令官ノ部署

軍司令官ハ右ノ狀況ニ基キ第九師團ノ一部ヲシテ黃渡鎮附近ノ敵ヲ驅逐シテ第十一師團ノ「ハツコン」嘉定西南西方六軒外圍鎮ニ相當スレト當時ノ十萬分一圖ニハ嘉定西北西方約十軒ノ位置ニ記載セラレアリ(附圖第五參照) 占領部隊當時第十一師團ノ同地ヲ占ト連繫セシメ軍飛行隊ヲシテ其攻撃ニ協力セシムルニ決シ同九時三十分頃之ニ關スル所要ノ命令ヲ下達セリ

附記 此命令ハ軍用電話ヲ以テ第九師團司令部ニ傳達セラレタリシカ不明ノ原因ニ依リ早クモ部外ニ漏レ四日午後「ジュネーヴ」ニ打電セラレ支那及英米ハ之ヲ以テ軍力其停戰聲明ヲ裏切ルモノナリトシテ我ヲ不利ニ陷レントセリ依テ軍司令部ヨリ「黃渡鎮」ハ我カ警戒線ナルヲ以テ之方占據ヲ命シタルモノニシテ攻撃ニアラサル旨ヲ公表セリ

第九師團
第十師團
第十一師團
第十二師團
第十三師團
第十四師團
第十五師團
第十六師團
第十七師團
第十八師團
第十九師團
第二十師團

右命令ニ基キ第九師團ハ步兵第三十五聯隊及山砲兵一大隊ヲ基幹トスル一支隊德野ヲ黃渡鎮附近ニ派遣シテ夕刻マテニ同驛附近ヲ占領シ主力ハ依然南翔鎮、江橋鎮及眞茹鎮ノ守備ニ任セリ
第十一師團主力ハ此日嘉定附近ニ兵力ヲ集結シ午後嘉定入城式ヲ行フ
吳淞守備隊長歩兵第四十四聯隊ハ正午頃主力ヲ吳淞砲臺南側ニ集結シテ寶山ニ向ヒ午後二時頃同地ヲ占領シ次テ第二中隊ノ一小隊長少尉安江辨吉、午後一時三十分寶山出發ハ同三時三十分頃敵ヲ見ルコトナク獅子林砲臺寶山西北ヲ占領セリ同小隊ハ夕刻寶山ニ歸來ス

附記 偵察飛行第一中隊ハ此日東溝灘飛行場ノ設備並飛行機ノ整備ヲ行ヘリ

第二款 第九師團方面ノ狀況 附圖第二十八參照

第九師團及混成第二十四旅團ノ諸隊ハ其守備地ニ在リテ戰鬪後ノ諸整理ヲ行フ

德野支隊
ノ集合

此日步兵第三十五聯隊主力及山砲兵第一大隊ハ朝來戦闘後ノ諸整理ヲ行ヒアリシカ午前十時頃緊急
集合ノ命令ニ接シ正午頃マテニ南翔驛附近ニ集合シ次テ步兵第三十五聯隊第一大隊 砲兵掩護ノ爲大場鎮ニ
在リシ第二中隊ハ正午

南翔鎮ニ到着直
ニ大隊ニ復歸ス 亦所屬ニ復歸セリ

附記 當時山砲兵第一大隊ハ彈藥補充ノ爲後方ニ所要ノ人馬ヲ派遣シアリテ砲手約三十名ノ缺員アリ

德野支隊
ノ前進

支隊長ハ前記飛行機ノ通報ヲ受クルヤ爾後ノ前進ヲ顧慮シ所要ノ命令ヲ下達セシカ恰モ午後一時三十
分騎兵中隊ヨリ前記黃渡驛附近ニ於テ敵ノ射撃ヲ受ケタル旨ノ報告ヲ受領シ同時旅團長ヨリ前進ノ命
令ニ接シタルヲ以テ同一時五十分行動ヲ開始シ第二大隊 曲射步兵砲一小隊、平
射步兵砲一分隊ヲ屬ス ヲ前衛トシテ陳家宅 南翔鎮西
方一軒半 東鮑家宅 陳家宅西
北方一軒 陸家巷 東鮑家宅西
北方一軒 道ヲ、又第十一中隊ヲ左側衛トシテ鐵道線路上ヲ夫々陸家巷、
楊家塘 陸家宅南方
一軒八百 ニ向ハシメ本隊 通信班、本部、步兵第三大隊(第十一中隊欠)步兵砲
隊(中隊欠)山砲兵第一大隊、步兵第一大隊ノ順序 ヲシテ前衛ノ後方三百米 但通信班
後尾ニ ナ續行セシム

德野支隊
ノ前進
及附近古
河

午後四時頃支隊ハ敵ヲ見ルコトナク前衛ヲ以テ陸家巷西端ニ、主力ヲ以テ其東側畑地ニ達シ敵情地形
ヲ搜索ス此頃左側衛ハ黃渡驛附近ニ達シ同驛ニ在リシ一部ノ敵ヲ驅逐シテ之ヲ占領ス而シテ此前進間
我カ飛行機 偵察砲兵大尉大島武彦、
操縦 曹長牛谷美好 ハ山砲兵ノ爲前進路ヲ指示シテ其行進ヲ容易ナラシメタリ
支隊長ハ搜索ノ結果鹽鐵河對岸ノ陣地ニ敵兵ナキヲ知り同四時四十分更ニ同河ノ線ニ向ヒ前進ヲ命シ
前衛ハ續イテ洋河濱 陸家巷西、
南方一軒、南灣 洋河濱西
南方七百米 ヲ經テ東金家村 南灣北北西
方一軒三百 ニ向ヒ前進セリ

黃渡驛
附近野戰
陣

附記 前衛ノ洋家濱、南灣方向ヨリ迂回セシハ道路特ニ良好ナリシニ因ル

然ルニ同五時頃尖兵中隊 第七
中隊 ノ先頭洋家濱ニ達スルヤ突如西南方北楊村及高墩頭方向ヨリ小銃射撃ヲ
受ク同時中隊長 大尉
幸道貞治 ハ黃渡驛西方一帶ノ村落ニ百餘名ノ敵兵アルヲ發見セシヲ以テ直ニ之ヲ報告ス
ルト共ニ洋河濱西南端ヲ占領シテ前衛ノ展開ヲ掩護ス同時前衛司令官 少佐
井井虎二郎 亦此狀況ヲ知り先ツ尖
兵中隊ニ機關銃一小隊ヲ增加シテ北楊村方向ニ攻撃セシメ次テ前衛ノ主力ヲ以テ南灣ニ向ハシメ砲兵
ニ協力ヲ要求シ尙副官 代理中尉
岡田 穣 ヲ左側衛ニ派遣シテ連絡セシムルトコロアリ

支隊長ハ陸家巷附近ニ在リテ前記ノ狀況ヲ知り直ニ前衛ニ攻撃前進ヲ命シ山砲兵第一大隊長 少佐
石原忠重 ノ
意見其中ニ基キ取敢ス其一中隊 第二
中隊 ヲシテ洋河濱北側ニ陣地ヲ占領シテ前衛ノ戰闘ニ協力セシメ第三
大隊ニ命スルニ將來ノ進出ヲ顧慮シテ東金家村方向ヲ偵察スヘキヲ以テセリ

山砲兵第二中隊 長大尉
高橋寛治 ハ大隊長ノ命ニ依リ先ツ鐵道橋西側ノ掩蓋ヲ破壊シ次テ北楊村西側森林ニ據レ
ル敵ヲ制壓ス同五時十分大隊長ハ更ニ第一中隊ヲ第二中隊ノ北側ニ出シ全力ヲ擧ケテ葛家宅 北楊村西
北方一軒
側ヲ退却スル密集部隊ヲ射撃シ續イテ馬家村 北楊村西南
西方一軒半 ニ集結中ノ部隊ヲ制壓潰走セシメタリ

此間舊前衛タル第二大隊ノ第一線ハ逐次敵火ヲ冒シテ前進シ砲兵及機關銃火ノ援助ノ下ニ敵ノ抵抗ヲ
排除シ第七中隊ヲ以テ鐵道橋東端ニ、第六中隊ヲ以テ南灣西端ニ進出ス時ニ日没シテ四邊漸ク暗黒ト
ナリシカトモ敵火益々激シ

左側衛タル第十一中隊ハ薄暮黃渡驛附近ヨリ前進ヲ起シテ午後七時三十分高墩頭ヲ占領シ騎兵第一中隊ハ依然楊家濱ニ位置シテ敵情地形ヲ搜索セシカ前面ニ水濠アリテ行動ヲ許ササルヲ以テ獨斷支隊ノ左側ヲ掩護スルニ決シ同夜同地ニ宿營セリ

支隊長ハ午後六時三十分概ネ前記ノ狀況並斥候長第十中隊特務曹長廣瀬榮佐ノ報告ニ依リ東金家村附近ニ敵ナキヲ知リ鹽鐵河右岸ノ線ヲ占領シテ夜ヲ徹スルニ決シ第三大隊第十一中隊ヲ復歸シ步兵砲中隊ヲ屬スヲ南灣附近ニ増加シテ「支隊」ノ左側ヲ掩護スルト共ニ前面ノ敵情地形ヲ搜索スヘキヲ命シ第一大隊ヲ率キテ洋河濱北側ニ移レ

此頃第七中隊ハ鐵道橋ヲ挾ミ敵ト三、四十米ノ距離ニ相對峙シテ射撃ヲ交換中小隊長少尉栗原經忠ハ機ヲ見テ率先小隊ヲ提ケ我カ砲兵ノ破壊セル鐵道橋上纜ニ殘レル軌道ヲ渡リテ前岸ニ突入シ手榴彈ヲ掩蓋ニ投シ敵十數名ヲ斃シテ之ヲ奪取セリ然ルニ午後八時頃突如數十名ノ敵兵西方鐵道線路上ヨリ逆襲シ來リシカハ小隊ハ至近ノ距離ニ於テ一旦之ヲ擊退セシカ少クトモ百名ノ敵ノ一團ハ再ヒ同方向ヨリ殺到シ來リシヲ以テ直ニ應戰シ相當大ナル損害ヲ與ヘテ之ヲ擊退セリ

附記 最初敵兵近接セル際小隊長ハ彼我識別ノ爲「富山」ヲ連呼シタルニ敵兵「帝國」ト答ヘシヲ以テ小隊長ハ敵ナルヲ察知シ一齊ニ之ヲ猛擊シ直ニ擊退セリ

中隊長大尉幸道貞治ハ爾後敵ノ逆襲ヲ顧慮シテ輕機關銃及擲彈筒ノ全部ヲ指揮シテ前岸ニ移リシカ同九時頃

一旦退却セル敵ハ南方ニ迂回シテ不意ニ中隊主力ヲ側射シ特務曹長上田善治、曹長小林長太郎以下數名ノ死傷ヲ生シ後方トノ交通全ク遮斷セララルルニ至リ鐵道橋東岸ニ在ル中隊ノ殘員ハ火力ヲ以テ此敵ト交戦セリ

第二大隊長ハ南灣ニ在リテ第七中隊苦戰ノ報告ヲ受ケタレトモ大隊主力ト同中隊トノ間ニ水濠北楊村北側ヲ概ネ東西ニ通スアリテ赴援スル能ハサリシヲ以テ同九時頃當時北楊村ニ在ル第三大隊ヲシテ増援セシメラレタ

キ旨電話ヲ以テ聯隊長ニ意見ヲ具申スルト共ニ第六中隊ヲ南灣西端ニ展開シテ火力ヲ以テ第七中隊ノ右側方面ノ敵ヲ制壓セシメタリ

附記 是ヨリ先第六中隊長ハ第七中隊苦戰ノ報ヲ聞クヤ大隊長ノ手裡ニ増援ノ兵力ナキヲ察シ獨斷陣地ニ一小隊ヲ殘シ主力ヲ以テ鐵道橋附近ニ前進セシカ敵兵既ニ退却セルヲ知リタルヲ以テ即時歸還セリ

支隊長ハ右報告ヲ受クルヤ第三大隊ヲシテ直ニ之ヲ救援セシメ山砲兵第一大隊ヲシテ阻止射撃ヲ行ハシム是ニ於テ山砲兵第一大隊ハ午後九時三十分ヨリ馬家村ニ向ヒ晝間準備セル諸元ニ基キ發射速度ヲ増大シテ集中射撃ヲ實施セリ

第三大隊主力ハ日沒後陸家巷出發、北楊村ニ前進シ第一線ト連絡中同九時十分頃第七中隊ノ鐵道橋前岸ニ進出シテ優勢ナル敵ノ逆襲ヲ受ケ今ヤ危險ニ瀕シアルノ第二大隊通報ヲ受領セシカハ大隊長少佐板津直俊ハ之ヲ赴援スルニ決シ直ニ鐵道橋ニ急進シ機關銃中隊ヲ同橋梁東南側ニ出シテ第七中隊ノ第一線ヲ側射中ナル敵ヲ射撃セシムルト共ニ曲射歩兵砲小隊ヲシテ馬家村ニ向ヒ射撃ヲ開始セシメタリ時ニ我カ

山砲兵第一大隊亦城ニ馬家村附近ニ砲火ヲ集中シテ敵ヲ制壓セシヲ以テ敵兵遂ニ退却ヲ開始シ午後十
一時頃マテニ全ク其影ヲ沒セリ

附記 第七中隊後方ノ交通斷絶セル際中隊長ハ鐵道橋下ニ架橋セントシタレトモ水濠ノ幅廣ク且附近ニ利用スヘキ材料ナク其處
置ニ窮セシニ適、上等兵古田増藏ノ機智ニ依リ傍ノ電柱ニ木ヲ切倒シテ架橋ヲ完成シ死傷者ノ後送、爾後ノ後退等ニ多大ノ便益
ヲ得タリ

支隊長ハ第三大隊長ノ意見具申ヲ參酌シ主力ヲ東金家村北方地區ヨリ指向スルニ決シ午後十一時三十
分先ツ第三大隊ノ一部第十中隊(二小隊欠、第二、第三)ヲ以テ鐵道橋ヲ守備セシメ其主力及第七中隊ヲ北楊村
機關銃中隊ノ各一小隊ヲ屬スニ後退集結セシメ騎兵第一中隊ヲシテ依然支隊ノ左側ヲ掩護セシムル如ク部署ス當時支隊長ハ諸報告
ヲ綜合シテ鐵道線路以北鹽鐵河西岸陣地ノ線ニハ尙機關銃ヲ有スル二百餘名ノ敵アリテ其左翼ハ葛家
宅附近ニ在ルヲ知り五日朝敵ノ左翼ヲ包圍スル如ク攻撃スルニ決シ夜十二時過命令ヲ下シ第二大隊步兵
砲中隊ヲシテ南灣ヨリ鐵道線路ニ互ル間ニ於テ渡河ヲ準備セシメ第三大隊
現在ノ第一線ヲ第七
中隊ト交代セシム及第一大隊
歩兵砲中隊ヲシテ午前六時マテニ湯頭村南灣北
方一軒ニ集結セシメ山砲兵第一大隊ヲシテ同時マテニ同村附近ニ
陣地ヲ占領シテ主トシテ葛家宅附近ニ火力ヲ準備セシメ尙騎兵第一中隊ヲシテ五日早朝行動ヲ起シ主
力ヲ以テ方秦鎮附近ヲ搜索シ且在外岡鎮第十一師團ノ一部ト連絡セシムル如ク部署セリ

附記 第三大隊ノ第一線タル第十中隊ノ一部ハ午前二時三十分頃第七中隊ノ一部ト交代シ同三時三十分大隊ニ復歸シ次テ舊左側
崗タル第十一中隊モ大隊ニ復歸ス

然ルニ爾後搜索ノ結果當面ノ敵兵既ニ退却セルカ如キヲ以テ前企圖ヲ變更シ主力ヲ北楊村及洋河濱附
近ニ集結シテ爾後ノ行動ヲ準備スルニ決シ五日午前三時三十分命令ヲ下シテ諸隊ノ行動開始ヲ待タシ
メ騎兵第一中隊ヲシテ主力ヲ以テ鐵道線路方向、一部ヲ以テ黃渡鎮方向ヲ搜索セシメタリ

黃渡驛附近ニ於テ我ト交戦セシ敵ハ新來ノ五、六百名ナルカ如ク後方村落ニハ尙多數ノ軍隊休宿中ナ
リト稱ス俘虜ノ言
ニ依ル而シテ敵ノ戰場附近主トシテ鐵
道橋西側ニ遺棄セル屍體二十餘内將校ノ屍
體ニアリニシテ本戦闘ニ於ケル我

カ損害ハ准士官以下戦死、負傷各、四名、消費彈藥小銃、輕機關銃彈一萬六千九百七十八發、機關銃
彈一萬二百八十一發、拳銃彈百六十五發、手榴彈二百二十九發、曲射歩兵砲彈六十六發、山砲榴彈百
五十四發、同榴霰彈百一發トシ我ノ得タル俘虜三名ノ外鹵獲品ノ主ナルモノ自動車一輛、小銃二十五
挺ナリ

師團長ハ黃渡鎮附近ノ戦闘ニ際シ四日午後三時師團參謀步兵少佐
川並密ヲ派遣午後七時
頃歸還スシテ戦況ヲ視察セシメ同
方面ノ狀況尙兵力ヲ減少セシメ得ルヲ知リタルヲ以テ同十時德野支隊ニ對シ「當面ノ敵ヲ擊攘セハ歩
兵一大隊、騎兵中隊、山砲兵一中隊ヲ黃渡驛西方地區ニ殘置シテ崑山方向ニ對シ警戒スルト共ニ在外
岡鎮第十一師團ノ部隊ト連絡セシメ主力ハ原守備地ニ歸還スヘキ」ヲ命令筆記
送付セリ

附記 德野支隊ニ對スル補給ハ支那軍ノ殘置セル藥車二臺ヲ利用シテ鐵道ニ依リ實施セリ
此日師團尙餘ノ部隊ハ一部宿營地ノ移動ヲ行ヒ次テ守備勤務ニ移レリ

黃渡驛附
近ニ於ケル
戦闘ノ成績

德野支隊
主力撤退
ニ關スル
師團長ノ
部署

四日ニ於
ケル師團
全般ノ態
勢

德野支隊
主力ノ南
進ヲ阻
礙スル
爲メ
黃渡支
隊ヲ遣
置

五日午前六時德野支隊長ハ主力撤退ニ關スル師團命令ヲ受領シ次テ第一線ヨリ前面ノ敵兵確實ニ退却セルノ報告ニ接セリ

附記 第七中隊ノ斥候(長上等兵古田増藏)ハ午前三時三十分出發、西楊家宅(鐵道橋西北方一軒)ニ到リ附近ノ村端ニ陣地アレト敵ナキコト(宿營地ノ跡ヨリ判斷スレハ敵ハ未明倉皇トシテ退却ヲ開始セルカ如シ)ヲ確メ且一名ノ俘虜ヲ獲テ同六時頃歸來報告セリ

依テ支隊長ハ第二大隊步兵砲中隊、騎兵第一中隊(二小隊欠)、山砲兵第一中隊ヲ屬スヲ殘置シ之ヲ黃渡支隊ト爲シ主力ハ午後一時洋家濱出發、同三時南翔驛著直ニ警戒配備ニ移リ同四時過完了セリ

黃渡支隊ハ爾後北楊村、魯家村北楊村南ノ線ニ陣地ヲ構築 山砲兵第一中隊ハ黃渡驛西北側ニ陣地ヲ占領シテ守備ニ任セリ

附記 黃渡支隊ハ三月八日午前十時三十分來著セル步兵第二聯隊第三大隊(山砲兵一中隊ヲ屬ス)ト守備ヲ交代シ午後二時出發、同三時四十分南翔驛ニ到着、同時支隊ノ編組ヲ解カル

第三款 第十一師團方面ノ狀況

左追撃隊
ノ嘉定入
城

三日夜嘉定東側ニ於テ夜ヲ徹シタル左追撃隊ハ未明斥候ヲ出シテ嘉定ノ狀況ヲ搜索セシメシカ拂曉頃第一中隊長大尉 昇ハ自ラ一部ヲ率キテ獨斷東門西北方約四百米附近ノ城壁ヲ攀登シテ敵ナキヲ確メ中隊主力ヲ招致シテ該地附近ヲ占領セリ然ルニ東門東南側小木橋附近ニ前進セル第二中隊ノ斥候長少尉 河野正夫ハ敵ノ殘兵十數名ノ射撃ヲ受ケテ斥候長員以下四名ノ死傷ヲ生セリ
第一大隊ハ以上ノ狀況ヲ知ルヤ聯隊長ヨリ第二中隊機關銃一小ノ復歸ヲ受ケ同中隊ヲ屬スヲシテ此敵ヲ攻

師團主力
ノ嘉定入
城

撃セシムルト共ニ第三中隊機關銃一小ヲ率キテ午前八時三十分頃東門ニ到リシニ該地ノ既ニ步兵第二十二聯隊ノ有ニ歸シアルヲ知リ直ニ城壁ニ沿ヒ第二中隊ノ攻撃ニ協力シツツ嘉定東側ニ接スル諸部落ヲ掃蕩シテ同十時頃南門ニ達シ聯隊長亦東門ニ進出シテ其附近ニ兵力ノ集結ヲ命シ山砲兵第三大隊掩護ニ任セ頃復歸セリ 第七中隊ヲシテ嘉定北側ノ諸部落ヲ掃蕩セシメ步兵第二十二聯隊及師團司令部ト連絡セリ

嘉定西側ニ進出セル師團主力各隊ハ朝來隊伍ヲ整ヘテ嘉定入城ノ準備ヲ爲シ西方ニ諸斥候ヲ派遣シ敵情ヲ搜索シテ爾後ノ前進ヲ準備中師團長ハ午前十一時守備ニ關スル軍命令三日午後四時發上軍作命甲第十一號(第九八六頁參照)ヲ受領シ之ニ基キ午後一時師團命令ヲ下シテ配備ニ就カシメ午後五時各隊步兵第二十二聯隊ヲ除クノ代表部隊各司司令部及步兵一部、其他ノ部隊ハ長以下所要ノ人員ヲ隨ヘテ堂々北門步兵第十二聯隊ハ東門ヨリ入城式ヲ行フヲ行フ

步兵第二十二聯隊ハ此日天明ト共ニ主力ヲ嘉定中央ニ移シ概ネ各一中隊ヲ以テ各門ヲ占領セシメ城内ノ秩序ヲ維持シ師團主力ノ入城ヲ迎ヘタリ

後續部隊
ノ來著

步兵第十旅團司令部及步兵第十二聯隊第三大隊ハ早朝儀橋附近出發、西涇營、六里橋ヲ經テ午前九時三十分瀏河鎮到着、同地ニ在リシ步兵第十二聯隊第五中隊ノ一小隊舊楊林口守備隊、三日午後三時頃儀橋撤去及同第四十三聯隊第七中隊ノ一小隊瀏河鎮ヲ併セ 第十一中隊ノ一小隊ヲ同地ニ殘置ス依然南行ヲ續ケ午後一時頃瀏河鎮南方約五軒北新涇橋陳宅、周宅附近附近ニ於テ敵ノ敗殘兵七、八十名ヲ擊破シテ同三時澄橋鎮ニ達シ師團長ノ隸下ニ入レリ

附記 旅團長ハ午後九時嘉定ニ入城シ步兵第十二聯隊第三大隊ハ師團所命ノ新涇營ニ就ク爲同十一時澄橋鎮出發、五日午前三時

頃瀾河鎮ニ到着セリ

ふらんす丸ニ搭乘セル山砲兵第十一聯隊主力本部第一大隊及第五中隊ハ依然船内ニ於テ待命シ將校斥候ヲ上陸セシメテ進路ノ偵察ヲ行ヒ昭久丸搭乘部隊ノ主力輻重兵第十一大隊第四中隊及第三野戰病院ハ午後ヨリ上陸ヲ開始シ夜ニ入り一部ヲ瀾河鎮ニ進ム但神隆丸騎兵第十一聯隊第一中隊及工兵第一中隊ノ殘餘ハ一旦瀾河口ニ回航シタル後更ニ軍命令ニ依リ吳淞鐵道棧橋ニ轉航セリ

附記 以上ノ部隊ハ五日ヨリ主力ヲ以テ七了口(一部ハ吳淞鐵道棧橋)ニ上陸ヲ開始シ守備勤務ニ就ケリ

第五章 會戰ノ成績

二月二十日攻撃開始以來優勢ナル支那軍ニ對シ約二週日ニ互リ困難ナル各種ノ狀況ニ於テ正面ヨリ強行セル第九師團ノ陣地攻撃ト三月一日側背ニ向ツテ奇襲的ニ敢行セル第十一師團ノ上陸作戰ト特ニ密接ナル陸海軍ノ協同作戰トニ依リ敵ニ大ナル損害ヲ與ヘテ之ヲ西方及南方ニ擊退シ概ネ派兵ノ目的ヲ達成セリ

上海附近ノ會戰ニ參加セル我カ陸軍ノ兵力步兵二十四大隊中隊七十、機關銃中隊二十四、小銃約六千二百挺、輕機十挺、平射歩兵砲十四門、曲射歩兵砲四門、三一式速射山砲六門、騎兵一中隊、山砲兵五大隊四一式山砲四門、野戰重砲兵二大隊十五門、獨立野戰重砲兵一中隊十挺、攻城重砲兵一中隊十五門、野戰高射砲二隊、工兵四中隊約九ヲ基幹トシ總員將校以下一萬九千三百二十五名三千七百五十七名、非戰員ヲ含ム、馬一千七百六十八頭七十一頭ノ非戰馬ヲ含ムニシテ其損害ハ戰死將校以下六百二十名、馬二十七頭、負傷將校以下一千六百二十二名、馬四十三頭ナリ詳細ハ第二十五卷參照又本會戰ニ參加セル海軍陸戰隊ノ兵員ハ將校以下三千七百八名ニシテ戰死將校以下百十八名内二十四名戰死、負傷同四百五十七名ナリ

附記 右ノ外第三艦隊及第二艦隊ノ諸艦船特ニ其飛行機ハ直接間接ニ本會戰ニ參與シ三十一名ノ戰死者及二百四十三名ノ負傷者ヲ出セリ

支那軍ノ損害ニ關シテハ卷末「支那軍ノ行動」第一二八頁參照ニ讓ル

頃瀏河鎮ニ到着セリ

ふらんす丸ニ搭乘セル山砲兵第十一聯隊主力本部、第一大隊及第五中隊ハ依然船内ニ於テ待命シ將校斥候ヲ上陸セシメテ進路ノ偵察ヲ行ヒ昭久丸搭乘部隊ノ主力輜重兵第十一大隊第四中隊及第三野戰病院ハ午後ヨリ上陸ヲ開始シ夜ニ入り一部ヲ瀏河鎮ニ進ム但神隆丸騎兵第十一聯隊第一中隊及工兵第十一大隊第一中隊ノ殘餘ハ一旦瀏河口ニ回航シタル後更ニ軍命令ニ依リ吳淞鐵道棧橋ニ轉航セリ

附記 以上ノ部隊ハ五日ヨリ主力ヲ以テ了口(一部ハ吳淞鐵道棧橋)ニ上陸ヲ開始シ守備勤務ニ就ケリ

第五章 會戰ノ成績

二月二十日攻撃開始以來優勢ナル支那軍ニ對シ約二週日ニ互リ困難ナル各種ノ狀況ニ於テ正面ヨリ強行セル第九師團ノ陣地攻撃ト三月一日側背ニ向ツテ奇襲的ニ敢行セル第十一師團ノ上陸作戰ト特ニ密接ナル陸海軍ノ協同作戰トニ依リ敵ニ大ナル損害ヲ與ヘテ之ヲ西方及南方ニ擊退シ概ネ派兵ノ目的ヲ達成セリ

上海附近ノ會戰ニ參加セル我カ陸軍ノ兵力步兵二十四大隊中隊七十、機關銃中隊二十四、小銃約六千二百挺、輕機十挺、平射步兵砲十四門、曲射步、騎兵一中隊、山砲兵五大隊四一式山、野戰重砲兵二大隊十五榴、獨立野戰重砲兵兵砲四十門、三一式速射山砲六門、野戰重砲兵二大隊十五榴、獨立野戰重砲兵、一中隊十加、攻城重砲兵一中隊十五白、野戰高射砲二隊門、工兵四中隊約九ヲ基幹トシ總員將校以下一萬九千三百二十五名ノ非戰員ヲ含ム、馬一千七百六十八頭七十一頭ノ非戰馬ヲ含ムニシテ其損害ハ戰死將校以下六百二十名、馬二十七頭、負傷將校以下一千六百二十二名、馬四十三頭ナリ詳細ハ第二十五卷參照又本會戰ニ參加セル海軍陸戰隊ノ兵員ハ將校以下三千七百八名ニシテ戰死將校以下百十八名内二十四名戰死、負傷同四百五十七名ナリ

附記 右ノ外第三艦隊及第二艦隊ノ諸艦船特ニ其飛行機ハ直接間接ニ本會戰ニ參與シ三十一名ノ戰死者及二百四十三名ノ負傷者ヲ出セリ

支那軍ノ損害ニ關シテハ卷末「支那軍ノ行動」第一二八頁參照ニ讓ル

附

錄

附錄第一

第九師團長ニ與フル指示其他

第五三頁參照

(其一) 參謀總長ヨリ第九師團長ニ與フル指示(摘錄)

(其二) 上海方面ニ於ケル陸海軍協同作戰指導ニ關スル協定及陸海軍指揮ニ關スル件

(其三) 陸軍大臣ヨリ第九師團長ニ與フル指示

(其一) 參謀總長ヨリ第九師團長ニ與フル指示(摘錄)

上海事件ハ速ニ局部的ニ解決スルヲ以テ根本方針ト爲ス而シテ上海ハ國際都市トシテ列國軍環視ノ裡ニ在ルヲ以テ師團ノ行動ニ關シテハ特ニ左ノ要件ニ留意スルヲ要ス

イ 我カ正當ナル行動ヲ中外ニ理解セシムルニ勉ム之カ爲任務達成上已ムヲ得ス攻勢動作ニ出ツルノ餘義ナキ場合ニ於テモ尙成ルヘク事前ニ關係列國軍等ニ對シ能ク事態ヲ諒解セシムル等ノ手段ヲ講ス

ロ 大局ニ著眼シ自ラ求メテ事態ヲ擴大スルコトナカラシム之カ爲任務ノ範圍ヲ超越シテ積極的行動ニ出ツル等ノ必要生スルニ至ラハ機ヲ失セス中央ノ指示ヲ受ク

ハ 勉メテ列國軍ト協調ヲ保持スルト共ニ帝國海軍將兵ニ對シテハ其勤勞ヲ多トシ禮讓ヲ重ンシ以テ精神的協同ニ遺憾ナカラシム

ニ 上海租界ニハ兵禍ヲ及ササル如ク勉ム之カ爲師團主力ハ成ルヘク上海租界外ニ位置ス

ホ 渉外事項ニ關シテハ任務達成上直接關係アルモノノ外ハ勉メテ外務官憲等ノ處理ニ委セ之カ爲所在帝國外務官憲ト密接ニ連繫ヲ保持ス

(其二) 上海方面ニ於ケル陸海軍協同作戰指導ニ關スル協定及陸海軍指揮ニ關スル件

上海方面ニ於ケル陸海軍協同作戰指導ニ關スル協定 昭和七年二月二日

方針

上海方面ニ於ケル帝國陸海軍ハ相協同シテ帝國臣民ノ保護ニ任スルモノトス之カ爲依然列國軍ト協調ヲ保持シ要スレハ當面ノ支那軍ヲ擊破ス

要綱

- 一 陸軍到著マテハ海軍陸戰隊ハ當面ノ敵ニ對シ現在地ヲ固守ス
- 二 混成旅團到著セハ同方面ニ於ケル陸戰隊ヲ併セ指揮シ前項任務ヲ繼續ス
- 三 混成旅團ノ輸送ハ佐世保ヨリ海軍艦船第四戰隊第二水雷戰隊ニ豫定スヲ以テ行ヒ乘船及揚陸ハ海軍之ヲ實施ス
- 四 陸軍主力部隊第九師團ハ動員下令後概ネ第六日以後ニ於テ乘船シ陸軍輸送船ニ依ル概ネ第十日乃至第十二日上

海附近著ノ豫定

右海上護衛要スル場合及揚陸ノ掩護ハ第三艦隊之ニ任ス

- 五 機微ナル國際關係ニ鑑ミ陸海兩軍竝當該方面帝國外交官憲ハ特ニ緊密ナル連繫ヲ保持ス
- 六 爾後ニ於ケル指導方針竝作戰實施上ノ協定ハ別ニ之ヲ定ム

陸海軍指揮ニ關スル件

昭和七年二月二日

上海方面ニ於ケル陸海軍指揮ノ體系ヲ左ノ如ク協定ス

- 一 第九師團及第三艦隊ハ協同作戰ス
- 二 先遣混成旅團ハ佐世保ニ於テ乘船以後第九師團長ノ上海方面上陸マテ第三艦隊司令長官ノ指揮ヲ受ク
- 三 全期間ヲ通シ同一方面ニ於ケル陸上指揮ハ所在前任指揮官之ニ任ス

(其三) 陸軍大臣ヨリ第九師團長ニ與フル指示

- 一 帝國政府ノ對時局根本方針ハ成ルヘク事態ノ紛糾擴大ヲ避ケ迅速且有利ニ時局ヲ收拾スルニ在リ特ニ上海方面ニ於テ然リトス故ニ貴官ハ其任務遂行ニ方リ常ニ敍上ノ根本方針ニ稽ヘ且機微ナル政戰兩略ノ關係ヲ考慮シ以テ現地ノ情勢ニ善處スルヲ要ス
- 二 今次ノ軍事行動ハ總テ自衛上ノ必要ニ基ク發動ニシテ戰爭ヲ目的トスルモノニアラス凡百ノ事

皆此根本觀念ヲ基調トセサルヘカラス

滿洲及支那本土ニ於ケル軍事行動ハ兩者齊シク自衛行動ナリト雖帝國ノ對支那本土策ハ帝國獨自ノ立場ニ於テ之カ解決ヲ期スヘキ對滿蒙策ト全然其趣ヲ異ニシ進ンテ列國ト協力シ以テ平和的市場ヲ顯現セシムルノ主義ニ即應セサルヘカラス從テ對外處理ニ於テモ兩者別個ニ取扱フヘキモノナルヲ以テ上海方面ニ於ケル我カ軍事行動ヲシテ列國ト協調ヲ保ツ如ク律センコトハ最モ希望スルトコロタリ

諸般ノ施策ニ於テ支那ノ排日、排貨ノ斷滅ヲ期スルノ著意素ヨリ肝要ナリト雖支那政權乃至行政官憲カ國際條約ノ尊重、其義務ノ履行ニ忠ナル限リ其内政ノ變轉如何ノ如キハ帝國ノ間フトコロニアラサルヲ以テ深ク茲ニ留意スルコト肝要ナリ

三 貴官ハ單ニ上海地方ニ於ケル帝國臣民ノ福祉保全ニ關シテノミナラス任務ノ遂行ニ妨ナキ限リ列國人ノ福祉保護ヲモ之ヲ念トシ皇道宣揚國德布施ノ大義ニ即シテ皇軍ノ威信ヲ向上スルコトニ勉ムルコト肝要ナリ

四 帝國政府ノ方針ニ基キ陸海軍外務中央部ヨリ夫々出先官憲ニ對シ永久ニ互リ上海ノ平靜ヲ期スル爲必要ニ應シ上海市外一定ノ地域ニ限リ支那軍ノ駐屯乃至侵入セサル地域ヲ設定スヘク列國ヲ誘導スルコトニ勉ムルヲ要スル旨ヲ内訓シアリ貴官モ亦敍上ノ趣旨ヲ體シ局ニ當ルヲ要ス

五 敵性ヲ有スル動産、不動産ノ押收^{川益ヲ}、破壊、沒收等ノ行爲ハ自衛上必要ナル場合ニ限リ其必要ノ限度ニ止ムルヲ要ス

尙詳細ニ關シテハ別冊關東軍ニ與ヘタル指示^略ニ準據スヘシ

六 我カ國家並國軍ニ不利ナル宣傳ノ口實ヲ與ヘサルコトニ關シテハ深甚ノ注意ヲ望ム之カ爲歴史的、美術的ノ建設物、第三國人ノ生命財產等ニ對シテハ特ニ慎重ナル考慮ヲ須フルコト肝要ナリ又支那ノ赤化運動ニ對シテハ特別ノ注意ヲ拂フヲ要ス

七 帝國居留民ノ窮狀救済ニ關シテハ外務並海軍官憲ト協力シ任務達成ニ妨ナキ限リ可能ノ努力ヲ拂フヲ要ス

若帝國居留民又ハ第三國人民ニ對シ必要ナル緊急措置ヲ講スルノ必要ニ迫ラレタル場合ニ於テモ「軍政」又ハ「戒嚴」等ノ名ヲ用フルコトナク其實ヲ收ムルコトニ關シ攻究工夫ヲ望ム

昭和七年二月六日

陸軍大臣 荒木貞夫

附録第二

混成第二十四旅團長及第九師團長ノ訓示

第四九
頁参照

- (其一) 混成第二十四旅團長ノ旅團將兵ニ與フル訓示
- (其二) 第九師團長ノ隷下將兵ニ與フル訓示
- (其三) 軍事行動開始ニ際スル第九師團長ノ訓示
- (其四) 第三次攻撃開始ニ際スル第九師團長ノ訓示

(其一) 混成第二十四旅團長ノ旅團將兵ニ與フル訓示 第四九
頁参照

檄シテ我カ旅團將兵ニ告ク

滿蒙事變ニ伴フ動亂ハ今ヤ南支方面ニ波及シ居留邦人ノ危機目睫ノ間ニ迫リ我カ陸戰隊ハ該地ニ勇敢シツツアリ

下元茲ニ乏ヲ混成第二十四旅團長ニ承ケ忠勇義烈ナル諸子ト共ニ居留邦人ノ生命財産ノ保護竝既得權益ノ擁護ノ爲今將ニ擾亂ノ地ニ向ハントス其任ヤ極メテ重キト共ニ男子畢生ノ快事何物カ之ニ過キン

抑、南支方面ハ未タ帝國陸軍ノ眞價ヲ解セサル者多シ該方面ニ赫々タル皇軍ノ威武ヲ宣揚スル亦意義極メテ多キモノト言ハサルヘカラス即チ一タヒ彼地ニ向ハハ苟モ我ヲ敵視シ我カ權益ヲ侵害セントスル者ハ斷乎トシテ之ヲ粉碎スルニ躊躇スヘカラス

聞ク暴虐飽クナキ敵ハ所在ニ兵力ヲ集中シ防備ヲ固クシ機ヲ見テ我ヲ包圍攻撃シ或ハ便衣隊ヲ放チ我カ後方ヲ擾亂シツツアルモノノ如シ

然レトモ我カ正義ノ王師ヲ以テ臨マハ只々鎧袖一觸敢テ我等ノ敵ニアラサルナリ只懼ルヘキハ其馳突直前金城鐵壁モ之ヲ防ク能ハサル軍隊モ一タヒ敵ヲ輕侮シ驕氣不慮ノ失敗ヲ招カハ當ニ功ヲ一實ニ虧クニ止ラス其影響スルトコロ眞ニ恐ルヘキモノアリ深ク戒メサルヘカラス

而モ南支一帶ハ列強權益ノ錯綜スルトコロ動モスレハ國際政局ハ重大ナル危機ヲ孕ミ帝國ハ列強圍繞ノ裡ニ孤立無援ノ窮地ニ立ツニ至ルヤモ保シ難シ

諸子ハ正義ノ爲ニハ斷乎トシテ所信ヲ斷行スルノ氣概アルト共ニ沈思自重列國ニ乘セラルルノ隙ヲ與ヘサルト共ニ海軍ト密ニ協同ヲ保チ益々志氣ヲ振作シ上長ノ指示ニ從ヒ決然トシテ任務ニ邁進シ上ハ以テ 聖旨ニ對ヘ奉リ下ハ以テ國民ノ信賴ニ報インコトヲ期スヘシ
諸子夫レ砥礪發奮セヨ

昭和七年二月六日

混成第二十四旅團長 少將 下元 熊彌

附記 第十二師團長中將木原清ハ混成第二十四旅團ノ編成ルヤ左ノ要旨ノ訓示ヲ與ヘタリ

〔前略〕苟モ我ヲ敵視シ我カ權益ヲ侵害スル者ニ對シテハ斷乎武力ニ依リ之ヲ排撃スルハ勿論敢然其所信ヲ斷行シ以テ未タ帝國陸軍ノ眞價ヲ知ラサル南支ニ其先鋒トシテ絶大ナル勇武ト軍紀嚴正ナル威容トヲ示シ以テ東洋ノ平和ヲ將來ニ維持スルノ基ヲ開クノ抱負アルヲ要ス〔後略〕

(其二) 第九師團長ノ隸下將兵ニ與フル訓示 第五三頁參照

茲ニ上海附近帝國臣民保護ノ大命ヲ奉シ關外ノ重任ニ就クニ方リ我カ第九師團並配屬諸部隊將兵ニ告ク

惟フニ對支時局ハ次第ニ紛糾シ列強ノ態度亦益々硬化セントスルニ際シ吾人ハ列國環視ノ境、支那中樞ノ地ニ出動シテ以テ國威ノ發揚、國權ノ確保、在留官民ノ保護ニ任シ東洋ノ和平ヲ招來シ高遠悠大ナル皇謨ヲ翼成シ奉ルノ實ヲ舉ケントス吾人此大任ニ當ルノ幸ヲ得テ難境愈々勇躍ヲ加ヘ國民精神ノ發揮、平素訓練ノ發揚正ニ此秋ニ在ルヲ痛感ス

定ニ一死以テ君國ニ殉スヘキヤ言ヲ俟タサルト共ニ他面出動方面ノ錯綜セル情勢ト此間ニ處スル一小部隊、一將兵ノ行動モ亦重大事態惹起ノ因タルヘキヲ深察シ常ニ大局ニ著眼シ大勇ニ基據シテ進止舉措ヲ律シ動ト靜トノ妙諦ヲ把握シ軍紀風紀ノ嚴肅ト相俟ツテ眞個正義ノ軍、人道ノ師、精練ノ軍隊、優秀ノ國民タルノ實ヲ發揮シ以テ中外ノ心服ヲ得ルヲ期セサルヘカラス諸士夫レ自任自重セヨ

以下少シク細部ニ互リ指示シ諸士ノ覺悟ノ準據タラシム

- 一 大義名分ヲ正シクシ彼我紛争ノ場合常ニ我ニ有利ナル確證ヲ得ルコトヲ勉ムヘシ
常ニ人道ヲ守リ公法ニ遵ヒ一點非議非難ノ餘地ナカラシムルト共ニ彼我紛争ヲ生スルカ如キ場
合ニ於テハ宜シク主動的ニ機先ヲ制シ我ニ有利ナル確證ヲ獲得シ非ハ彼ニ在リトノ印象ヲ第三
者ニ與フル如ク勉ムルヲ要ス

- 二 凡テノ行動ハ師團ノ方針ニ從ヒ嚴肅ナル統制ヲ保チ渾然一體ノ實ヲ舉クヘシ

- 1 各人ノ功名心、戰鬪慾ニ驅ラレ大局ノ重大化ヲ來スカ如キコトナキ様全幅ノ注意ヲ拂フヘシ
- 2 渉外事項ノ適切ナル處理ハ報告ノ迅速ヲ第一義トシ上官ニ真相ヲ誤ラシムルコトナカラシ
ムルヲ要ス

- 三 對敵者ノ認識ヲ誤ラサルヲ要ス

目下支那トハ開戦シアラス故ニ支那軍ト雖敵對行動ヲ爲ササルモノハ當面ノ敵ニアラス我カ權
益カ侵害セラレ國軍ノ面目カ毀損セラルル事態發生セサル限リ勉メテ隱忍自重以テ大局ヲ有利
ニ導クノ要アリ

- 四 警戒ヲ怠ラサルヲ要ス

前線ニ在リテ當面ノ敵ト對峙シアル者ハ勿論所謂後方勤務關係方面ニ於テモ普通ノ戰況ト性質

ヲ異ニスルヲ以テ十分ノ注意ヲ要ス

- 1 機秘密ノ確保ニ注意スヘシ
- 2 盜竊アル土民ニ對シ盜難特ニ武器ノ紛失ナキ様戒心ヲ怠ラサルヲ要ス

- 五 國際的儀禮ヲ尊重スヘシ

1 租界内ニ於ケル非戰鬪員、特ニ老幼婦女ニ對シテハ古來日本武士ノ美點タル強ヲ挫キ弱ヲ
扶クル精神ニ基キ飽クマテ懇切ニ取扱ヒ列國人ヲシテ眞ニ文明國ノ軍隊タルノ實ヲ認知セシ
ムヘシ

2 寺院、病院等ハ戰鬪ノ爲已ムヲ得サル限リ之ヲ冒スコトナク以テ第三者ヲシテ非難ノ口實
ヲ與ヘシメサルヲ要ス

- 六 輸送間及滞在間人馬材料ヲ損耗セシメサル如ク努力スヘシ

1 今回ノ派遣地ハ疫病ノ中心地ナルヲ以テ特ニ衛生ニ注意スヘシ
細部ハ軍醫部長ヲシテ指示セシム

2 火藥、火具類ノ取扱、特ニ戰利品ノ處理ニ慎重ナル注意ヲ拂ヒ不慮ノ危害ヲ惹起セサル如
クスヘシ

- 七 記録ヲ收集シ將來ノ參考タラシムヘシ

之ヲ要スルニ諸官ハ敍上ノ趣旨ニ鑑ミ自重自愛能ク最小ノ犠牲ヲ以テ最大ノ效果ヲ收ムル如ク行動
センコトヲ切望ス

最後ニ特ニ一言ス

本職曩ニ大命拜受ノ爲上京シ親シク

天顔ニ咫尺シ優渥ナル 聖旨ヲ拜戴シ又各衛戍地ニ於テハ侍從武官ヲシテ優渥ナル 聖旨ヲ傳達セ
シメラル

聖慮深甚實ニ感激ノ至リニ堪ヘス無上ノ光榮ヲ感スルト共ニ吾人ノ責務愈々重大ナルヲ思ヒ各位ト
共ニ其全能ヲ盡シ以テ宸襟ヲ安ンシ奉ランコトヲ期シテ已マス切ニ各位ノ努力ヲ望ム

昭和七年二月九日

第九師團長 植田 謙吉

附記

「最小ノ犠牲ヲ以テ最大ノ效果ヲ收ムヘキ」件ニ就テハ高級參謀ヨリ特ニ其徹底ヲ圖レリ

(其三) 軍事行動開始ニ際スル第九師團長ノ訓示 第一二八頁參照

訓示 昭和七年二月十九日
於公大帥團司令部

平和的手段ニ依リ時局ノ收拾ニ勉メタルモ今ヤ事茲ニ至ル今日マテ隱忍自重處女ノ如カリシ軍ハ明
朝以後當ニ脱兎ノ如カルヘシ猛烈果敢我ニ抗スル敵ヲ破摧シ軍ノ本領ヲ發揮スヘキハ勿論ナルモ又

之ト共ニ慎重事ヲ處シ屢次注意セル事項ヲ遵守シ眞ニ正義ノ軍、人道ノ軍タルコトヲ中外ニ發揚シ
以テ皇道ヲ四海ニ普クノ實ヲ發揮セヨ

第九師團長 植田 謙吉

(其四) 第三次攻撃開始ニ際スル第九師團長ノ訓示 第六八九頁參照

當面ノ五師團ノ敵ハ二十五日ニ於ケル我カ痛撃ニ依リ支離滅裂ノ状態ニ陥リ配備變更退却實行ノ兩
難ニ會シ混亂ノ状態ニ在リ、一方國際聯盟並列國ノ情勢ハ一兩日間ニ戰局ヲ結フノ必要ニ逼ラレ
リ依テ敵ノ退却ノ兆アル場合ハ勿論直ニ追撃シ否ラサル場合ニハ計畫ニ基キ明日ノ攻撃ニ於テ更ニ
一大痛撃ヲ加ヘ茲ニ出兵ノ目的ヲ完全ニ解決セントス
將兵一同必勝ノ信念ヲ以テ勇躍奮闘センコトヲ望ム

昭和七年二月二十九日

第九師團長 植田 謙吉

附錄第三

第九師團長ノ聲明及通告

- (其一) 第九師團長上陸ノ際ニ於ケル聲明
- (其二) 第九師團長ヨリ第十九路軍長ニ手交セル通告
- (其三) 第十九路軍ニ通告手交後ニ於ケル第九師團長ノ聲明
- (其四) 第九師團長ノ外國武官ニ對スル説明ノ要旨
- (其五) 支那軍ニ對スル第九師團長ノ投降勸告書

(其一) 第九師團長上陸ノ際ニ於ケル聲明

第五六頁參照

予ハ上海地方ニ在留スル帝國臣民ヲ保護スヘキ任務ヲ帶ヒ本日到著セリ

我カ海軍陸戰隊ニ對スル支那軍ノ挑戰ニ因リ上海租界ハ忽チ不安恐怖ノ巷ト化シ帝國在留民ノ窮狀眞ニ痛心ニ堪ヘサルモノアリ本職ハ師團ノ任務ニ鑑ミ海軍ト協力シ速ニ我カ在留民ヲ此窮地ヨリ救出センコトヲ期ス之カ爲ニハ無益ノ交戦ヲ避ケ平和的ニ其目的ヲ達成センコトニ勉ムヘシト雖苟モ師團ノ任務遂行ヲ妨害スル者アラハ斷乎タル處置ヲ取ルニ躊躇セサルヘシ

關係列國トハ専ラ協調ヲ旨トシ租界ノ不安ヲ除去スルコトニ努力スヘシ又我カ師團ノ任務遂行ヲ妨害セサル支那一般民衆ニ對シテハ眞ニ同情ニ堪ヘサルモノアリ我カ師團ハ飽クマテ彼等ノ平和的生活ヲ尊重スヘシ

右聲明ス

昭和七年二月十三日

第九師團長 植田 謙吉

(其二) 第九師團長ヨリ第十九路軍長ニ手交セル通告 第五八頁参照

本職ハ平和友好的手段ニ依リ任務ヲ達成セントスル切ナル希望ニ基キ茲ニ貴軍司令ニ對シ左ノ件ヲ通告ス

- 一 貴軍ハ速ニ戦闘行爲ヲ中止シ二月二十日午前七時マテニ現第一線ノ撤退ヲ完了シ二月二十日午後五時マテニ黃浦江西岸地區ニ於テハ租界西北端曹家渡鎮、周家橋鎮及蒲淞鎮 註、別名ヲ連ヌル線以北、黃浦江東岸地區ニ於テハ爛泥渡及張家樓鎮ヲ連ヌル線以北各租界ノ境界線ヨリ各々二十軒ノ地域 橋子林砲臺ヲ含ムノ外ニ撤退ヲ完了シ且右地域内ニ於テ砲臺其他ノ軍事施設ヲ撤去シ新ニ之ヲ設ケサルコト
- 二 日本軍ハ貴軍ノ撤退開始後射撃、爆撃及追撃動作ヲ行ハス但飛行機ニ依ル偵察ハ此限ニアラス

又貴軍撤退後ニ於テハ日本軍ハ虹口附近ニ於ケル工部局道路地域 虹口公園ノ周圍ヲ含ムヲ保持スルニ止ムヘシ

三 貴軍ノ第一線撤退完了後日本軍ハ其實行ヲ確認スル爲護衛兵ヲ有スル調査員ヲ撤退地域ニ派遣ス右調査員ハ日本國旗ヲ携ヘ識別ニ便ス

四 貴軍ハ撤退地域外上海附近ニ在ル日本人ノ生命財産ヲ完全ニ保護スヘク右保護完全ナラサルトキハ日本側ニ於テ適當ノ手段ヲ取ルヘシ
又便衣隊ハ一切有效ニ之ヲ禁止スルコト

五 上海附近 撤兵區域ヲ含ムニ在ル外國人ノ保護ニ關シテハ追テ商議ヲ行フコト

六 排日運動ノ禁止ニ關シテハ一月二十八日吳市長ノ村井總領事ニ爲シタル約束ヲ嚴重ニ實行スルコト

本項ニ關シテハ帝國外務官憲ヨリ貴國上海行政長官ニ對シ別ニ交渉スルトコロアルヘシ
以上ノ諸項ニシテ實行セラレサル場合ニハ日本軍ハ貴軍ニ對シ自由行動ヲ取ルノ已ムヲ得サルニ至ルヘク其結果生スル一切ノ責任ハ貴軍ニ在リ

昭和七年二月十八日午後九時

大日本帝國軍司令官 植田 謙吉

第十九路軍司令 蔡 廷 楷 殿

附記

一 本通告ハ最初其要旨ノミヲ發表セル爲在上海外人側ニ於テ若干ノ誤解ヲ懷キシ者アリタレトモ一部ニハ此通告ヲ至當トスル者少カラス當初ニ於ケル異論ヲ例示スレハイ(排日ノ取締ニ關スル件ヲ加ヘタルハ外務官憲ノ關係ナルニ軍部ヨリ提出セルハ種當ナラス)砲臺ノ破壞撤去等ノ如キハ南京政府ノ所管ニシテ第十九路軍ノ處置シ得サルトコロナルニ之ヲ要求セルハ過酷ノ嫌アリハ最後通告提出ト同時ニ全文ノ發表ナカリシハ日本側ニ於テ二十一箇條提出當時ト同シク重要ナル事項隱匿ノ誤解ヲ生スル處アリ等ナリ

爾後師團長ハ更ニ聲明ヲ發シ又外國武官等ニ所要ノ説明ヲ與ヘタリ(附録第三其三及其四參照)

二 本通告内容ニ關シ第九師團長ヨリ中央部ニ報告セル説明ノ要旨ヲ擧ケレハイ(第一項ニ於テ支那軍ニ對シ二十軒ノ撤退ヲ要求セルニ反シ日本軍ハ何等撤退ノ意ヲ示ササルハ不公平ナリトノ説アレト第二項ニ於テ虹口附近云々ヲ保持ストアルハ事件發生前ノ位置ニ後退スヘキヲ示セルモノナリ)吳淞砲臺ノ武裝撤去ヲ要求シタルハ同地カ黃浦江及揚子江ノ咽喉ヲ扼シ同地通航ノ汽船ハ絶エス不法ノ射撃ニ依リ國際河川ノ航行ヲ脅威セラレ延イテ上海大都市ノ安寧ヲ害スヘキ故之カ防備ヲ撤去セシムルハ第十九路軍撤退後ト雖便衣隊等ニ依リ利用セラルルヲ以テナリ本來本件ハ國民政府ニ要求スヘキ性質ノモノナリト雖現狀ニ於テハ第十九路軍ニ要求スルヲ便ナリト思考セリハ(第六項ニ於テ排日取締ヲ軍部ニ要求シタルハ無理ナリトノ議論アレト撤退ヲ要求セサル上海南方(南市)方面ハ第十九路軍ノ勢力範圍ニ屬シ同地方ニハ多數邦人ノ權利現在スルヲ以テナリ云々ト尙該説明ニハ本通告ハ軍部ヨリハ外交官憲ノ交渉ヲ主トスル旨附記セラレアリ

(其三) 第十九路軍ニ通告手交後ニ於ケル第九師團長ノ聲明特ニ談話ノ形式ニ依ル「ステートメント」 第五八頁參照
我が軍ハ上海上陸以來既ニ一週間ニ互リ全ク静止の態度ヲ持續シテ居ルガ其レニモ拘ラズ第十九路軍ハ頻リニ挑戰の態度ニ出テ居ル然シ我が軍ハ飽クマデ事件ノ擴大ヲ防止シ平和的解決ヲ熱望スル

ガ故ニ忍ブベカラザルヲサヘ忍ンデ來タ

處ガ上海ノ治安ハ第十九路軍ノ爲ニ益々脅サレルニ至ツタノデ我が軍トシテハ一ツノ處置ニ出ルコトヲ必要トスルニ至リ最後ノ通告ヲ發スルニ至ツタ次第デアル第十九路軍ニ二十軒ノ撤退ヲ求メタコトハ軍事の見地ヨリスレバ最小限度ノ要求デアル尙日本人ヲ含ム一般ノ排外の行動ノ廢止ノ實現ハ將來ノ爲又吾々ノ來滬ノ目的上極メテ必要ナコトデアアルガ事主トシテ外交ノ範圍ニ屬スル故別ニ總領事ヨリ市長ニ要求スルコトヲ第十九路軍ニ通告シテ其意ノアルトコロヲ明ニシタ又地域ニ於テモ日本軍トシテ忍ビ得ザルヲ忍ンデ事件ノ擴大ヲ防止スル爲日本軍本然ノ警備地域ヲ確保スルニ止メテ居ルノハ第十九路軍ニ對スル我が軍ノ仁愛的ト謂ツテヨイ撤退期間ノ四十八時間モ亦十分ト心得ル吳淞砲臺、獅子林砲臺等ヲ撤退區域ニ入レタノハ此世界の開港市上海ノ國際航路ヲ保全スル爲ニ外ナラナイ

如上ノ趣旨ニ基キ第十九路軍トシテハ如何ナル方面ヨリ考ヘテモ實行シ得ル條件ヲ要求シタノデア
ルカラ彼ニシテ若應ゼザルニ於テハ日本軍モ最後ノ處置ヲ取ラザルヲ得ナイ重ネテ言フガ自分トシ
テハ出來ル限り平和的手段デ解決ヲ圖ル意向デアアル又已ムヲ得ヌ場合デモ事件ノ擴大防止ノ爲ニハ
深甚ナル考慮ヲ拂ツテ來タ又今後モ同様デアアル

ダガ萬一支那軍ニシテ應ゼザル場合ニハ斷乎トシテ之ヲ膺懲シ日本陸軍ノ威力ヲ發揮スルト共ニ日

本軍ノ訓練延イテハ國民ノ真意ヲ列強環視ノ裡ニ内外ニ宣揚スルツモリデアアル、私ハ信賴スル隸屬各部隊ガ如上ノ點ヲ達成シ得ルコトヲ確信スル、又軍事行動ニ出タ場合モ租界方面ニ及ブ慘禍ヲ可及的ニ少クシ郊外ノ外人家屋其他ノ權益ヲ尊重スル爲戰鬪行爲ト共ニ之ヲ要求スルノハ困難デアアルニモ拘ラズ深甚ナ考ヲ加ヘタ例ヘバ其手段トシテ總領事ヨリ市長ニ注意ヲ與ヘ第十九路軍ノ位置スル交戰豫想區域ノ住民ノ避難ヲ促シタ、之ヲ要スルニ日本居留民ト上海租界全般ニ對シ永キ平和ト繁榮トヲ齎ス爲之ガ障礙ヲ排除シテ此上海ヲ自由ニシテ幸福ナル都市トシタイノガ私ノ衷心ヨリノ希望ニシテ信念デアアル或ハ今回ノ軍事行動ガ引續イタ場合日本軍ハ廣汎ナ地域ヲ占領スル野心ヲ有スルノデハナイカト疑フ者ガアレバ其レハ日本軍及日本ノ國家ノ真意ヲ諒解シ得ナイ者デアアル

(其四) 第九師團長ノ外國武官ニ對スル説明ノ要旨 二月十九日午後二時 第一二八 於公大第一號廢宿舍 頁參照

師團ハ上陸後一週間何等積極的行動ヲ取ルコトナク狀況ヲ靜視シアリ即チ開北、吳淞兩方面其自衛ノ外何等積極的行動ヲ取リアラス然ルニ對手ノ方ハ依然挑戰的態度ヲ取り開北方面ニ於テハ銃砲彈絶エス租界内ニ落達シ一般ニ脅威ヲ與ヘツツアリ斯クノ如クシテ我カ友軍タル海軍及吳淞方面ノ部隊カ絶エス對手ノ脅威ヲ受ケツツアルニ拘ラス我カ軍ノ隱忍自重セルコトハ武人タル諸官カ如何ニ苦痛ナルヤヲ了解セララルコトト思惟ス

斯クノ如ク勉メタル所以ハ要スルニ平和ノ手段ニ依リ事局ヲ解決セントスル意ニ外ナラス然ルニ支那側ノ租界ニ對スル脅威殊ニ開北方面ニ於ケル戰鬪行動ハ依然衰ヘス是ニ於テ師團ハ最後ノ處置ヲ取ラサルヘカラサルノ餘義ナキニ至レリ

昨十八日朝彼我兩參謀長會見シ我カ意志ヲ彼ニ通セリ而シテ其主ナルモノハ當面ノ支那軍ノ撤退ニ關スル要求ナリ次テ午後九時書面ヲ以テ日本軍ノ要求ヲ第十九路軍ニ交付セリ其條項ノ主ナルモノハ

一 蘇州河以北ニ於テ上海市ノ外側ヨリ二十軒外ニ撤退ヲ要求セリ尙此區域内ニハ吳淞及獅子林兩砲臺ノ兵備及軍事設備ヲセサルコトヲ要求セリ

二 右ト同時ニ日本外交官憲ヨリ市長ニ對シ上海ニ於ケル一般ノ排外的行爲阻止ヲ要求セリ右要求ニ關シ若干ノ説明ヲ加ヘン

第一ニ注意スヘキハ此對手ヲ第十九路軍ニ限定セシコトナリ日本軍ノ目的ハ日本居留民ノ保護、租界ノ安寧幸福ヲ保持スルニ在ルヲ以テ之ヲ脅威スル者ハ敵ナレトモ其他ノ者ハ敵ニアラス故ニ對手ハ勿論支那政府ニアラス無論支那陸軍ノ全般ニアラス唯此紛糾ノ當面ノ原因タル第十九路軍ノミニナリ其意味ニ於テ第十九路軍ニ對シ要求ヲ爲シタリト雖其他ハ含マス尙精細ナル意味ヨリ言ハハ租界ノ安全ヲ害セサル者ハ日本軍ノ敵ニアラス從テ蘇州河ノ南方地域ハ撤退區域ニ入レアラス

斯クノ如クシテ成ルヘク事局ヲ擴大セサルコトヲ根本義トセリ吳淞砲臺ヲ始メ其他ニ軍事設備ヲ爲サシメサルハ世界ノ交通ノ安全ヲ保證シ上海ノ交通ヲ全般的ニ安全ナラシメンカ爲此要求ヲ加ヘタリ

而シテ尙第一線撤退ノ完了ヲ明二十日午前七時トシタルハ文書ニ依ル要求ヲ交付セシハ昨十八日夜ナレトモ口頭ニ於テハ同日午前九時其意志ヲ通シタルヲ以テ撤退マテニ四十六時間ノ餘裕ヲ與ヘタルモノニシテ其時間ハ寧ろ過多ナリト考ヘタレトモ十分理解シ撤退ノ實行ニ於テ何等支障ナカラシメンコトヲ考慮シ支那側ニ對シ決シテ無理ナル要求ヲ爲ササル趣旨ニ出テタルカ爲ナリ從テ撤退開始後二十軒ヲ退却スルニ更ニ十時間ノ時間ヲ與ヘタリ

斯クノ如クシテ日本軍ハ其撤退要求ニ就テ上海ノ安寧幸福ヲ維持スル爲最小限ノ地區ト最大限ノ時間ノ餘裕トヲ與ヘタルナリ如何ニ吾人ノ要求カ穩健ニシテ眞ニ已ムヲ得サルモノニ止メ事態ノ擴大ヲ避ケ對手ヲ第十九路軍ト限リ日本人ノミナラス上海在留人ノ安寧幸福ヲ希望セルカヲ看取セラルコトト思惟ス

尙附言スレハ參謀長ノ會見ニ於テ第十九路軍ハ我カ要求ヲ眞ニ容レサルモノト感受ス對手カ撤退セハ日本軍モ若干撤退スヘキコトヲ附加シタレトモ之ニ應セサルコトヲ遺憾トス

期限ハ明朝七時ナリ其以前ニ第十九路軍ノ不承諾ノ通知來ルカ撤退ノ實證ナキトキハ日本軍トシテ作戰行動ヲ開始スルノ已ムナキニ至ルヘク和平ノ望ナキニ至リシヲ悲シム

日本軍カ軍事行動ヲ取ル爲累ヲ租界ニ及ササル如ク部下ヲ戒飭シ考慮ヲ拂ヘリ尙戰場トナルヘキ地域ニ在ル外國人ノ家屋及利權ノ損害ヲ避クルコトノ注意ヲ與ヘタリ又成ルヘク戰禍ヲ一般人民ニ及

ササル爲市長ニ對シ第十九路軍所在地ニ在ル住民ニ避難スルコトノ注意ヲ與ヘタリ然シ對手ノ支那軍ハ戰鬪ノ結果租界ニ敗退スルコトアルヘキヲ虞ル又市街ニ在ル外國人ノ家屋カ支那軍ノ陣地ニ充テラレ放列ヲ布キタルトキハ日本軍ノ火力之ニ及フコトハ避ケ能ハス

附記 右ノ説明ニ對シ支那軍カ外國ノ建物ヲ利用セルモノアリヤ支那軍退却ノ徵ナキヤ等ノ質問ヲ爲ス者アリ英國武官ハ支那軍カ若我カ租界内ニ敗退シ來ラハ武裝解除ヲ爲スト言ヘリ最後ニ外國武官側ヨリ「非常ニ判ル様説明セラレ有リカタウ」トノ挨拶アリ

(其五) 勸被圍兵士投降書 第五四七頁參照

爾們苦戰數日刻下已受包圍後援斷絕急速覺悟捨去武裝向我軍投降本司令決不加害必與優待如有外鄉人等意欲回家者本司令特別寬容亦可發給旅費遣送還鄉若仍執迷不悟死力抵抗本軍爲情理後方即以炮爆火力解決特再通告

大日本軍 司令官

右譯文

包圍セラレタル兵士ニ降參ヲ勸ムル文

諸君ハ惡戰苦鬪スルコト茲ニ數日今ヤ已ニ包圍ヲ受ケ後援斷絕ス速ニ決心シ武裝ヲ捨テ我カ軍ニ向ツテ降伏セヨ然ラハ本司令官ハ決シテ害ヲ加ヘサルノミナラス必ス優待スヘシ若他郷ノ人ニシテ家

郷ニ歸ラント思フ者アラハ本司令官ハ此際特ニ之ヲ赦シ且旅費ヲ支給シ故郷ニ送還スヘシ然レトモ若依然トシテ頑迷ニシテ悟ルナク死力ヲ盡シテ抵抗センカ我カ軍ニ於テモ情理ヲ盡シタル後ハ砲彈、爆彈其他凡百ノ火力ヲ以テ之ヲ解決スヘシ右特ニ再ヒ通告ス

大日本軍司令官

附録第四

支那側ノ回答及宣言

第五九頁參照

(其一) 第十九路軍長蔡廷楷ヨリ植田第九師團長宛回答ノ要旨

(其二) 上海市長吳鐵城ヨリ村井總領事宛回答ノ要旨

(其三) 支那國民政府外交部ノ對日宣言要旨

(其一) 第十九路軍長蔡廷楷ヨリ第九師團長宛回答ノ要旨

二月十八日午後九時發書翰拜承ス本軍ハ中華民國國民政府直轄ノ軍隊ニシテ一切ノ行動ハ國民政府ノ命令ニ從フヘク御來示ノ各節ハ既ニ國民政府ニ報告シ外交部ヨリ直ニ貴國公使ニ回答セラルヘク本軍長ハ未タ回答ニ便ナラス

(其二) 上海市長吳鐵城ヨリ村井總領事宛回答ノ要旨

昨十八日貴通牒ノ如キ上海方面ノ形勢切迫ハ何レモ貴國軍隊カ公約、公法ニ反シ恣ニ我カ領土ヲ侵攻シ我カ國人民ヲ慘殺シタル結果起リシモノニシテ一切ノ責任ハ貴方ニ於テ負フヘキモノナルハ累次通知シ置キタル通りナリ今般貴總領事ヨリ申込アリタル我カ國軍隊ニ傳達シ其實行ヲ要求スヘキ

各項ハ本市長トシテハ傳達シ難シ元來貴翰來旨ノ各項ハ日支兩國一般關係ニ影響スル問題ニシテ兩國外交代表ニテ處理スヘキモノニ付本市長ハ既ニ本國政府ニ申報シ置ケリ從テ外交部ヨリ貴國公使ニ回答アルヘシ最後ニ一言聲明シタキハ貴國軍隊ハ今尙挑戰攻撃ヲ實行シ有ユル破壊ヲ爲シツツアリ之カ爲我カ國民ノ憤慨日ニ増シ此情勢ノ下ニ所謂抗日運動ヲ鎮壓スルノ困難ハ勿論ノコトニシテ之ニ依テ生スル一切ノ責任ハ當然貴國ニテ負フヘキモノナリ

(其三) 支那國民政府外交部ノ對日宣言要旨

日本ノ在滬軍隊ハ各種ノ戰爭利器ヲ利用シテ閩北、吳淞地帯ニ對シ轟撃ヲ繼續シツツ既ニ兩旬ノ久シキニ及リ中國ニ於ケル無數無辜ノ人民ハ生命財產ニ巨大ナル損失ヲ被レリ然ルニ日本軍ハ尙之ヲ以テ足レリトセス十八日午後八時四十五分植田司令ヨリ最後通牒ヲ我カ第十九路軍ニ送致シテ中國軍隊ハ本月二十日午後五時三十分前ニ其現在防禦線ヨリ公共租界東西兩方各完全ニ二十軒以外ニ撤退シ竝撤退區域内ニ於ケル一切ノ砲臺及其他ノ軍事施設ヲ總テ永久ニ廢除スヘキ旨ヲ要求シ來リ同時ニ村井上海總領事ヨリモ亦同様ノ通牒ヲ我カ上海市長吳鐵城ニ送致セリ願ミルニ日本政府ハ常ニ中日和平ヲ唱ヘ且國際聯盟規約第十條ノ下ニ在リテ國聯各會員國ノ領土保全ト政治的獨立ノ尊重トヲ宣言シアリシカ最近國聯行政院カ日本ニ向ヒ其中國ニ對シテ和解ノ行動ヲ取ルヘク勸告シタルニ日本ハ其意表ニ出テ今回ノ如ク過當ノ要求ヲ提出スルニ至レリ是中國國民ニ取リテ重大ナル脅威ナル

ノミナラス國聯ノ權威及非戰公約並九國協約等國際協定ノ尊嚴ニ對シ直接ノ挑戰ヲ敢テセルモノト謂ハサルヘカラス此種ノ要求ハ實ニ中國ノ主權及國格ヲ危ウスルモノナリ中國ノ地方當局トシテハ素ヨリ流血ヲ回避セントスルノ誠意ヲ有スト雖斯クノ如キ要求ハ絕對ニ接受スル能ハサルトコロナリ而モ日本軍隊ハ更ニ多數ノ援兵ト最新ノ武器ニ憑リ大規模且橫暴ナル攻撃ヲ加ヘントシアリ從テ彼ノ唱フル和平ノ聲ニハ一切耳ヲ藉スヘキニアラス唯一ツノ決心ハ即時作戰ニ在ルノミ中國ノ在滬軍隊ハ國土防衛ノ爲須ラク奮闘スヘキナリ

附錄第五

上海派遣軍司令官ノ聲明

- (其一) 上海到著ノ際ニ於ケル上海派遣軍司令官ノ聲明
- (其二) 追撃直後ニ於ケル上海派遣軍司令官ノ聲明
- (其三) 停戦協定成立後ニ於ケル上海派遣軍司令官ノ聲明

(其一) 上海到著ノ際ニ於ケル上海派遣軍司令官ノ聲明 第六七、第九
八九頁參照
予ハ上海派遣軍ヲ指揮シ帝國海軍ト協力シテ上海附近ニ在留スル帝國臣民ヲ保護センカ爲本日茲ニ到著セリ

惟フニ帝國ハ曩ニ平和的手段ヲ以テ事ヲ處理セント欲シ有ユル努力ヲ盡シタレトモ其效ナク終ニ第九師團ノ武力行使トナルヤ支那側ハ更ニ大兵ヲ集メテ戰備ヲ嚴ニシ飽クマテ我ニ抗セントシツツアリ是ニ於テ帝國ハ當初ノ目的達成上必要ナル兵力ヲ増派スルノ已ムナキニ至レリ然レトモ好ンテ交戦ヲ求メ事態ノ紛糾ヲ欲スルモノニアラス若支那側ニ於テ誠意ヲ以テ我カ要求ヲ容レ速ニ其軍ヲ撤退スルニ於テハ我カ軍モ適時軍事行動ヲ停止スルニ躊躇セサルヘシ

又支那一般民衆ニ對シテハ隣邦人タルノ友情ヲ盡スヘク關係列國トハ勉メテ協調ヲ保持シ其權益ヲ尊重スヘキコト素ヨリ其所タリ

茲ニ皇軍ヲ率キテ新ニ淞滬ノ地ニ臨ムニ方リ我カ軍派遣ノ目的ニ鑑ミ勉メテ時局ノ擴大ヲ避ケ戰局ヲ最小限度ニ制限シ速ニ事態ヲ收拾シテ以テ帝國臣民ノ保護ヲ全ウスルト共ニ東亞ノ秩序ヲ恢復シ世界平和ニ貢獻センコトヲ期ス

右聲明ス

昭和七年三月一日

上海派遣軍司令官 白 川 義 則

(其二) 追撃直後ニ於ケル上海派遣軍司令官ノ聲明 第七〇、第七九頁參照

帝國陸軍ハ上海附近ニ派遣セラレタル以來帝國海軍ト共ニ平和的手段ヲ以テ帝國居留民保護ノ任務ヲ達成センコトニ努力シタレトモ此見地ニ依レル我カ軍ノ要望ハ不幸ニシテ支那第十九路軍ノ容ルルトコロトナラス遂ニ戰鬪行爲ヲ惹起スルニ至レリ

今ヤ支那軍ハ帝國陸軍ノ當初要求シタル距離以外ニ退却シ帝國臣民ノ安全ト上海租界ノ平和トハ茲ニ恢復ノ兆ヲ認メラルルニ至レルヲ以テ本職ハ支那軍ニシテ對敵行動ヲ取ラサル限リ暫ク軍ヲ現在地ニ留メテ戰鬪行動ヲ中止セントス

右聲明ス

昭和七年三月三日

日本軍司令官 白 川 義 則

(其三) 停戰協定成立後ニ於ケル上海派遣軍司令官ノ聲明 第七三頁參照

軍ハ曩ニ上海出動ノ大命ヲ奉シ二月上旬上海ニ上陸シテ以來勉メテ平和友好的手段ニ依リ事態ヲ收拾セント欲シ百方手段ヲ盡シテ折衝ヲ重ネ上海附近ノ支那軍ニ對シ一定距離外ニ撤退スヘキヲ慫慂シタレトモ不幸ニシテ支那軍ノ反省スルトコロトナラス終ニ武力行使ノ已ムナキニ至レリ然レトモ軍ハ終始一貫列國ニ對シテハ協調ノ精神ヲ旨トシ支那ニ對シテハ勉メテ事態ノ擴大ヲ防キ戰禍ヲ無辜ノ民衆ニ及ササランコトヲ念シ作戰上多大ノ犠牲ト不便トヲ忍ヒツツ其行動ヲ律シ來レリ

而シテ三月上旬ニ於ケル瀏河鎮、大場鎮附近ノ戰鬪ノ結果概ネ所期ノ目的ヲ達成シ得タルヲ以テ軍ハ敍上ノ精神ニ基キ支那軍ニシテ敵對行爲ニ出テサル限リ戰鬪ヲ中止スヘキ旨聲明セリ次テ上海附近平靜確立ニ關スル關係友好國ノ活動トナリ更ニ其代表ノ斡旋ニ依リ三月下旬日支當局間ニ停戰ノ交渉ハ開始セラレ幾多ノ波瀾曲折ヲ經テ五月五日協定成立ヲ見ルニ至レリ是誠ニ極東平和ノ爲欣幸ニ耐ヘサルトコロナリ

右協定ニ依リ支那軍ハ上海附近正常狀態ノ恢復後別ニ取極アルマテ現在地ニ停リテ上海附近ニ近接

セス又上海ノ周圍ニ於テハ形式ノ如何ヲ問ハス一切ノ敵對行爲ヲ停止スルコトトナリ而モ右實行ニ關シテハ共同委員ニ依リ確メラルヘキヲ以テ本協定ニシテ誠實ニ履行運用セラルルニ於テハ上海附近ニ於テ支那軍隊ノ爲治安ヲ擾亂セラルルコトナカルヘシ

如上ノ事情ニ依リ此際上海附近帝國臣民保護ヲ一先ツ帝國海軍ニ委シ將來ニ於ケル停戰協定ノ運用ト上海地方平靜確立ニ關スル關係友好國代表ノ活動トニ信賴シ陸軍全兵力ヲ内地ニ歸還待機セシメラルルコトトナレリ

若將來支那軍ニシテ本協定ヲ蹂躪シ我カ在住民ノ生命財産ヲ危殆ナラシムルカ如キコトアラハ軍ハ再ヒ出動ノ餘義ナキニ至ルヘシ

右聲明ス

昭和七年五月十五日

上海派遣軍司令官 白 川 義 則

附録第六

上海派遣軍司令官ノ訓示 第六五七 頁參照

新ニ増派セラルル各部隊ノ將兵ニ告ク義則茲ニ大命ヲ奉シテ上海派遣軍司令官ノ任ニ就キ忠勇ナル諸子ト共ニ皇國ノ爲匪躬ノ節ヲ盡シ得ルハ無上ノ光榮ニシテ欣快措ク能ハサルトコロナリ我カ派遣軍ノ目的ハ帝國海軍ト協力シテ上海附近ニ於ケル帝國臣民ノ保護ニ任スルニ在リ我ノ敵トスルトコロハ我ニ危害ヲ加フル暴戾ナル支那兵及匪徒ニ外ナラス故ニ苟モ我ニ抵抗スル支那軍隊竝ニ匪賊ニ對シテハ宜シク我カ傳統ノ武威ヲ示シテ之レカ勦滅ヲ期スヘシト雖順良ナル一般民衆ニ至リテハ正義人道ニ基キ隣邦人ニ對スル友情ヲ忘ルヘカラス是ヲ以テ將士一同克ク此旨ヲ體シ愈々軍紀風紀ヲ嚴正ニシ帝國海軍トノ精神的結合ニ遺憾ナカラシメ特ニ外國權益ノ尊重ニ配慮シテ皇軍ノ行動ハ正義王道ニ悖ラサルコトヲ明ナラシムヘシ

曩ニ上海ニ派遣セラレタル我カ戰友ハ連日連夜孤軍奮闘克ク數倍ノ敵ヲ壓倒シ其武威ヲ中外ニ示シツツアリト雖敵ハ久シク堅壘ニ據リ且日ヲ逐ウテ増加スル現狀ニ於テ我カ軍主力部隊ノ來著ヲ待ツコト切ナルモノアリ諸子庶幾クハ勇奮神速ナル作戰ニ適應シ以テ先著ノ戰友ト共ニ其任務ヲ全ウスヘシ

諸子ハ大敵素ヨリ之ヲ懼レサルハ予ノ確信スルトコロナリト雖小敵ヲ見テ之ヲ侮ルコトナク且當時
不正規ノ敵ニ對シテ細心ノ警戒ヲ怠ラサランコトヲ望ム

時ハ維非常ノ國難ニ際會シ處ハ正ニ列國環視ノ裡ニ在リ我カ派遣軍ノ任ヤ誠ニ重且大ニシテ其行動
ノ如何ハ直ニ帝國ノ運命ニ關スルモノアリ諸子予ト心ヲ一ニシテ以テ我カ派遣軍ヲ信倚シ給フ
大元帥陛下ノ御倚託ニ副ヒ奉ランコトヲ期セヨ

昭和七年二月二十七日

上海派遣軍司令官 白川 義 則

附録第七

支那軍ノ實情ニ就テ 第五四一頁参照

混成第二十四旅團ニ於テ逮捕セル警衛軍第八十八師ノ一兵卒ノ陳述 ○印ヲ附シアルモノハ各兵マテ徹底セシムルコト

一 第八十八師ハ杭州ヨリ新龍華驛ニ輸送セラレ徒步行軍ニテ約二週間前大場鎮附近ニ到リ同地附近ノ陣地構築作業ニ從事シ一週間前廟巷鎮方面ニ移リタルモノナリ

二 第八十八師ハ各四團聯ノ旅團二箇ヨリ成リ一團ハ三營大、一營ハ步兵連中三、機關銃連一、特種砲一連ヨリ成ル

步兵連ハ人員約百名、自動小銃約十二挺ヲ有シ各分隊七、八名ノ兵員中其一名ハ自動小銃ヲ携帶ス

機關銃連ハ重機關銃六挺ヲ有シ特種砲連ハ第一營ニ屬スルモノハ迫撃砲三門、第二、第三營ニ屬スルモノハ平射歩兵砲各三門ヲ有ス

三 警衛軍ハ彈藥豊富ニシテ各兵約二百發ヲ有シ隨時補充セラレ上等兵、一等兵中ニハ手榴彈ヲ携帶スル者多シ

四 下級將校ハ戰意アレト下士兵ハ否ラス戰鬪開始ニハ相當強キ事ヲ言ヘトモ日本軍ノ猛火ヲ受ケ

タル後ハ志氣昂ラス

年齢ハ區々ニシテ少キハ十五、六歳多キハ四十歳ニ及ヒ杭州及上海出身ノ者多シ

支那兵ノ最モ恐ルルモノハ飛行機及日本兵ノ死ヲ怕レサル猛進ナリ

五。飛行機ニ遮蔽スル爲軍隊ノ移動ハ概ネ夜間ニ行ハレ宿營又ハ休止ノトキハ村落ヲ利用ス又飛行

機襲來シタルトキハ家屋内ニ避難ス

通常歩兵一連ハ一部落ニ宿營ス

一般人民ハ軍隊宿營ノ際亂暴ヲ伴フニ依リ嫌厭シアリ

六。支那兵ハ要務ナキトキハ賭博等ヲ行ヒ休憩ス其時機ハ通常午後三時前後ナリ急襲ノ時機選定上

參考トスルニ足ル

七。師團前面ノ支那軍ハ北ヨリ警衛軍第八十八師、第八十七師、第十九路軍ノ順序ニシテ戦闘激烈

ナルトキハ全部第一線ニ注込メトモ平常ハ警衛軍ト第十九路軍ト適宜交代シ第一線ヲ擔任シアリ

昨二十二日第八十八、第七十八師第一線ヲ擔任セシカ本二十三日ハ第八十七、第八十八師第一線

ヲ擔任シ第十九路軍ハ後方ニテ休止セリ

八。今回ノ戦闘ニ依リ支那軍隊ノ日本軍隊ニ對スル恐怖甚シク殊ニ警衛軍ニ於テ然リ

九。警衛軍ハ騎兵及砲兵隊ヲ有セス

十。警衛軍ノ各師ハ將兵何レモ鐵兜及淡藍色ノ軍服給ヲ著用シアレトモ第十九路軍ハ厚キ藍色ノ綿

入ヲ著用シアリ

十一。警衛軍ハ軍隊中ヨリ便衣隊ヲ出スコト少ケレトモ第十九路軍ハ多數ノ便衣隊ヲ使用ス

十二。竹藪ハ支那軍之ヲ頻繁ニ利用ス例ヘハ機關銃陣地ノ如キハ竹藪中ニ設クルコト少カラス

十三。警衛軍ノ標識左ノ如シ

面 表

第	不	怕	死	不	盒	財
號	愛	國	家	愛	百	姓

面 裏

第	八	十	八	師
步	兵	第	旅	第
列	兵	姓	名	

附録第八

停戰協定正文

第七二
頁參照

停戰協定正文

第一條 日本國及中國ノ當局ハ既ニ戰闘中止ヲ命令シタルニ依リ昭和七年五月五日ヨリ停戰カ確定セラルルコト合意セラル

雙方ノ軍ハ其統制ノ及フ限リ一切ノ且有ユル形式ノ敵對行爲ヲ上海ノ周圍ニ於テ停止スヘシ
停戰ニ關シ疑ヲ生スルトキハ右ニ關スル事態ハ參加友好國ノ代表者ニ依リ確メラルヘシ

第二條 中國軍隊ハ本協定ニ依リ取扱ハルル地域ニ於ケル正常狀態ノ恢復後ニ於テ追テ取極アルマテ其現駐地點ニ止ルヘシ前記地點ハ本協定第一附屬書ニ掲記セラル

第三條 日本國軍隊ハ昭和七年一月二十八日ノ事件前ニ於ケルカ如ク共同租界及虹口方面ニ於ケル租界外擴張道路ニ撤收スヘシ尤モ收容セラルヘキ日本國軍隊ノ數ニ鑑ミ若干ハ前記地域ニ隣接セル地方ニ當分ノ間駐屯セシメラルヘキモノトス

前記地方ハ本協定第二附屬書ニ掲記セラル

第四條 相互ノ撤收ヲ認證スル爲參加友好國ヲ代表スル委員ヲ含ム共同委員ヲ設置スヘシ

右委員會ハ又撤收日本國軍ヨリ交代中國警察ヘノ引繼ノ取運ニ協力スヘク右中國警察ハ日本國軍ノ撤收スルトキ直ニ引繼ヲ受クヘシ

右委員會ノ構成及手續ハ本協定第三附屬書ノ定ムル通りナルヘシ

第五條 本協定ハ其署名ノ日ヨリ實施セラルヘシ

本協定ハ日本語、中國語及英吉利語ヲ以テ作成セラル

意義ニ關スル疑又ハ日本語、中國語及英吉利語ノ本文ノ間ニ意義ノ相違アルトキハ英吉利語ノ本文ニ據ルヘシ

昭和七年五月五日上海ニ於テ之ヲ作成ス

日本支那代表 署

名

同席者トシテ昭和七年三月四日ノ國際聯盟總會決議ニ從ヒ商議ニ助力スル友好國代表者

外國外交代表者 署

名

第一附屬書 註、第一〇七
〇頁挿圖參照

本協定第二條ニ定ムル中國軍隊ノ地點左ノ如シ

附屬縮尺十五萬分一郵政地圖上海地方參照

安亭村ノ正南方蘇州河上ノ一點ヨリ北方安亭村ノ直東方ノ「クリーク」ノ西岸ニ沿ヒ望山橋ニ至リ

次テ北方ニ「クリーク」ヲ越エ沙頭ノ東方四軒ノ一點ニ至リ次テ西北方揚子江上ノ漣浦口ニ至リ且之ヲ含ム

右ニ關シ疑ヲ生スルトキハ問題ノ地點ハ共同委員會ノ請求ニ依リ共同委員會ノ委員タル參加友好國ノ代表者ニ依リ確メラルヘシ

第二附屬書 註、第一〇七
一頁挿圖參照

本協定第三條ニ定ムル地方左ノ如シ

前記地方ハ甲、乙、丙及丁ト標記セル附屬地圖ニ區劃セラル

右ハ第一、第二、第三及第四地域トシテ引用ス

第一地域ハ「甲」地圖ニ示サル

- (一) 本地域ハ吳淞鎮ヲ除外スルコト
- (二) 日本國側ハ松滬鐵道又ハ其工場ノ運用ニ干涉セサルヘキコト

合意セラル

第二地域ハ「乙」地圖ニ示サル

國際競馬場北東方約一哩ニ當ル中國人墓地ハ日本國軍隊ニ依リ使用セラルヘキ地域ヨリ除外セラルコト合意セラル

第三地域ハ「丙」地圖ニ示サル

本地域ハ曹家宅村及三友織布工場ヲ除外スルコト合意セラル

第四地域ハ「丁」地圖ニ示サル

使用スヘキ地域ハ日本人墓地及之ニ至ル東方ノ通路ヲ含ムコト合意セラル

右ニ關シ疑ヲ生スルトキハ問題ノ地方ハ共同委員會ノ請求ニ依リ共同委員會ノ委員タル參加友好國ノ代表者ニ依リ確メラルヘシ

右ニ示サルル地方ヘノ日本國軍隊ノ撤收ハ本協定ノ實施ヨリ一週間以内ニ開始セラルヘク且撤收

開始ヨリ四週間内ニ完了セラルヘシ

第四條ニ依リ設置セラルヘキ共同委員會ハ撤收ノ際引揚ケ得サル患者又ハ傷病動物ノ看護及其後

ノ引揚ニ付必要ナル措置ヲ講スヘシ

右患者又ハ傷病動物ハ必要ナル衛生人員ト共ニ之ヲ其現在地點ニ殘置スルコトヲ得

中國當局ハ右ニ對シ保護ヲ與フヘシ

第三附屬書

共同委員會ハ十二名ノ委員即チ日本及中國ノ政府並三月四日ノ國際聯盟總會決議ニ從ヒ商議ニ助力スル友好國ノ代表者タル米國、英國、佛國及伊國ノ中國駐劄外交代表者ノ各ノ代表者タル文官及武

官各一名ヲ以テ構成セラルヘシ

共同委員會ノ委員ハ其隨時必要ト認ムル數ノ補助員ヲ委員會ノ決定ニ從ヒ使用スヘシ手續ニ關スル一切ノ事項ハ委員會ノ裁量ニ委セラルヘク委員會ノ決定ハ多數決ニ依リテ爲サルヘク議長ハ決定投票權ヲ有スヘシ

議長ハ委員會ニ依リ參加友好國ヲ代表スル委員中ヨリ選出セラルヘシ

委員會ハ其決定ニ從ヒ其最良ト認ムル方法ニ依リ本協定第一條、第二條、第三條ノ實行ヲ看取スヘク且前記三條ノ何レカノ規定ノ實行ノ懈怠ニ對シ注意ヲ喚起スルノ權限ヲ有ス

附錄第九

會戰間上海附近日出沒並月出沒時刻 序言 參照

自昭和七年一月二十八日 至同 三月五日 上海附近日出沒並月出沒時刻

中央氣象臺上海觀測所調

二							一			月	
七	六	五	四	三	二	一	三十一	三十	十九	二十八	日
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
六・四三	六・四四	六・四五	六・四六	六・四六	六・四七	六・四八	六・四八	六・四八	六・四九	六・五〇	(午前)出
五・三三	五・三二	五・三一	五・三〇	五・三〇	五・二九	五・二八	五・二六	五・二六	五・二五	五・二四	(午後)沒
	一月									十二月	月
二	一	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二三	二二	齡
七・一八	六・四五	六・〇四	五・一六	四・一六	三・一四	二・〇六	〇・五五	午前	一一・四六	午後一〇・四五	月
						午後	〇・一三			午前	出
六・二〇	五・一八	四・一四	三・〇九	二・〇五	一・〇五	〇・一三	一一・二九	一一・〇二	一一・二五	九・四九	月
											沒

月																	
八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
六·四三	六·四二	六·四一	六·四〇	六·三九	六·三八	六·三七	六·三七	六·三六	六·三五	六·三四	六·三三	六·三二	六·三一	六·三〇	六·二九	六·二八	六·二六
五·三三	五·三四	五·三五	五·三六	五·三七	五·三八	五·三九	五·三九	五·四〇	五·四一	五·四二	五·四三	五·四四	五·四五	五·四六	五·四七	五·四八	五·四八
三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二	一三	一四	一五	一六	一七	一八	一九	二〇
七·三六	八·一二	八·三八	九·〇四	九·二九	九·五七	一〇·二八	一一·〇三	一一·四五	一二·二八	一三·〇三	一四·二八	一五·〇三	一六·二八	一七·〇三	一七·七八	一八·五三	一九·三五
七·二七	八·一四	九·〇八	一〇·〇四	一〇·五七	一一·五三	一二·四九	一三·四六	一四·四二	一五·三九	一六·三五	一七·三二	一八·二九	一九·二六	二〇·二三	二一·二〇	二二·一七	二二·一四
一〇·四六	一一·五五	一二·六四	一三·七三	一四·八二	一五·九一	一七·〇〇	一八·〇九	一九·一八	二〇·二七	二一·三六	二二·四五	二三·五四	二四·六三	二五·七二	二六·八一	二七·九〇	二八·九九
八·五二	九·二八	一〇·〇九	一一·〇一	一二·五八	一三·五八	一四·五八	一五·五八	一六·五八	一七·五八	一八·五八	一九·五八	二〇·五八	二一·五八	二二·五八	二三·五八	二四·五八	二五·五八

月					三			
五	四	三	二	一	二十九	二十八	二十七	二十六
日	日	日	日	日	日	日	日	日
六·一八	六·一九	六·二〇	六·二〇	六·二二	六·二三	六·二四	六·二五	六·二六
五·五四	五·五三	五·五二	五·五二	五·五二	五·五一	五·五〇	五·四九	五·四八
二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一
五·二一	四·三九	四·〇〇	三·一二	二·一二	一·〇七	一·五五	一·四六	一·四六
四·一二	三·〇九	二·〇五	一·〇一	一一·五八	一一·〇一	一〇·〇九	九·二八	八·五二

上海事件ニ於ケル支那軍ノ行動

序言

一 本篇ニ於テハ上海事件ニ於ケル支那軍ノ行動ヲ記述シ以テ第十六卷乃至第十八卷記載ノ各種戦闘並第六卷記載ノ軍ノ統帥及第二十七卷記載ノ占領地ノ守備等ニ關スル研究ニ資ス

イ 時期

上海事件發生前ノ形勢ヨリ停戦交渉成立ニ至ル間

ロ 地域

上海附近ノ戰場ヲ中心トシ之ニ關聯スル兵團ノ移動等ヲ知得スル爲概シテ揚子江下流江南地方ニ限定ス

ハ 支那軍ノ行動

直接日本軍ト交戦シタル兵團並交戦ノ可能性アリタル兵團ノ行動ヲ記述ス

南京政府ノ取リタル處置、一般民衆ノ動靜等ニ關シテハ前後ノ關係上重要ナルモノヲ記述ス

三 本篇ハ主トシテ左記資料ニ據リ記述ス而シテ支那側ノ資料ニ據ルモノハ虚飾宣傳ヲ含ミ真相ト認め難キモノト雖當時ノ雰圍氣ヲ傳フルニ足ルモノハ之ヲ収録ス

イ 押收軍用書類、圖書

ロ 支那人著述公刊戰記

 淞滬禦日戰史 民國二十一年三月出版

 我軍血戰抗日的前後 同年三月十三日出版

 上海抗日血戰史 同年五月十日出版

ハ 支那駐在武官諜報電報

ニ 上海派遣軍、各師團情報記錄

上海事件ニ於ケル支那軍ノ行動 目次

第一章 上海事件前ニ於ケル中支那方面支那軍一般ノ狀況……………頁

第一節 中支那方面政局ノ概觀及支那軍ノ配置……………一

第一款 中支那方面政局ノ概觀……………一

 南京、廣東兩派ノ軋轢(一) 兩派ノ妥協(二) 南京新政府ノ組織(三) 南京政府ト共產

 黨トノ關係(五) 南京政府ト第十九路軍トノ關係(六)

第二款 中支那方面支那軍ノ配置……………六

 南京軍ト共產軍トノ對立(七) 二月初旬ニ於ケル狀況(八) 海軍ノ狀況(九)

第二節 第十九路軍、第五軍 舊警衛軍 等ノ編成、裝備並其特質……………六

第一款 編成、裝備……………七

 其一 各軍編成ノ概要……………七

 其二 空軍ノ編成……………七

 其三 兵器……………七

- 甲 武器……………八
- 乙 彈藥……………一三
- 丙 化學裝備……………一七
- 丁 飛行機……………一九
- 其四 第十九路軍ノ編成、裝備……………一九
 - 一般ノ編成(二六) 團以下ノ編制(二九) 團ノ裝備(三〇) 團ニ關スル二、三ノ特徴(三〇)
 - 服裝及運搬機關(三三)
- 其五 第五軍等ノ編成、裝備……………二一
 - 甲 第五軍ノ編成、裝備……………二一
 - 一般ノ編成(三三) 團以下ノ編制(三三) 團ノ裝備(三三) 服裝其他(三三)
 - 乙 其他ノ軍隊ノ編成……………二三
 - 第八十八師獨立旅(三三) 第四十七師(三三) 第八十九師(三三)
- 第二款 第十九路軍ノ特質……………二四
 - 其一 沿革……………二四
 - 其二 戰歴及特長……………二五
 - 戰歴(三五) 第十九路軍ノ本質及其戰鬪力(三六)

- 其三 各將帥ノ閱歴及性格 支那書ニ據ル……………二八
- 第三款 第五軍等ノ特質……………二九
 - 其一 第五軍ノ特質……………二九
 - 沿革(三九) 特長(三九)
 - 其二 其他ノ軍隊ノ特質……………三〇
 - 第八十八師獨立旅(三〇) 第四十七師(三〇) 第八十九師(三〇)
- 第二章 上海附近ノ會戰前ニ於ケル支那軍ノ狀況……………三三
 - 第一節 上海事件發生當時ニ於ケル支那軍ノ狀況……………三三
 - 第一款 事件發生當時ニ於ケル第十九路軍ノ狀況……………三三
 - 其一 第十九路軍ノ配備……………三三
 - 京滬鐵道沿線第十九路軍ノ一般配備(三三) 上海附近第七十八師ノ配備(三三) 第七十八師
 滬滬(吳淞鎮、上海)警備計畫(三三) 吳淞要塞(吳淞及獅子林砲臺)ノ狀況(三三)
 - 其二 第十九路軍ノ抗日方針……………三八
 - 三友社復讐事件直後ノ狀況(三八) 一月二十八日ノ狀況(三八) 抗日方針(三八)
 - 第二款 南京政府及一般民衆ノ狀況……………四一
 - 南京政府ノ意向(四一) 南京政府ト第十九路軍トノ交渉(四一) 南京政府ノ洛陽遷都(四一)

般民衆ノ狀況(四)

第三款 日支兩軍ノ衝突……………四三

支那軍ノ機戰(四) 日支兩軍ノ衝突(四)

第二節 關北及吳淞鎮附近ニ於ケル第十九路軍ノ戰鬪……………四六

第一款 日支兩軍ノ衝突ヨリ二月五日マテ海軍ノ第二
次攻勢マテノ狀況……………四六

一月二十八日ヨリ二月三日マテノ狀況(四七) 二月四、五日ノ狀況(四八)

第二款 二月六日ヨリ同十四日マテ混成第二十四旅團ノ上陸
ヨリ第九師團ノ到着マテノ狀況……………五一

二月六日ヨリ同八日マテノ狀況(五二) 二月九、十日ノ狀況(五三) 二月十一、十二日ノ狀況(五四) 二月十三、十四日ノ狀況(五五)

第三節 第五軍舊警
衛軍ノ參戰……………五六

第一款 舊警衛軍參戰ノ經緯……………五六

南京政府ノ意向(五六) 第十九路軍及民衆ノ排日氣勢(五七) 第八十八師ノ戰場到着(五八) 第五軍ノ編成(五九)

第二款 二月七日ヨリ同十四日マテノ狀況……………五七

南京政府ノ舊警衛軍推進(五九) 各部隊ノ行動(六〇)

第四節 排日團體ノ合流及義勇軍ノ參戰……………五八

青年學生訓練ノ振作(五九) 排日團體ノ合流(六〇) 義勇軍ノ參戰(六一) 義勇軍ノ價值(六二)

第三章 上海附近ノ會戰……………六一

第一節 支那軍ノ會戰準備……………六一

第一款 支那軍ノ會戰指導ノ方策……………六一

兵力(六一) 敵情判斷(六二) 會戰指導ノ方針(六三) 配備(六四) 通信計畫(六五) 對日
本軍戰法ニ關スル訓令等(六六)

第二款 第十九路軍ノ會戰準備……………七二

二月十五日ヨリ同十九日マテノ狀況(七三) 第七十八師第一團長ノ命令、處置等(七四) 便
衣探偵隊ノ派遣(七五)

第三款 第五軍ノ會戰準備……………七九

二月十五日ヨリ同十九日マテノ狀況(七九) 命令等(八〇)

第四款 支那軍ノ築城……………八八

其一 築城ノ様式及素質……………八八

甲 築城ノ様式……………八八

乙 築城ノ素質……………九〇

其二 陣地ノ編成及設備……………九七

甲 陣地一般ノ編成……………九七

乙 陣地細部ノ編成及設備……………九九

其三 工事ノ實施……………一〇〇

其四 陣地ノ守備……………一〇〇

第二節 二月二十日ヨリ同二十二日マテノ狀況……………一〇一

第一款 二月二十、二十一日ノ狀況……………一〇一
二月二十日(101) 二月二十一日(101)

第二款 二月二十二日ノ狀況……………一〇二
關北方面(102) 江灣鎮方面(102) 廟巷鎮方面(102) 吳淞鎮方面(102) 獅子林、
瀏河鎮方面(102) 後方部隊ノ狀況(102) 空中戰(102) 其他(102)

第三節 二月二十三日ヨリ同二十五日マテノ狀況……………一〇八

第一款 二月二十三日ノ狀況……………一〇八
關北方面(103) 江灣鎮方面(103) 廟巷鎮方面(103) 吳淞鎮、瀏河鎮方面(103)
後方其他(103)

第二款 二月二十四日ノ狀況……………一〇九
關北方面(104) 江灣鎮、廟巷鎮方面(104) 其他ノ方面(104)

第三款 二月二十五日ノ狀況……………一一〇

關北方面(110) 江灣鎮、廟巷鎮方面(110) 其他ノ方面(110) 日本軍死傷者ノ取
扱(110) 地方官ノ布告(110)

第四節 二月二十六日ヨリ同二十九日マテノ狀況……………一二二

第一款 二月二十六日ノ狀況……………一二二
關北方面(111) 江灣鎮方面(111) 廟巷鎮方面(111) 其他ノ方面(111)

第二款 二月二十七日ノ狀況……………一二三
關北方面(112) 江灣鎮、廟巷鎮方面(112) 吳淞鎮方面(112) 其他(112)

第三款 二月二十八日ノ狀況……………一二五
關北方面(113) 江灣鎮、廟巷鎮方面(113) 吳淞鎮、瀏河鎮方面(113) 其他(113)

第四款 二月二十九日ノ狀況……………一二六
關北方面(114) 江灣鎮、大場鎮方面(114) 廟巷鎮方面(114) 吳淞鎮方面(114)

第五節 總退却……………一二八

第一款 總退却ノ動機竝之ニ伴フ作戰方針……………一二八
總退却ノ原因及其動機(115) 總退却ニ伴フ爾後ノ作戰方針(115)

第二款 三月一日ノ狀況……………一二九

其一 第一線ノ狀況……………一二九

關北方面(二五) 江邊鎮、廟莊鎮方面(二六) 吳淞鎮、獅子林方面(二七) 七了口方面(二八)

其二 退却ノ狀況……………一二一

關北、眞茹鎮、南翔鎮、崑山、蘇州方面(二三) 大場鎮、嘉定方面(三三) 羅店鎮、瀏河鎮方面(三三)

其三 後方ノ狀況……………一二二

第三款 三月二日ノ狀況……………一二三

京滬鐵道(舊滬寧線)方面(二三) 瀏河鎮、嘉定、太倉方面(三三) 南市方面(三四)

第四款 三月三日ノ狀況……………一二四

第五款 三月四日乃至同七日ノ狀況……………一二五

第六款 第十九路軍ノ退却ニ關スル辯明ト其抵抗ニ關スル觀察……………一二六

第十九路軍ノ退却ニ關スル辯明(二三) 第十九路軍ノ頑強ニ抵抗シタル理由(三七)

第六節 支那軍ノ損害……………一二八

部隊別ノ損害狀況(三元) 負傷者ノ種類(三三)

第四章 上海附近ノ會戰後ニ於ケル支那軍ノ狀況……………一三二

第一節 支那軍ノ抗日方針……………一三三

第一款 停戰聲明直後ニ於ケル第十九路軍ノ情勢……………一三三

第二款 洛陽政府舊南京政府ノ對日方針……………一三四

停戰交渉ニ關スル術策(三四) 國難會議ノ決議(三五)

第三款 三月下旬ニ於ケル支那軍ノ抗日方針……………一三五

日本軍ニ對スル判斷(三五) 第十九路軍ノ狀況(三五) 共產軍ノ狀況(三六) 支那軍ノ抗日方針(三六)

第二節 支那軍ノ第二次會戰準備……………一三七

第一款 諸兵團ノ整備……………一三七

第二款 三月下旬ニ於ケル第二次會戰ノ企圖……………一三七

第五軍ノ狀況(三六) 第十九路軍ノ狀況(三六) 第二次會戰ノ企圖(三六)

第三款 停戰交渉ト國民政府ノ對策……………一三九

南京中山陵會議(三九) 洛陽國難會議(三九)

第四款 四月中旬ニ於ケル第二次會戰指導ノ方策……………一四〇

會戰指導方針(四〇) 各兵團ノ部署(四〇)

第五款 對日作戰統制ノ崩壞……………一四一

第三節 停戰協定成立當時ニ於ケル支那軍ノ態勢……………一四一

第一款 停戰協定成立時ニ於ケル狀況……………一四一

第二款 日本カ陸軍全部ノ撤退ヲ聲明セル當時ニ於ケル狀況……………一四二

第四節 支那軍ノ戰場撤退移駐ノ狀況……………一四二

第十九路軍及第五軍ノ戰場撤退及移駐(一四二) 上海事件後増加セラレタル兵團ノ移駐(一四三)

右諸兵團移駐後ニ於ケル上海ノ警備(一四三)

第五章 支那政局ノ作戰ニ及シタル影響……………一四五

第一節 廣東、浙江兩財閥ノ抗爭……………一四五

第二節 反蔣介石派、共產黨ノ策動……………一四六

反蔣介石派ノ策動(一四六) 共產黨ノ策動(一四七)

附 錄

第一 第七十八師淞滬警備計畫……………一五一

第二 第六十一師ノ兵力集結命令……………一六三

第三 第六十一師ノ對日本軍戰法ニ關スル訓令……………一六七

上海事件ニ於ケル支那軍ノ行動

第一章 上海事件前ニ於ケル中支那方面支那軍一般ノ狀況

支那政局ノ變動ハ必ス軍閥勢力ノ角逐ヲ伴ヒ互ニ原因又ハ結果トナルヘキ特質ヲ有ス

上海附近ニ於テ作戰シタル支那軍ハ事件前同地方ニ移駐セシメラレタル第十九路軍ヲ基幹トシ事件發生後逐次到着セル兵團之ニ加入シタルモノニシテ之カ基礎配置ハ當時ニ於ケル支那政局變動ノ裏面ヲ語ルモノナリ從テ中支那方面ノ政局及支那軍ノ配置ヲ明ニシ以テ南京政府ノ正體竝第十九路軍上海地方移駐ノ經緯ヲ討究スルコトハ同軍ノ特質ヲ知リ作戰ニ現レタル狀況ヲ觀察スル爲極メテ重要ナル價値ヲ有ス

第一節 中支那方面政局ノ概觀及支那軍ノ配置 附圖第三十一、第三十二參照

第一款 中支那方面政局ノ概觀

南京ニ在ル國民政府ハ蔣介石ヲ中心トシ浙江財閥ヲ背景トシタル勢力ニシテ兎モ角支那全土ニ號令シ

第一節 中支那方面政局ノ概觀及支那軍ノ配置

南京、廣
東兩派ノ
軋轢

アルモノナリ

附記

一 介石ハ號ニシテ名ヲ中正ト稱ス明治四十三年十二月高田野砲兵第十九聯隊ニ入り翌年我カ陸軍士官學校ニ入校セシカ四十五年秋第一革命ノ起ルヤ歸國革命派ニ投セリ爾來其首領孫文ノ信任ト部下ノ尊敬トヲ受ケ逐次其頭角ヲ現シシカ大正十四年三月十二日孫文ノ死亡スルニ及ヒ其跡ヲ繼承セリ

二 昭和三年六月張作霖爆死シ蔣介石ノ指揮スル北伐軍北京ニ入り同年十二月蔣介石ト張學良トノ妥協合流成立シ一應全支統一ノ形式ヲ成セリ然レトモ素ヨリ形式上ノコトニシテ實質ニ於テ南京政府ノ威令行ハルルハ局限セラレタル範圍ニ止レリ

之ニ對シ國民革命發祥ノ地タル廣東地方ニハ理想急進ヲ主義トスル廣東派ナルモノ即チ廣東財閥ヲ背景トスル一派胡漢民、汪精衛、孫科、陳友仁等之ニ屬スアリテ絶エス抗爭ヲ續ケ其勢力ノ擴張ヲ企圖シ南京ニ監禁セラレタル領袖胡漢民ノ脱出スルヤ頓ニ氣勢ヲ揚ケ公然獨立政府ヲ組織シテ南京政府ヲ否認シ日本ニ款ヲ通シ其承認ヲ求メント策謀スル等兩派ノ關係ハ極メテ險惡ナル狀態ニ陥レリ

然ルニ廣東派ノ策謀ハ日本ノ容ルルトコロトナラス會々滿洲事變勃發シ國民ノ輿論沸騰シテ國難救済ヲ高唱シ國內ニ於テ兄弟牆ニ閔ク秋ニアラスト絶叫スルニ至リ南京政府主席蔣介石ノ下野ヲ條件トシテ兩派妥協ノ氣運ニ向ヒ昭和六年十二月中旬遂ニ所謂南北統一政府廣東、南京兩派ノ妥協合流セル政府ナルモノノ成立ヲ見

タリ

南京新政
府ノ組織

蔣介石ハ既ニ下野通電ヲ發セリト雖新政府内ニ於テハ蔣派依然勢力ヲ保持シ廣東派ノ割込策モ所期ノ





在南京國民政府主席 林



功ヲ奏セス新政府ノ正體ハ頭部ハ蔣派、胴體ハ廣東派ヨリ成ル怪物ニシテ兩派ハ依然新政府内ニ於テ對立ノ狀態ニ在リキ

昭和七年二月二十日頃ニ於ケル新政府主要機關ノ職員ハ附表第七ノ如シ

昭五五年夏南京政府カ軍ヲ山東、江蘇、安徽、河南ノ地方ニ進メ西北軍閥馮玉祥、閻錫山一派ト事ヲ構フルニ至ルヤ此間ニ乘シ所謂共產軍ハ揚子江中流地方江西、湖北、湖南一帶ニ互リ牢乎トシテ拔クヘカラサル根柢ヲ扶植シ爾來南京政府ノ癌トシテ對内的ニハ該政府ノ威信ヲ失墜セシメ對外的ニハ國家ノ不秩序ヲ暴露セシメタリ

上海地方ニ根據ヲ有シ蘇聯邦ノ管制ヲ受ケアル共產黨員ハ好機至レリト爲シ頻ニ赤化宣傳ニ勉メ殊ニ南京政府内廣東派ト若干ノ連絡ヲ保持シ政治工作ヲ開始シタルモ其勢力ハ僅ニ學生、工人、勞働者間ニ限ラレ而モ屢々彈壓ヲ加ヘラレタルヲ以テ著シキ進展ヲ見ルニ至ラス上海事件前後ニ於ケル南京政府ノ惱ミハ共產黨ヨリモ寧ロ實力ヲ有スル共產軍ニ存シタリ

附記 茲ニ所謂共產軍ト共產黨トハ其連絡ノ有無曖昧ナルモノニシテ前者ハ任意ニ共產主義ヲ看板トシタル軍閥、兵匪ノ類、後者ハ潛行的政治工作ヲ爲ス微力ナル機關ニ過キササルモノト認識セラレ昭和六年十一月江西省瑞金ニ設立セラレタル中華ソヴエット臨時中央政府ノ統制力ニモ幾多ノ疑問ヲ存シタリ

政權支援ノ爲武力ヲ絕對必要トスル支那政情ニ於テ蔣派直系軍ノ上海、南京地方ニ駐屯シアル間ハ廣東派ノ南京乘込ハ極メテ危險ニシテ斯クテハ南京、廣東兩派ノ妥協モ覺東ナキヲ以テ上海、南京地方ニ

南京政府
ト共產黨
トノ關係

南京政府
ト第十九
路軍トノ
關係

ハ特種ノ軍隊ヲ駐屯セシムルノ必要ヲ生セリ

第十九路軍ハ次節詳述ノ如ク陳銘樞子飼ノ軍隊ニシテ廣東派ニ屬スト雖陳ト蔣トハ革命ノ同志トシテ

因縁深ク上海、南京附近ニ駐屯セシムルニ最モ適シタルモノナリキ

當時該軍ハ江西省ニ於テ共產軍討伐中ナリシカ『京滬南京上海兩市ニ衛戍シ沿道ノ都市及交通ノ安全ヲ確

保スヘキ』任務ヲ受ケ昭和六年十二月下旬京滬鐵道沿線一帶ノ地方ニ移駐ヲ完了セリ

第二款 中支那方面支那軍ノ配置 附圖第三十一、第三十二參照

南京政府ハ其威信上飽クマテ共產軍ヲ肅清スヘキヲ聲明シ蔣介石自ラ出馬シ之カ討伐實施中ニシテ昭

和七年一月二十日頃ニ於ケル兩軍對立ノ概況ハ附圖第三十一ノ如シ

二月初旬ニ於ケル中支那方面支那軍 南京政府ノ統制ヲ受ケアルモノ 各兵團配置ノ概要ハ附圖第三十二ノ如シ

南京政府ハ長江筋 第二艦隊 及沿岸 第一艦隊 ニ夫々政府直系海軍ヲ配置セシモ其威力ノ貧弱ナル固ヨリ日本海軍

ニ敵シ得ヘクモアラス其戰意全クナク遠ク戰場外ニ蟄居シ事件發生後第十九路軍ヨリ高射砲ノ借用ヲ

申込マレタルモ直ニ拒絕シ又民衆ヨリ『海軍ハ何故ニ日本海軍ヲ攻撃セサルヤ』ノ質問ヲ受ケシト雖如

何トモスル能ハサリキ

第二節 第十九路軍、第五軍 舊警衛軍 等ノ編成、裝備並其特質

南京軍ト
共產軍ト
ノ對立
二月初旬
ニ於ケル
狀況
海軍ノ狀

第一款 編成、裝備 附圖第三十三、第三十四參照

其一 各軍編成ノ概要

昭和七年二月上旬ニ於ケル第十九路軍、第五軍並南京、上海附近駐屯部隊ノ編成ノ概要ハ附表第八ノ如シ

其二 空軍ノ編成

支那軍ニ於ケル空軍ハ陸海軍ニ對立シテ存セシモ其内容ハ極メテ貧弱ニシテ僅ニ最高指揮官トノ連絡並匪賊ニ對スル脅威ニ任シ飛行機總數百機ニ足ラス

昭和六年末頃ヨリ上海事件直前ニ至ル中支那方面空軍ノ狀況ハ附表第九ノ如シ

中支那方面各名城附近ニハ概ネ良好ナル飛行場ヲ有シ又上海附近ニ於テハ虹橋飛行場ノ外蘇州、南翔鎮、龍華鎮附近ニ著陸場ヲ有ス

其三 兵器 附圖第三十三、第三十四參照

鹵獲兵器ニ依リ支那軍ノ裝備ヲ觀察スルニ歩兵ノ裝備ハ日本軍ト大差ナク其兵器ハ時トシテ相當優秀ナルモノヲ所有シアリシカ如キモ使用久シキニ互ルト取扱並保存法ノ適當ナラサル爲命數及精度ヲ害セルモノ多ク又彈藥ノ補充潤澤ナラサル爲各種實包ヲ混淆シ殊ニ口徑異ナル實包ヲ使用セシ疑アリテ其威力ヲ減殺セリ

砲兵ノ裝備ハ日本軍ニ比シ著シク劣等ニシテ對砲兵戰ヲ避ケ全然對步兵戰ニ使用スルノ已ムナキ狀況ニ在リタリ而シテ野戰火炮ハ日本三八式野砲並四一式山砲及重、輕迫擊砲ヲ主砲トシ少數ノ十二種及十五種榴彈砲等總砲數四十餘門ニ過キス從テ第一線步兵ニ近ク之ヲ巧ニ隱蔽配置シ至近ノ距離ニ前進スル我カ步兵ニ對シ使用シ稀ニ晝間準備シ夜間急襲的ニ高等司令部ヲ射擊スルニ止レリ
今主要兵器ノ種類並性能ノ概要ヲ舉クレハ次ノ如シ

甲 武器

一 小銃

銃腔ハ殆ト磨滅シ命中精度低下セルモノ多シ

口徑 七・七耗ノモノ多シ

腔綫 右轉綫 六條

銃身長 七四〇耗

表尺 日本三年式機關銃ノ表尺ニ同シク距離ハ2ヨリ20マテノ數字ヲ刻ス

彈倉 彈倉發條ヲ有スルノミニシテ受筒並彈倉底鉸ヲ有セス遊底並彈倉底鉸ナキ爲塵埃ノ附着甚シ避害裝置ナク

遊底ノ閉鎖不完全ナルモ擊發シ得

右ノ外米國式自動小銃及獨、米國式自動短銃ヲ使用セリ(第一〇頁寫眞參照)

二 刀劍

劍身長、鐔ノ形狀等ニ依リ五種類ニ分ル

青龍刀 支那古來ノ刀ニシテ刃部必スシモ銳利ナナス主トシテ重量ニテ切斷ノ目的ヲ達ス(大刀隊ノ寫眞參照)

三 騎銃

全體ノ形狀ハ日本四一式騎銃ニ略、同シ

口徑ハ七・七耗ニシテ彈倉底鉸、受筒鉸ヲ有シ避害裝置ナシ

四 輕機關銃

二種類アリ共ニ口徑七・七耗、腔綫ハ六條ノ右轉綫ナリ

(一) 甲(瑞西K E 9式ニ似タリ、次頁寫眞參照)

機 構 發射ノ反動ヲ利用シ自動作用ヲ爲ス

銃身冷却法 對流ニ依ル空冷式

裝彈法 二十五發入ノ裝彈匣ヲ下ヨリ挿入シ藥莢ハ上方ニ出ツ

脚 上帶ノ部ニ二脚ヲ有ス

重量 一・四四疋

銃身ノ交換ハ日本十一年式輕機關銃ニ比シ甚タ容易ナリ

(二) 乙「チエック・スロバキア」製

機 構 發射時ノ瓦斯壓ヲ利用シ自動作用ヲ爲スモノニシテ日本十一年式輕機關銃ニ略、同シ

銃身冷却法 螺旋溝ヲ有スル放熱筒ヲ銃身ニ嵌裝ス

裝彈法 二十發入ノ裝彈匣ヲ上方ヨリ裝填ス

表尺 螺旋式ニ同轉シ所望ノ距離ヲ取ル

脚 上帶ノ部ニ自由ニ伸縮シ得ル二脚ヲ有ス

安全栓 安全栓ヲ利用シ單發、連發ノ兩方ヲ適宜行フコトヲ得

重量 一・六八疋

第二節 第十九路軍、第五軍等ノ編成、裝備並其特質

平射高兩用機關銃(エリコシ)式二〇耗)



第二節 第十九路軍、第五軍等ノ編成、裝備並其特質

山 砲
眼鏡ヲ手ニセラルル蔡廷楷



一一

輕機關銃 自動短銃



第一章 上海事件前ニ於ケル中支那方面支那軍一般ノ狀況

水冷式機關銃



一〇

輕迫擊砲



重迫擊砲及彈丸



五 機關銃(第一〇頁寫眞参照)

口径 七・七耗

銃身冷却法 水冷式(「コルト」式ニシテ南京、上海、漢陽製ノモノ多シ)

裝彈法 二百五十發入保彈帶ニ依ル

脚 三脚架ハ膝射、伏射ノ兩姿勢ト爲シ得ヘク又分解折疊スルコトヲ得

重量 七・五疋

六 二〇耗「エリコン」式平射高射兩用機關銃(第一二頁寫眞参照)

第十九路軍ノ所謂高射砲ト稱スルモノナリ

七 野、山砲

日本三八式野砲並四一式山砲ナリ但山砲ノ内支那製(上海兵工廠製)ノモノアリ(山砲ハ第一二頁寫眞参照)

八 迫擊砲(前掲寫眞参照)

口径八種及一五種ノ二種アリ射程前者ハ三耗二百、後者ハ二耗八百ナリ

九 要塞砲

大部分舊式、英國安式加農ニシテ三〇耗、二四耗、一二耗、五・七耗等ノ口径ヲ有ス

乙 彈藥 (附圖第三十三參照)

一 小銃實包

1 彈身 口径、形狀、金質ニ依リ七種類ニ分類シ得

口径 七・七耗(大部分)、六・五耗ノ二種アリ

形狀 頭部ハ蛋形ナルモノト日本ノ如ク尖銳ナルモノトノ二種アリ

被甲 白銅ノモノ、黃銅(銅ノ成分ニ依リ二種アリ)ノモノ、鐵合金ノモノアリ

第二節 第十九路軍、第五軍ノ編成、裝備並其特質

性能 普通買包ト「ダムダム」買包トアリ

2 擲彈子 日本式ノモノト箱型ノモノトアリ

3 「ダムダム」買包

重量 一四瓦

二 拳銃買包

口径、金質ニ依リ四種類ニ分類ス

口径 一一耗、八・五耗、七・五耗

被甲 白銅ノモノ、鉛ノ儘ニシテ被甲ナキモノアリ

三 一三耗砲彈藥

口径 一三耗

信管 頭部ニ瞬發信管ヲ有ス

炸藥 茶褐藥ヲ壓搾填寫ス

裝藥 無煙小銃藥

金質 銅

四 步兵砲彈藥

構造ハ日本平射步兵砲十一年式榴彈ニ略シ同シ但倭徹ヲ目的トセサルカ如シ

口径 三七耗

信管 頭部ニ瞬發信管ヲ裝ス

炸藥 茶褐藥五〇瓦ヲ熔融填寫ス

裝藥 五耗方形藥五〇瓦

五 迫撃砲彈藥

輕、重二種アリテ構造機能ハ兩者殆ト同シ

1 輕迫撃砲彈藥

口径 八〇耗

信管 著發信管

炸藥 茶褐藥三〇〇瓦ヲ熔融填寫ス

裝藥 絹袋八箇ニ無煙小銃藥ヲ收ム、一箇ノ藥量一九瓦

點火裝置 十二番獵銃藥莢(英國製紙藥莢)ニ若ハ獨國製紙藥莢(Nemitz)ヲ尾部ニ裝ス

金質 鑄鐵

空彈量 三、五三〇疋

地射法 尾部翼間ニ發條式ニ針金ヲ附シ之ニ裝藥ノ袋ヲ挟ミ得ル如クス又尾部ノ全周ニハ十二箇ノ小孔ヲ有シ藥莢ノ

焰ノ通路トス

2 重迫撃砲彈藥

口径 一五〇耗

信管 著發信管

炸藥 粉狀茶褐藥二・一疋

裝藥 無煙小銃藥三二瓦入絹袋十六箇ヲ有ス(距離ニ應シ變裝藥式ニ藥包ノ數ヲ適宜加減スルカ如シ)

點火裝置 黑色小粒藥二二瓦ヲ有スル紙藥莢

金質 鑄鐵

第二節 第十九路軍、第五軍等ノ編成、裝備並其特質

- 性能 普通實包ト「ダムダム」實包トアリ
- 2 擲彈子 日本式ノモノト箱型ノモノトアリ
- 3 「ダムダム」實包

重量 一四瓦

二 拳銃實包

口径、金質ニ依リ四種類ニ分類ス

- 口径 一一耗、八・五耗、七・五耗
- 被甲 白銅ノモノ、鉛ノ儘ニシテ被甲ナキモノアリ

三 一三耗砲彈藥

- 口径 一三耗
- 信管 頭部ニ瞬發信管ヲ有ス
- 炸藥 茶褐藥ヲ壓搾填寫ス
- 裝藥 無煙小銃藥

金質 銅

四 步兵砲彈藥

構造ハ日本平射步兵砲十一年式榴彈ニ略シ同シ但倭徹ヲ目的トセサルカ如シ

- 口径 三七耗
- 信管 頭部ニ瞬發信管ヲ裝ス
- 炸藥 茶褐藥五〇瓦ヲ熔融填寫ス
- 裝藥 五耗方形藥五〇瓦

金質 銅

五 迫撃砲彈藥

輕、重二種アリテ構造機能ハ兩者殆ト同シ

1 輕迫撃砲彈藥

- 口径 八〇耗
- 信管 著發信管
- 炸藥 茶褐藥三〇〇瓦ヲ熔融填寫ス
- 裝藥 絹袋八箇ニ無煙小銃藥ヲ收ム、一箇ノ藥量一九瓦
- 點火裝置 十二番獵銃藥莖(英國製紙藥莖)ニ若ハ獨國製紙藥莖(Neuha)ヲ尾部ニ裝ス
- 金質 鑄鐵
- 空彈量 三、五三〇疋
- 地射法 尾部裏面ニ發條式ニ針金ヲ附シ之ニ裝藥ノ袋ヲ挟ミ得ル如クス又尾部ノ全周ニハ十二箇ノ小孔ヲ有シ藥莖ノ始ノ通路トス

2 重迫撃砲彈藥

- 口径 一五〇耗
- 信管 著發信管
- 炸藥 粉狀茶褐藥二・一疋
- 裝藥 無煙小銃藥三二瓦入絹袋十六箇ヲ有ス(距離ニ應シ變裝藥式ニ藥包ノ數ヲ適宜加減スルカ如シ)
- 點火裝置 黑色小粒藥二二瓦ヲ有スル紙藥莖
- 金質 鑄鐵

第二節 第十九路軍、第五軍等ノ編成、裝備並其特質

空彈量 一五貳

六 山砲彈藥

口徑七五耗ニシテ藥莢其他モ日本山砲彈藥ニ略、同シ

1 榴散彈

信管 複働信管(日本三年式複働信管ニ殆ト同シ)

炸藥 小粒藥五五瓦

裝藥 無煙帶狀藥一五七瓦

藥莢長 一一七耗

金質 鋼

彈子 二〇〇箇(一箇ノ重量一〇瓦)

2 榴彈

信管 著發信管

炸藥 ○・二六貳ノ茶褐藥ヲ熔融填寫ス

金質 鋼

空彈量 四・五九貳

3 代用彈(構造上日本ノ代用彈ニ近似セルヲ以テ斯ク名稱ヲ附セリ)

信管 著發信管

炸藥 有煙小粒藥一二〇瓦

金質 鑄鐵

七 榴彈砲彈藥

口徑 一二程及一五程ノ二種アリ

彈種 破甲榴彈ニシテ彈底信管ヲ有ス

八 手榴彈

構造機能ニ依リ三種類アリ

1 甲 炸藥 黑色小粒藥七〇瓦

彈量 五〇〇瓦

2 乙 炸藥 粉狀茶褐藥八五瓦

彈量 六八〇瓦

3 丙 炸藥 粉狀黃色藥四五瓦

彈量 七四〇瓦

彈體 鑄鐵龜甲狀

大サ 中徑五七耗、長サ九五耗

九 地雷

炸藥 粉狀茶褐藥

點火法 電氣發火

丙 化學裝備

化學裝備ニ關シテハ蔣介石直系軍ハ獨逸人顧問ヲ招キ南京、漢陽兵工廠ニ於テ研究中ナリシカ具體的

ニ何等見ルヘキモノナク上海附近ノ戦闘ニ於テ日本軍カ無毒發煙劑ヲ使用シタルニ狼狽爲ストコロヲ知ラサル状態ナリキ

第十九路軍ハ我カ第九師團ノ上海上陸ト共ニ瓦斯ヲ使用セラルヘキヲ顧慮シ頻ニ煙草ノ空罐ヲ買收シ之ニ簡單ナル瓦斯吸收劑ヲ填實シ約五萬箇ノ防毒面ヲ急造セリ瓦斯吸收劑分析ノ結果ハ左ノ如シ

活性炭素 一・三〇瓦

炭酸「マグネシウム」 二・〇〇瓦

粘土 〇・二〇瓦

温湯ニ溶解冷水ニ不溶解物質 〇・二五瓦

冷水ニ溶解物質 〇・二五瓦

計 五・〇〇瓦

右物質ハ化學的竝物質的ニ共ニ效力極メテ微弱ナルノミナラス兵員カ其取扱法等ヲ熟知シアラサリシコト俘虜ノ言ニ依リ明ナリ

支那軍民ハ瓦斯ニ對シ極度ニ恐怖ヲ感シ之ニ關シテハ當時ノ新聞及軍部ノ訓示ニ掲載指示セサルモノナキ狀況ナリシモ之カ知識及防護法等ハ極メテ幼稚ナルモノナリキ例ヘハ戰死セル日本兵ノ衣囊中ヨリ征露丸「グレート」入ノ罐ヲ手ニシ毒氣甚シキヲ以テ注意スヘシト戒メタルカ如キ又日本軍ノ試用セル無

毒發煙劑ニ對シ極度ノ狼狽ヲ來シタルカ如キ是ナリ

丁 飛行機 附圖第三十四參照

支那軍飛行機ハ事件當初數回戰場ニ飛來シタルモ米人「ショート」機ノ擊墜 二月二日セラレシ以後全部河南方面ニ逃避シ全ク活動セス

當時現出セル支那軍飛行機ノ様式及標識竝對空連絡符號ノ圖式ハ附圖第三十四ノ如シ

其四 第十九路軍ノ編成、裝備

一般ノ編成

附表第八ノ如シ

總指揮蔣光鼐ハ病軀ナリシヲ以テ今次事件ニ於テハ軍長蔡廷楷實權ヲ握リ總テノ指揮ヲ爲セリ

團以下ノ編制 第二十六師第一團ノ例

團 我カ聯隊ニ相當スハ本部及三營ヨリ成リ總員約一千名

營 我カ大隊ニ相當スハ本部及小銃三連、機關銃一連ヨリ成リ總員約三百五十名

小銃連 我カ中隊ニ相當スハ戰鬥兵六十乃至九十五名、非戰鬥兵二乃至九名、火夫、馬丁四、五名ヨリ成リ總員

七十乃至百名内外

機關銃連ハ戰鬥兵七、八十名、非戰鬥兵二乃至九名、火夫、馬丁四、五名總員九十名内外

馬匹ハ極メテ少數ニシテ一團ニ十頭内外ヲ有スルニ過キス

團ノ裝備 三 團ノ裝備『第六十師第四團ノ例』

步 兵	銃口徑七・九耗、騎銃ヲ含ム	約 五五〇
拳 銃		約 七〇
機 關 銃		一五重一、四
迫 擊 砲		九
刀		約 二七〇
彈 藥		
小 銃 彈		約 一〇〇、〇〇〇
拳 銃 彈		四、七〇〇
機 關 銃 彈		四〇、〇〇〇
迫 擊 砲 彈		六二〇
手 榴 彈		一、六〇〇
自 動 小 銃 彈		二、六〇〇

團ニ關スルニ、三ノ特徴

四 團ニ關スルニ、三ノ特徴

團ニハ團本部ノ外衛生、通信、補給機關ヲ有スルモノ、歩兵砲トシテ迫擊砲ヲ有スルモノアリ又團

服裝及運搬機關

五 服裝及運搬機關

黨部ト稱シ國民黨ノ主義政策ヲ宣傳指導スル機關ヲ附屬スルコト蘇聯邦軍ノ編制ニ似タリ

兵ハ一般ニ淡藍色ノ綿服、大黒帽ヲ著シ袴ハ半袴式ニシテ草鞋又ハ足袋ヲ穿チ脚絆ヲ用フ

下士官以下竹笠ヲ負フヲ特徴トス

機關銃及大小行李ハ皆人背ニ依リ運搬セララル

參考ノ爲第六十一師ノ編成概要ヲ示セハ附表第十ノ如シ

其五 第五軍等ノ編成、裝備

甲 第五軍ノ編成、裝備

一般ノ編成

一 一般ノ編成

團以下ノ編制

二 團以下ノ編制

附表第八ノ如ク上海事件中ニ新ニ編成セラレタルモノニシテ全ク臨時編成ニ依ル

團ハ本部及三營並通信連、迫擊砲連、擔架連ヨリ成リ總員一千二、三百名、馬匹百二十四頭ヲ有ス

營ハ四連ヨリ成リ一連ハ三排排ハ我カ小隊ニ相當スヨリ成ル一連ハ總員百八名トス

通信連、迫擊砲連、擔架連ノ内容ハ明ナラス

團ノ裝備

三 團ノ裝備

第二節 第十九路軍、第五軍等ノ編成、裝備並其特質

小銃	約 一、二〇〇
自動小銃	二二〇
拳銃	三〇
機關銃	一六
輕機關銃	一〇
機關砲	六
迫擊砲	二
彈	藥一銃、一門 ニ對スル數
小銃彈	四〇〇
自動小銃彈	二、〇〇〇
拳銃彈	二〇〇
機關銃彈	六、〇〇〇
輕機關銃彈	二、〇〇〇
機關砲彈	六〇〇
迫擊砲彈	二〇〇

服裝其他 四 服裝其他

將校ハ冬季羅紗服ヲ用ヒ兵ハ傘ヲ背ニ負フ

給養良好ニシテ一見他ノ軍隊ト區別シ得ヘキモ未タ砲煙彈雨ノ洗禮ヲ受ケサルヲ以テ幹部ノ優秀ナルニ拘ラス其戰鬥力ハ一般ニ疑問トセラレアリキ

參考ノ爲第八十八師ノ編成概要ヲ述フレハ附表第十一ノ如シ

乙 其他ノ軍隊ノ編成

第八十八師獨立旅

一 第八十八師獨立旅

本旅ハ編成上第八十八師ニ屬スルモ其特質上別箇ノ軍隊ト看做スヘキモノナリ本旅ハ步兵二團及旅直屬部隊タル補充營、特科部隊及經理部ヨリ成ル

歩兵團ハ本部及三營並通信連、步兵砲連、運輸連、傳令排、特務排、軍士教導隊下士官養成部隊ヨリ成ル

團本部ニハ副官ノ外參謀一名ヲ有ス

營ハ本部及步兵四連、機關銃一連ヨリ成リ營本部ニハ副官ノ外參謀一名ヲ有ス

連ハ三排十八班ニ區分シ總員約二百名ナリ班ハ我カ分隊ニ相當ス

裝備ハ第八十八師ノ他ノ部隊ニ類似セルモノノ如シ

第四十七師

二 第四十七師

本師ハ師長上官雲相後、唐慶珊ノ下ニ三旅六團ノ外若干ノ騎兵部隊ヲ有セシカ如シ

第二節 第十九路軍、第五軍等ノ編成、裝備並其特質